

「第5期京都市民長寿すこやかプラン」策定のための

高 齢 社 会 対 策 実 態 調 査

高 齢 期 の 生 活 と 健 康 に 関 す る 調 査

【 報 告 書 】

平成23年12月

【目次】

第1章 調査の概要	1
1 調査目的	3
2 調査の種別と調査対象.....	3
3 調査期間	3
4 調査方法	4
5 回収結果	4
6 報告書の見方	4
第2章 高齢者一般調査結果	5
1 対象者の基本属性について.....	7
2 健康に関することについて.....	14
3 就労に関することについて.....	21
4 収入に関することについて.....	26
5 近所づきあい・外出に関することについて.....	31
6 住まいに関することについて	34
7 生活の困りごと・相談相手について.....	39
8 介護予防について	49
9 情報入手について	51
10 友人関係・社会参加活動・生きがい活動について.....	53
11 介護が必要な場合への支援について.....	57
12 介護保険制度について.....	64
第3章 居宅サービス利用者調査結果	69
1 対象者の基本属性について.....	71
2 健康に関することについて.....	79
3 収入に関することについて.....	83
4 近所づきあい・外出に関することについて.....	88
5 住まいに関することについて	90
6 生活の困りごと・相談相手について.....	95
7 情報入手について	106
8 友人関係・社会参加活動・生きがい活動について.....	108
9 介護が必要な場合への支援について.....	111
10 介護保険制度について.....	124

第4章 居宅サービス未利用者調査結果	131
1 対象者の基本属性について	133
2 健康に関することについて	142
3 収入に関することについて	146
4 近所づきあい・外出に関することについて	151
5 住まいに関することについて	153
6 生活の困りごと・相談相手について	158
7 情報入手について	169
8 友人関係・社会参加活動・生きがい活動について	172
9 介護が必要な場合への支援について	175
10 介護保険制度について	189
第5章 若年者調査結果	195
1 対象者の基本属性について	197
2 健康に関することについて	202
3 収入に関することについて	209
4 近所づきあい・外出に関することについて	214
5 住まいに関することについて	216
6 生活の困りごと・相談相手について	221
7 介護予防について	231
8 情報入手について	233
9 友人関係・社会参加活動・生きがい活動について	235
10 介護が必要な場合への支援について	240
11 介護保険制度について	247
12 高齢期に関することについて	249
第6章 介護サービス事業者調査結果	255
1 事業所の概要について	257
2 サービス内容について	277
3 サービスの提供状況について	290
4 介護従事者の確保・処遇改善について	296
5 関係機関との連携について	310
第7章 調査結果まとめ	321
1 市民対象調査（一般高齢者調査・居宅サービス利用者調査・居宅サービス未利用者調査・若年者調査）	323
2 事業所調査	332
資料 アンケート調査票	337

第1章 調査の概要

第1章 調査の概要

1 調査目的

本市においては、総合的な高齢社会対策施策の検討・実施に当たっての基礎資料とするため、昭和55年以降、5年ごとに「高齢社会対策実態調査」を実施し、高齢者の生活実態について調査を行ってきました。

また、この調査とは別に、京都市民長寿すこやかプラン（高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）の策定に当たっての基礎資料とするため、3年ごとに「高齢者の生活と健康に関する調査」を実施し、介護サービスの利用状況及び今後の利用意向等を把握するとともに、介護保険制度及び高齢者保健福祉施策に係る市民の意向を調査してきました。

今回については、これらの調査の実施年度が重なったことから、両調査の趣旨を盛り込んだうえで統合し、高齢者の生活実態について把握するとともに、「第5期京都市民長寿すこやかプラン」の策定に向けての基礎資料を得ることを目的として実施しました。

2 調査の種別と調査対象

	種 別	調査対象
1. 市民に対する 調査 (すこやか アンケート)	A 高齢者一般調査	要介護（要支援）認定を受けていない 65歳以上の方 4,000人（抽出）
	B 居宅サービス利用者調査	介護保険の居宅サービスを利用している 方 3,500人（抽出）
	C 居宅サービス未利用者調査	要介護（要支援）認定を受けているが、 介護保険の居宅サービスを利用してい ない方 1,750人（抽出）
	D 若年者調査	40歳以上 65歳未満の方 3,000人（抽 出）
2. 事業者に 対する調査	E 事業者調査	京都市内でサービスを提供する介護サ ービス事業者 1,295事業者（全数）

※A～Dの調査は平成22年12月1日現在のデータから無作為抽出。

Eの調査は、京都府（地域密着型サービスについては京都市）が事業者指定し、介護保険サービスを提供している京都市内の事業者のうち、平成22年12月の給付実績がある全事業所・施設（ただし、居宅療養管理指導は除く）。

3 調査期間

平成23年1月28日～2月14日

4 調査方法

郵送法

5 回収結果

種別		発送数	有効回収数	有効回収率
1. 市民に対する 調査 (すこやか アンケート)	A 高齢者一般調査	4,000	2,541	63.5%
	B 居宅サービス利用者調査	3,500	1,825	52.1%
	C 居宅サービス未利用者調査	1,750	825	47.1%
	D 若年者調査	3,000	1,387	46.2%
	合計 (A + B + C + D)	12,250	6,578	53.7%
2. 事業者に 対する調査	E 事業者調査	1,295	1,018	78.6%

6 報告書の見方

- (1) 集計結果は、すべて小数点以下第2位を四捨五入しており、比率の合計が100.0%にならないことがあります。
- (2) 図表中のNは、その設問に対する回答者数 (Number of case) を表します。
- (3) 複数回答を依頼した設問では、集計結果の合計が100.0%を超える場合があります。
- (4) グラフ及び表中の選択肢について、長文のものについては、簡略化している場合があります。
- (5) 前回調査との比較における平成19年調査は「高齢者の生活と健康に関する調査」、平成17年調査は「高齢者生活実態調査」を意味します。
※平成17年調査は「一般高齢者」「利用者」「未利用者」が全て含まれた調査結果を掲載しているため参考比較となります。

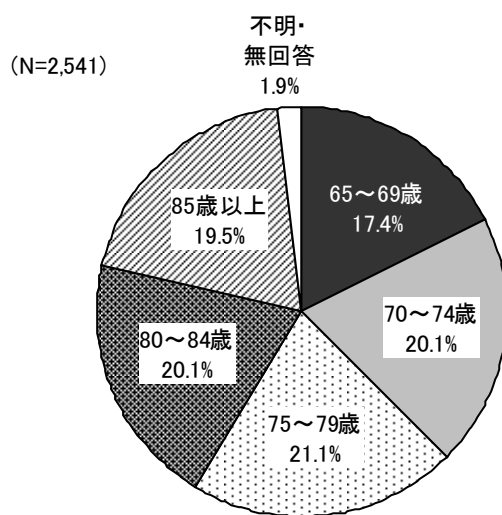
第2章 高齡者一般調查結果

第2章 高齢者一般調査結果

1 対象者の基本属性について

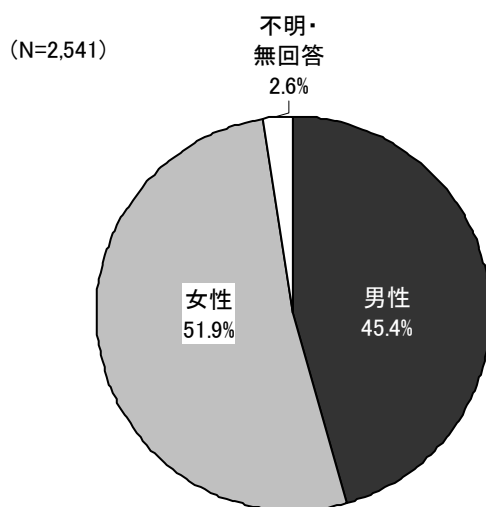
問1 あなた(あて名のご本人:以下の問も同じ)の年齢は。(○は1つ)

年齢では、「75～79歳」が21.1%と最も高く、次いで「70～74歳」と「80～84歳」がともに20.1%となっています。



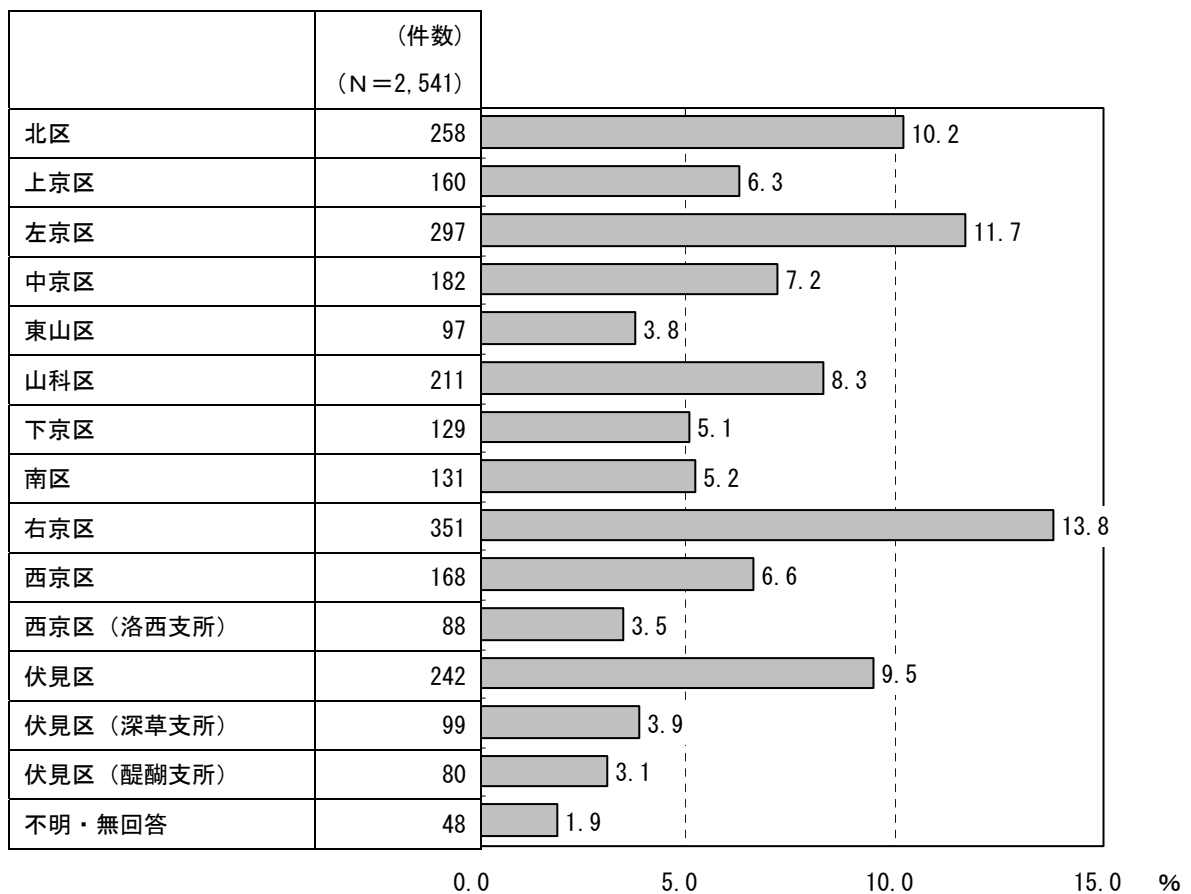
問2 あなたの性別は。(どちらかに○)

性別では、「男性」が45.4%、「女性」が51.9%となっています。



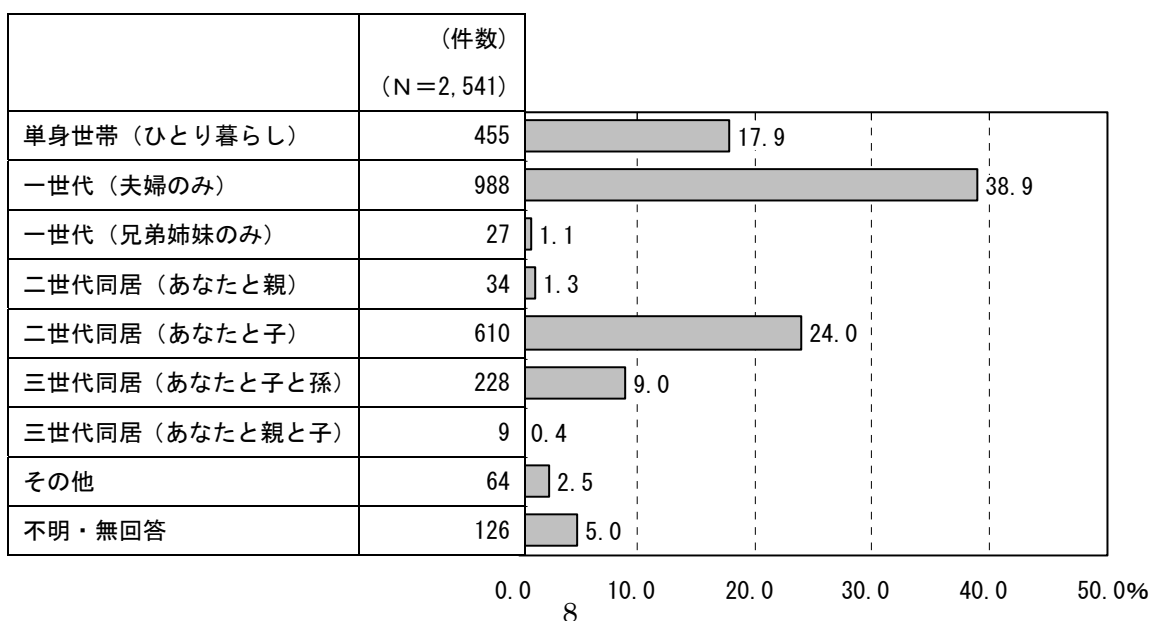
問3 あなたがお住まいの区・支所は。(〇は1つ)

居住地区では、「右京区」が13.8%と最も高く、次いで「左京区」が11.7%となっています。



問4 あなたの同居者(家族)の構成は。(〇は1つ)

家族構成では、「一世代(夫婦のみ)」が38.9%と最も高く、次いで「二世帯同居(あなたと子)」が24.0%となっています。



【前回調査との比較】（平成 17 年調査は参考）

前回調査との比較では、特に目立った差はみられませんでした。

単位：%

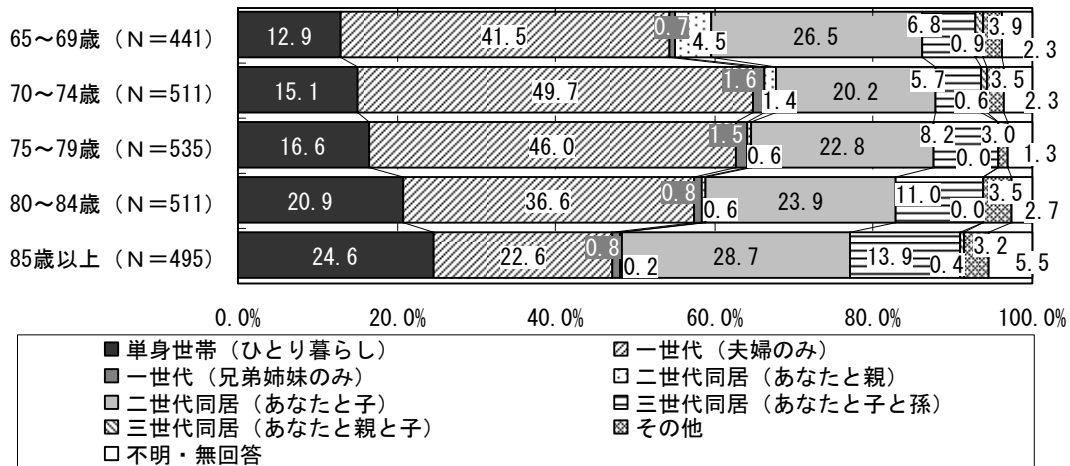
	回答者数(N)	ひとり暮らし	夫婦のみ(2人とも65歳以上)	夫婦のみ(左記以外の夫婦世帯)	兄弟姉妹のみ(全員65歳以上)	兄弟姉妹のみ(左記以外の兄弟姉妹世帯)	あなたと親(二世帯同居)	あなたと子供(二世帯同居)	あなたと子供と孫(三世帯同居)	あなたと親と子供(三世帯同居)	その他	不明・無回答
平成19年調査	N=2,474	15.4	39.8	5.1	1.1	0.2	1.7	20.9	9.4	0.8	2.8	2.8
	回答者数(N)	単身世帯(ひとり暮らし)	一世代(夫婦のみ)	一世代(兄弟姉妹のみ)	二世帯同居(あなたと親)	二世帯同居(あなたと子)	三世帯同居(あなたと子と孫)	三世帯同居(あなたと親と子)	その他	不明・無回答		
平成17年調査	N=3,633	17.0	38.9	1.8	2.7	22.9	10.6	1.3	2.8	2.0		

※調査対象及び選択肢等が異なるため、比較時には注意

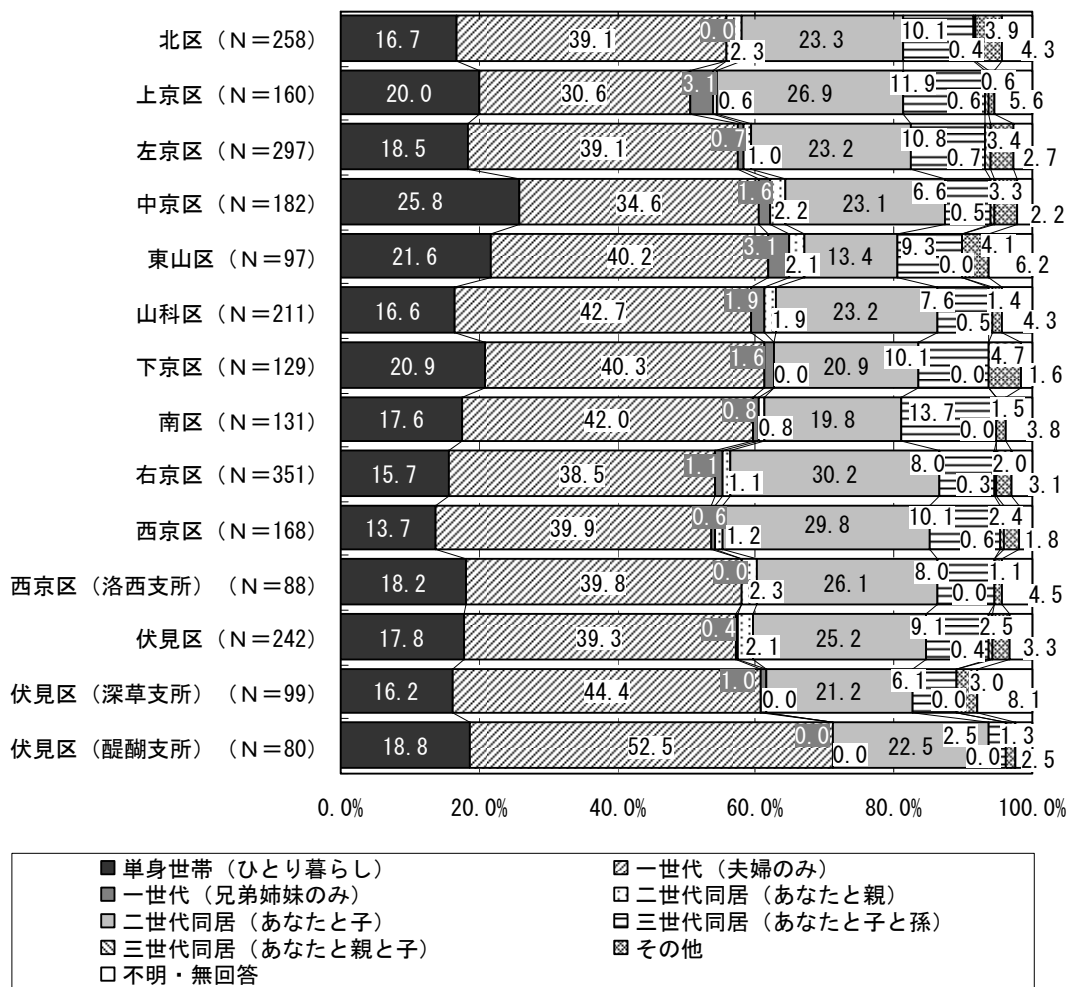
【クロス集計結果】

年齢別では、年代が上がるにつれて「単身世帯（ひとり暮らし）」の割合が高くなっています。居住地区別では、『中京区』で「単身世帯（ひとり暮らし）」の割合が高くなっています。また、『伏見区(醍醐支所)』では「一世代(夫婦のみ)」が5割以上となっています。

□ 年齢別 問4×問1

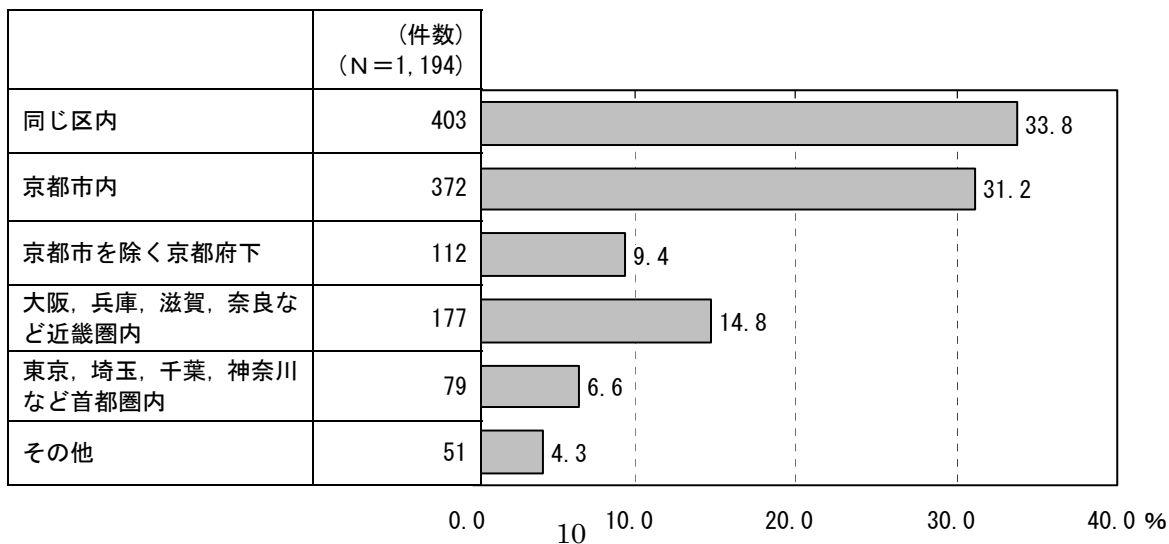


□ 居住地区別 問4×問3



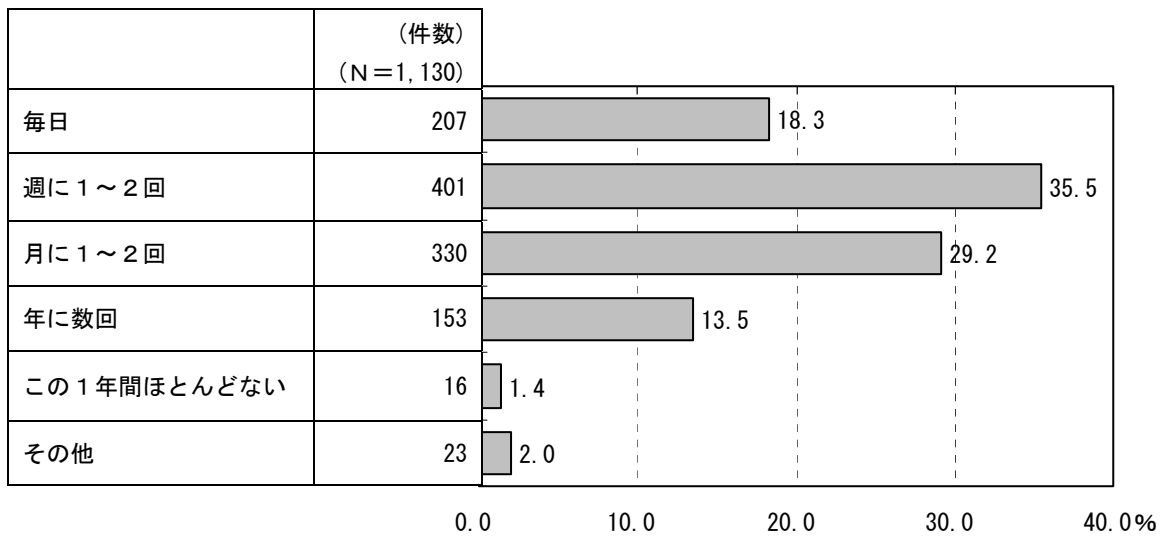
問4-2 子がいる方で、子と同居をしていない方のみ 子はどこに住んでおられますか。(最も近くにお住まいの子の居住地1つに○)

子の住まいでは、「同じ区内」が 33.8%と最も高く、次いで「同じ区内を除く京都市内」が 31.2%となっています。



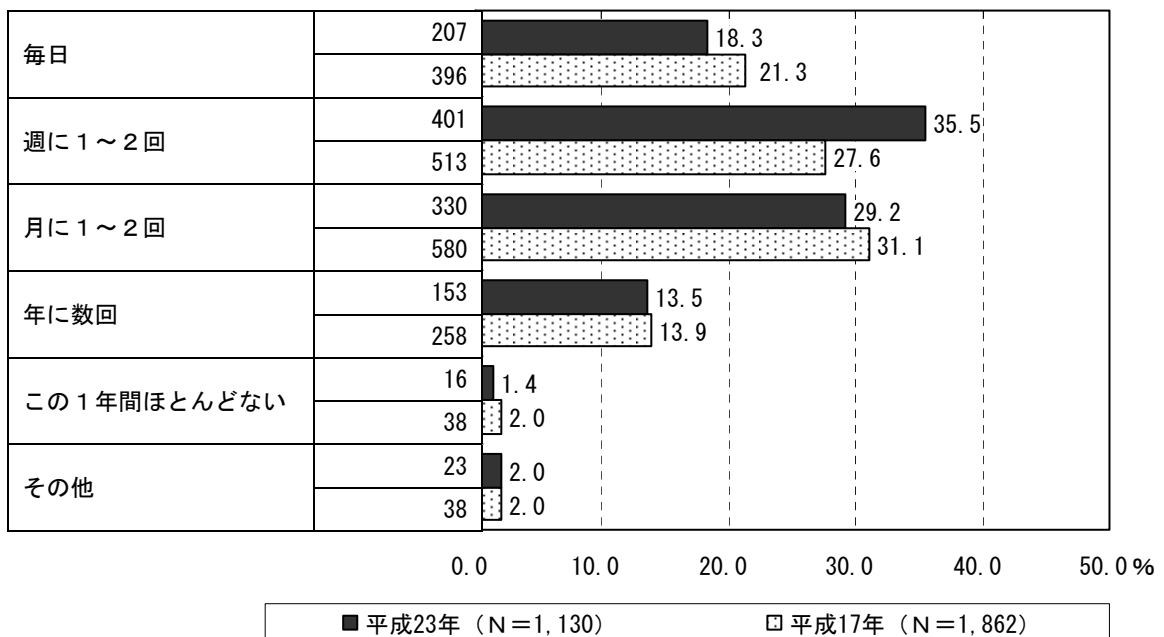
問4-3 子がいる方で、子と同居をしていない方のみ 子との交流頻度は。(手紙や電話等も含みます。)(〇は1つ)

子との交流頻度では、「週に1～2回」が35.5%と最も高く、次いで「月に1～2回」が29.2%となっています。



【前回調査との比較】(平成17年調査は参考)

前回調査との比較では、前回調査より「毎日」の割合が低くなったのに対して、「週に1～2回」の割合が高くなっています。

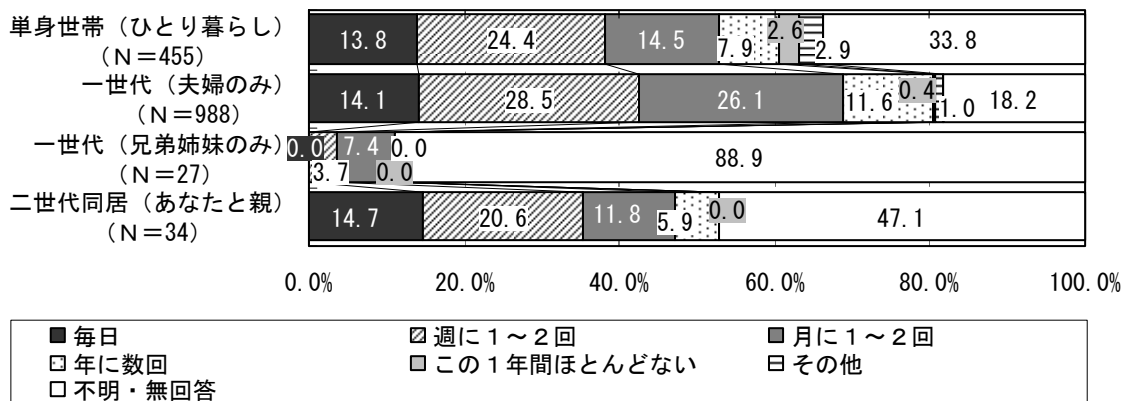


※調査対象等が異なるため、比較時には注意

【クロス集計結果】

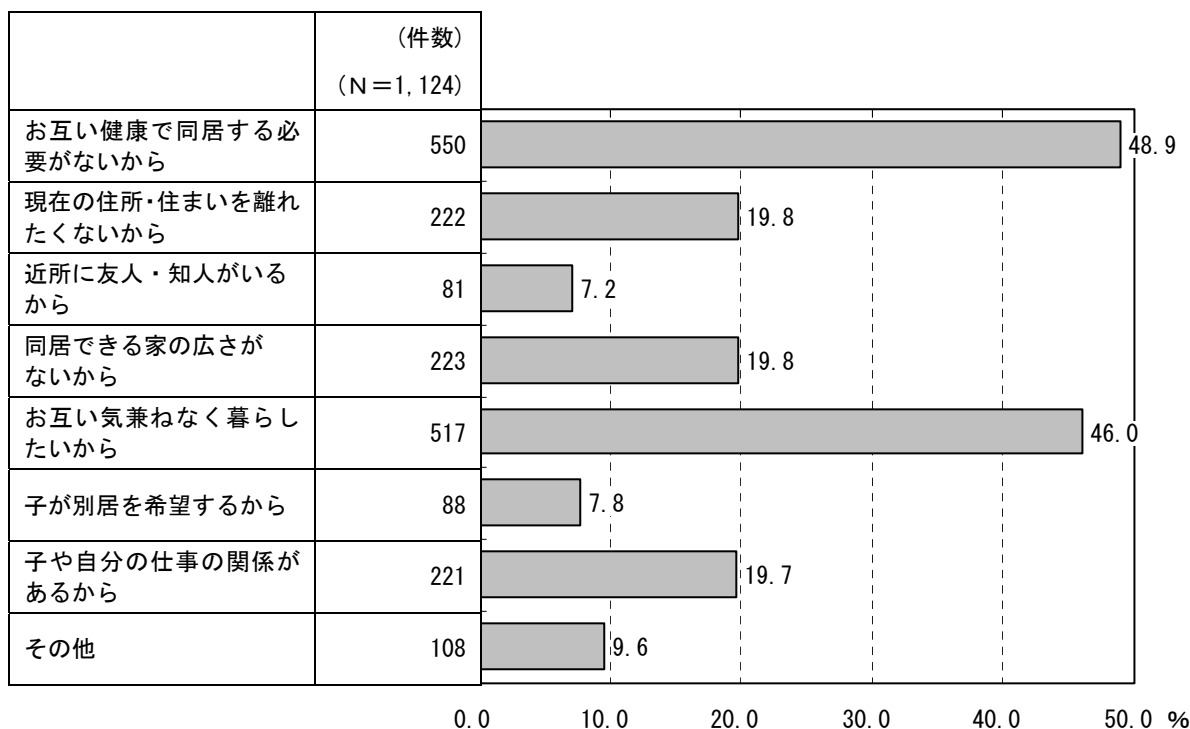
世帯構成別では、『一世代(夫婦のみ)』で「月に1～2回」の割合が、他の世帯と比べて高く、2割を超えています。

□ 世帯構成別 問4-3×問4



問4-4 子がいる方で、子と同居をしていない方のみ 子と同居していない理由は。(○は3つまで)

子と同居していない理由では、「お互い健康で同居する必要がないから」が48.9%と最も高く、次いで「お互い気兼ねなく暮らしたいから」が46.0%となっています。



【クロス集計結果】

世帯構成別では、『一世代(夫婦のみ)』で「お互い健康で同居する必要がないから」の割合が、4割近くと最も高くなっています。

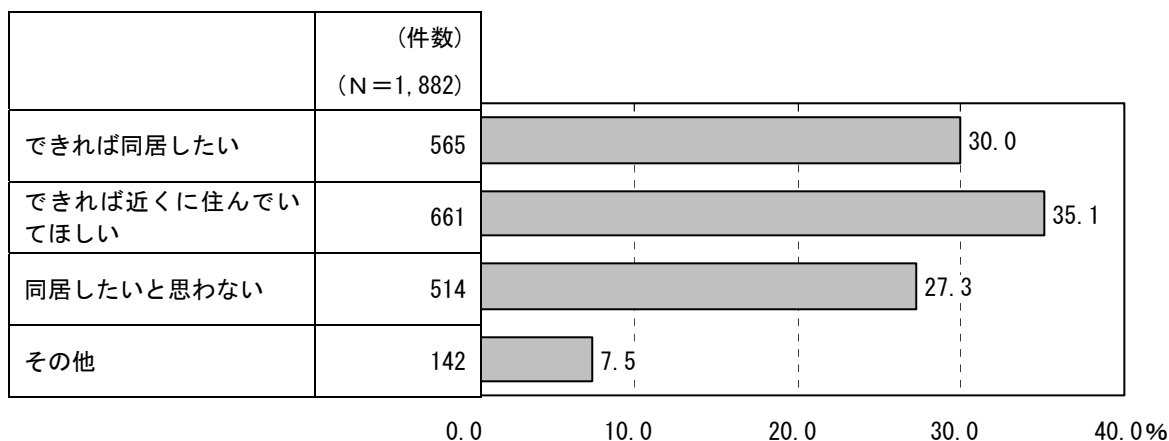
□ 世帯構成別 問4-4×問4

単位：%

	回答者数(N)	お互い健康で同居する必要がないから	現在の住所・住まいを離れたくないから	近所に友人・知人がいるから	同居できる家の広さがないから	お互い気兼ねなく暮らしたいから	子が別居を希望するから	子や自分の仕事の関係があるから	その他	不明・無回答
単身世帯(ひとり暮らし)	N=455	33.0	18.7	9.2	11.6	33.0	5.3	6.4	6.4	33.8
一世代(夫婦のみ)	N=988	39.8	13.8	3.9	16.8	36.4	6.5	19.0	7.7	18.8
一世代(兄弟姉妹のみ)	N=27	11.1	3.7	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	85.2
二世代同居(あなたと親)	N=34	11.8	0.0	0.0	11.8	17.6	0.0	11.8	8.8	50.0

問5 子がいる方のみ あなたは子と同居したい(し続けたい)ですか。(○は1つ)

子との同居希望では、「できれば近くに住んでいてほしい」が35.1%と最も高く、次いで「できれば同居したい」が30.0%となっています。



【前回調査との比較】(平成17年調査は参考)

前回調査との比較では、前回より同居を希望する割合が高くなっています。

単位：%

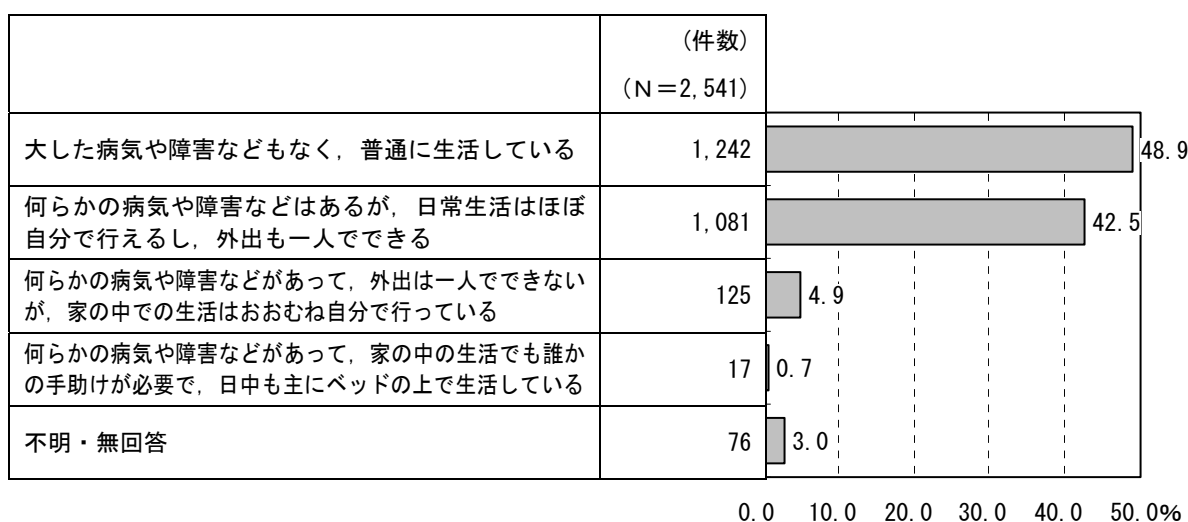
	回答者数(N)	できれば同居したいと思う	同居したいと思わないが、近くに住んでいてほしい	同居したいと思わない	その他	わからない	不明・無回答
平成17年調査	N=1,862	10.3	53.6	25.0	4.3	3.2	3.6

※調査対象及び選択肢等が異なるため、比較時には注意

2 健康に関することについて

問6 あなたの日ごろの健康状態はいかがですか。(〇は1つ)

日ごろの健康状態では、「大した病気や障害などもなく、普通に生活している」が 48.9%と最も高く、次いで「何らかの病気や障害などはあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人のできる」が 42.5%となっています。



【前回調査との比較】(平成17年調査は参考)

前回調査との比較では、前回より「家の中の生活でも誰かの手助けが必要で、日中も主にベッドの上で生活している」割合が低くなる一方、「何らかの病気や障害などはあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人のできる」割合は高くなっています。

単位: %

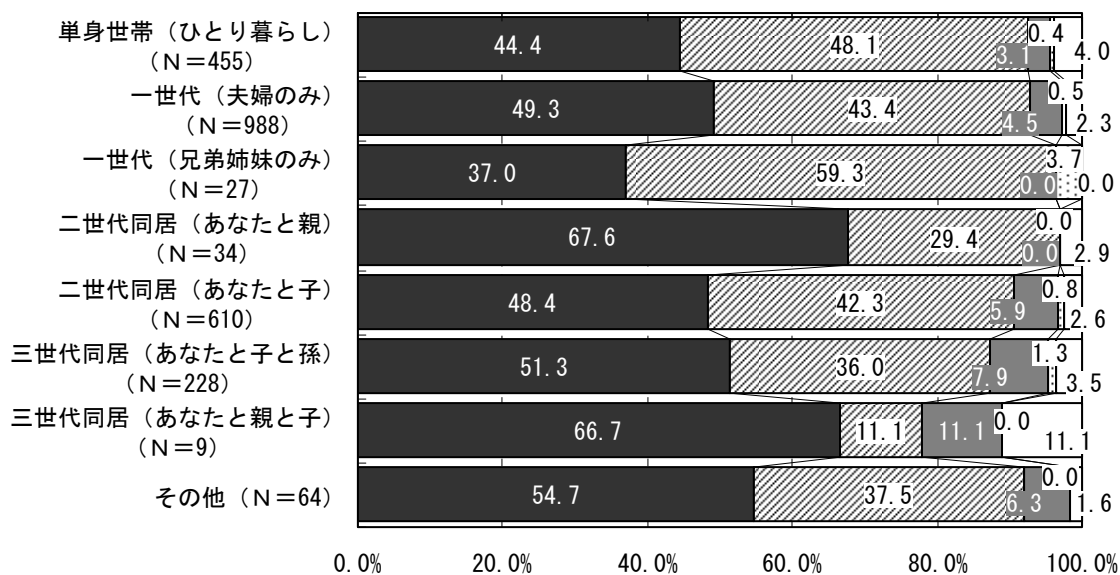
	回答者数(N)	大変健康である	大した病気や障害などもなく普通に生活している	何らかの病気や障害などはあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人のできる	外出は一人できないが、家の中での生活はおおむね自分で行っている	家の中の生活でも誰かの手助けが必要で、日中も主にベッド(ふとん)の上で生活している	トイレ、食事、着替えなども介助を要し、1日中ベッド(ふとん)の上にいる	不明・無回答
平成17年調査	N=3,633	6.4	44.3	35.5	6.3	3.0	2.4	2.1

※調査対象及び選択肢等が異なるため、比較時には注意

【クロス集計結果】

世帯構成別では、『二世帯同居（あなたと親）』と『三世帯同居（あなたと親と子）』で「大した病気や障害などもなく、普通に生活している」が7割近くと高く、『一世代（兄弟姉妹のみ）』では「何らかの病気や障害などはあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人で行える」の割合が6割近くとなっています。

□ 世帯構成別 問6×問4

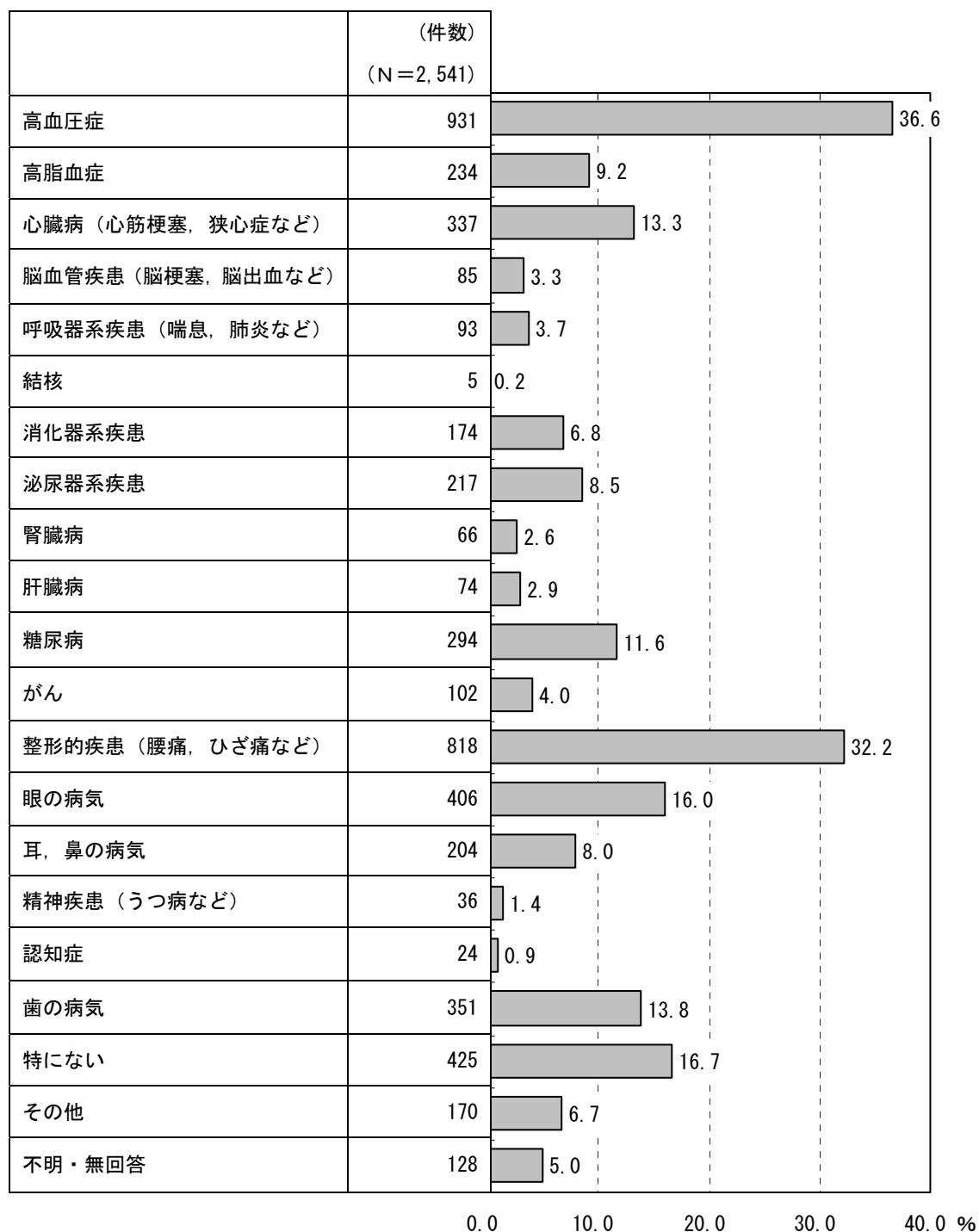


- 大した病気や障害などもなく、普通に生活している
- ▣ 何らかの病気や障害などはあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人で行える
- ▤ 何らかの病気や障害などがあって、外出は一人ではできないが、家の中での生活はおおむね自分で行っている
- 何らかの病気や障害などがあって、家の中の生活でも誰かの手助けが必要で、日中も主にベッド（ふとん）の上で生活している
- 不明・無回答

問7 あなたは現在、治療中又は日常生活に支障がある病気はありますか。

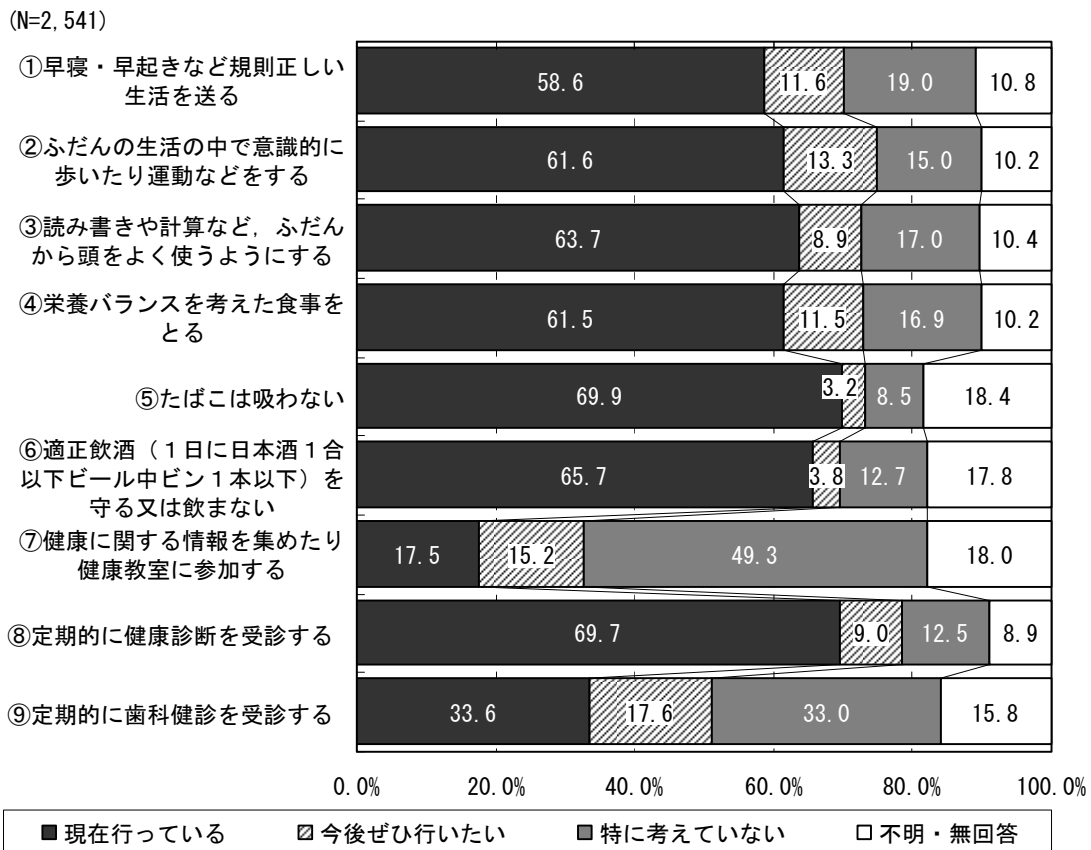
(当てはまるものすべてに○)

治療中または支障がある病気では、「高血圧症」が 36.6%と最も高く、次いで「整形的疾患（腰痛、ひざ痛など）」が 32.2%となっています。



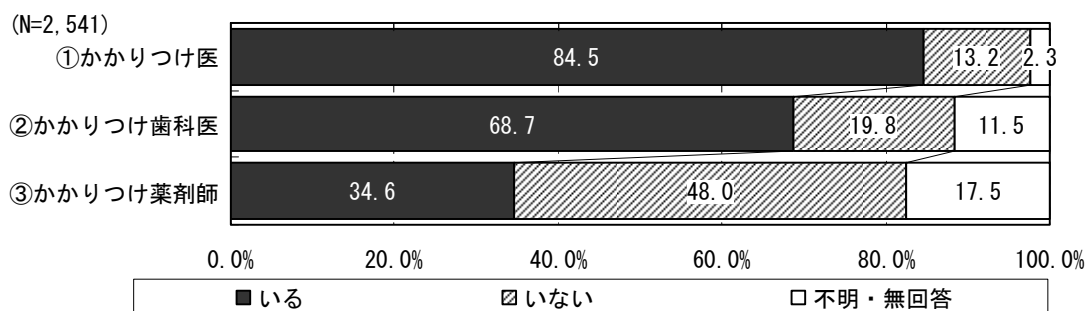
問8 あなたは、病気の予防や健康づくりのための取組を現在行っていますか。あるいは、今後どのように考えていますか。(①～⑨のそれぞれについて、1.現在行っている、2.今後ぜひ行いたい、3.特に考えていない のどれか1つに○)

「現在行っている」では、『⑤たばこは吸わない』が 69.9%と最も高く、次いで『⑧定期的に健康診断を受診する』が 69.7%となっています。「特に考えていない」では、『⑦健康に関する情報を集めたり、健康教室に参加する』が 49.3%と最も高く、次いで『⑨定期的に歯科健診を受診する』が 33.0%となっています。



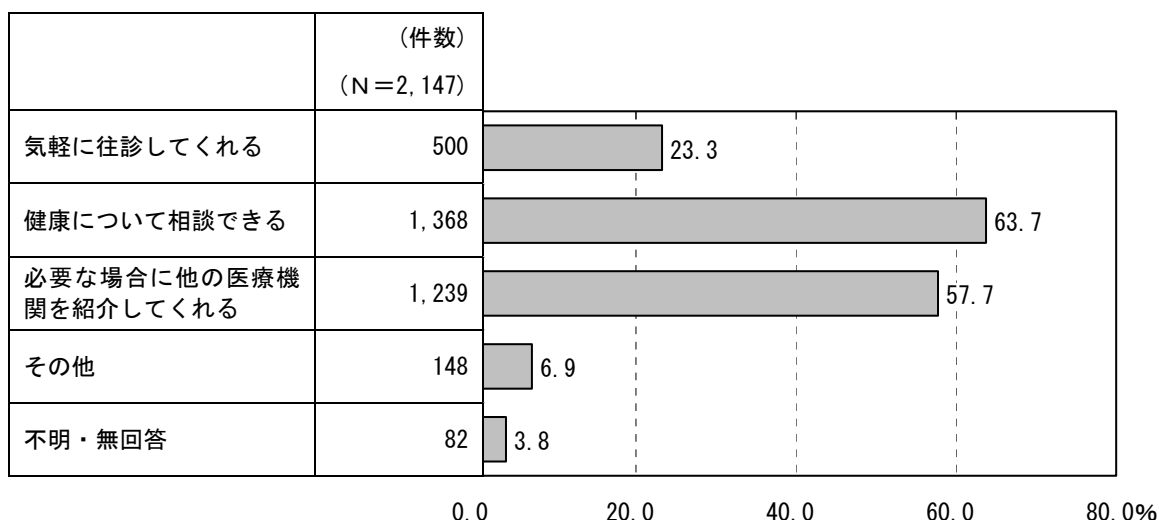
問9 あなたは、ふだんから健康について相談や指導を受けられる身近なかかりつけ医などはいませんか。(①～③のそれぞれについて、1.いる、2.いない のどちらか1つに○)

かかりつけ医の有無では、『①かかりつけ医』の「いる」が 84.5%と特に高く、『②かかりつけ歯科医』の「いる」が 68.7%、『③かかりつけ薬剤師』の「いる」が 34.6%となっています。



問9-2 かかりつけ医がいる方のみ その方はどのような方ですか。(あてはまるものすべてに○)

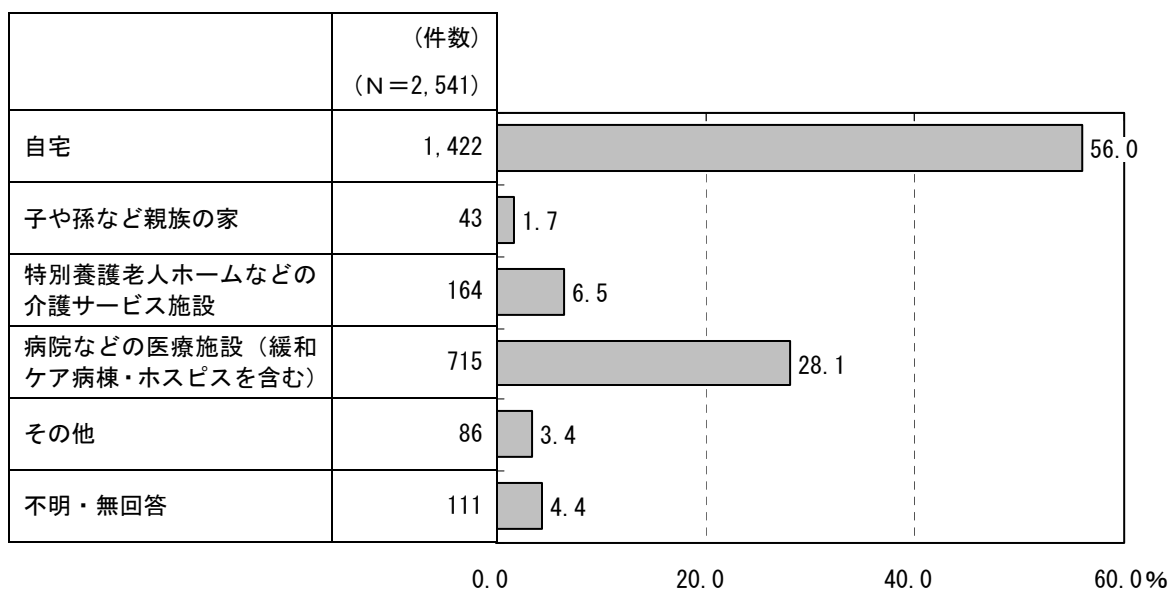
かかりつけ医がどのような方かでは、「健康について相談できる」が 63.7%と最も高く、次いで「必要な場合に他の医療機関を紹介してくれる」が 57.7%となっています。



問10 心身両面からの医療・介護を行い、個人の尊厳の保障に重点をおく「ターミナルケア」や「緩和ケア」という考え方があります。

このようなケアを受けられるとすれば、あなたは、人生の終末をどこで迎えたいですか。(○は1つ)

人生の終末の迎えかたでは、「自宅」が 56.0%と最も高く、次いで「病院などの医療施設(緩和ケア病棟・ホスピスを含む)」が 28.1%となっています。



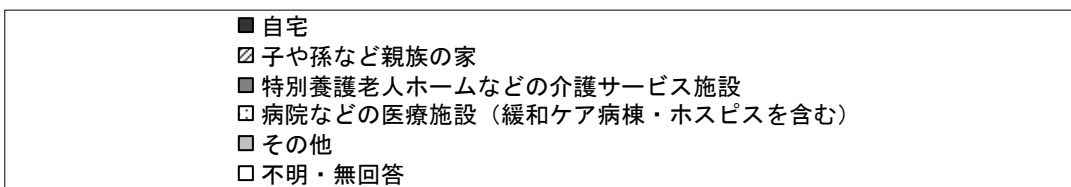
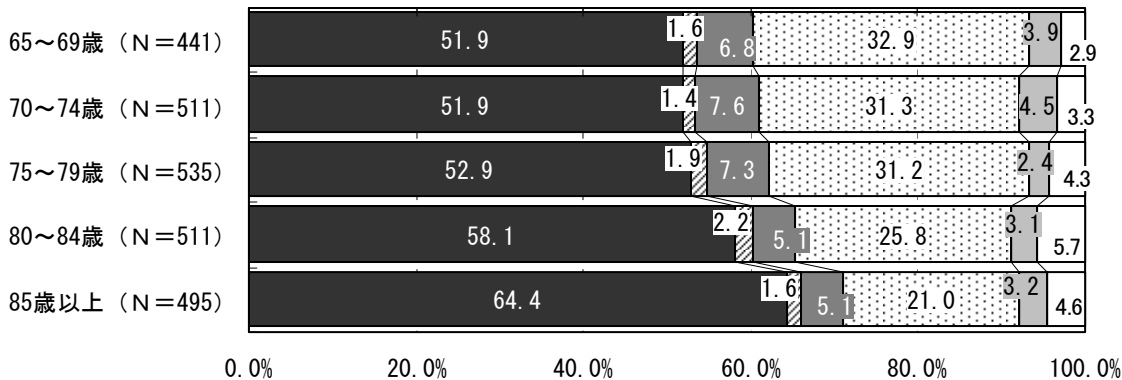
【クロス集計結果】

年齢別では、年代が上がるにつれて「自宅」の割合が高くなっています。

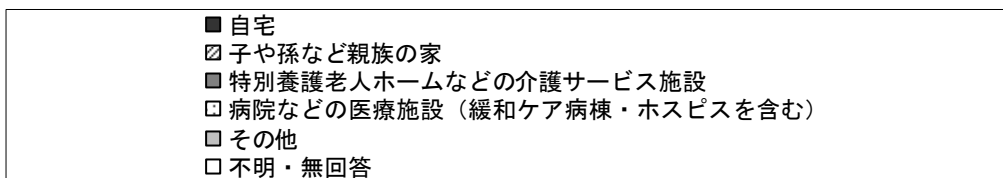
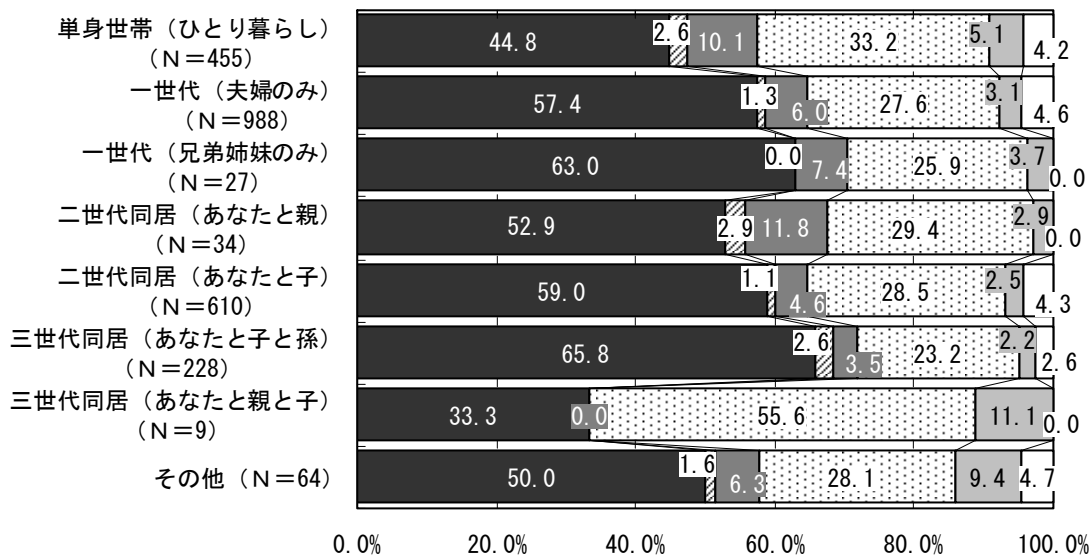
世帯構成別では、『三世代同居（あなたと子と孫）』で「自宅」の割合が6割以上と、最も高くなっています。

居住地区別では、『伏見区(醍醐支所)』で「自宅」の割合が低くなっています。

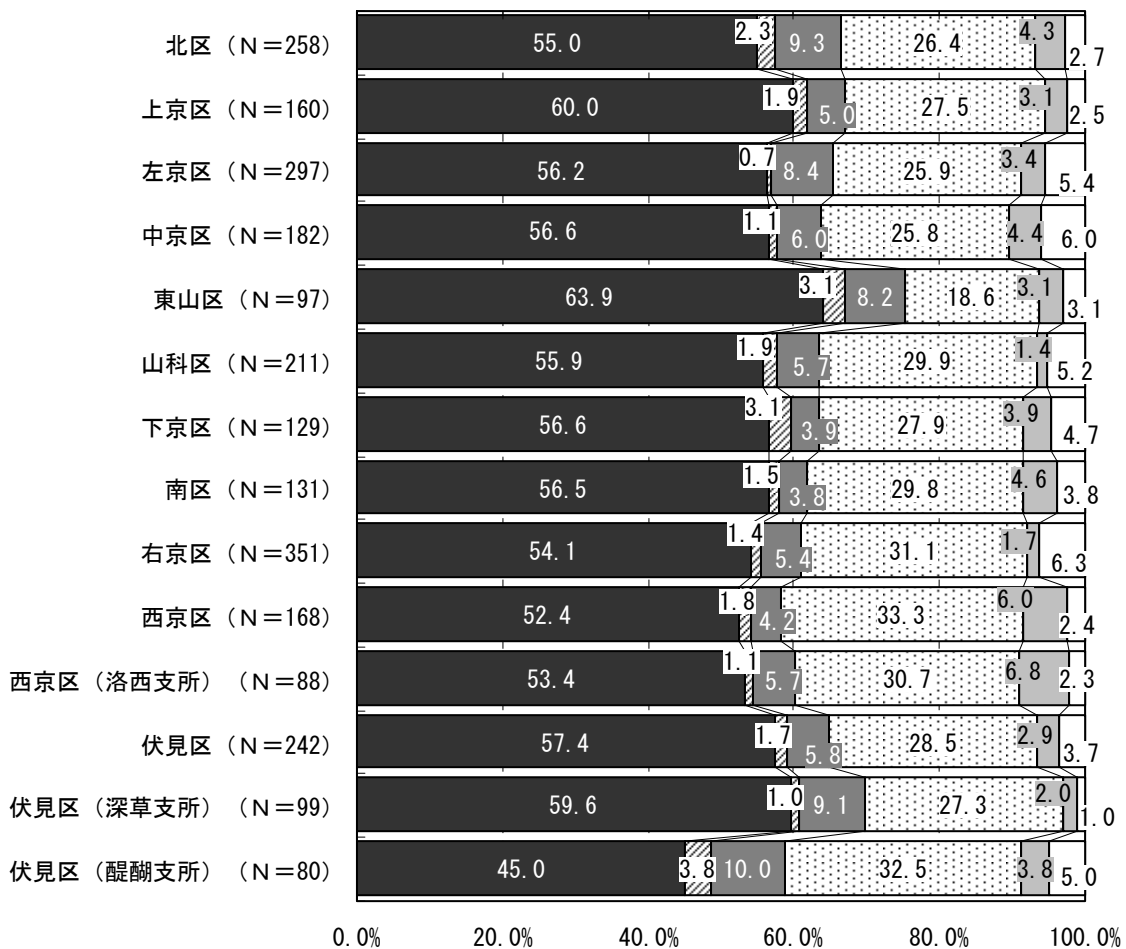
□ 年齢別 問10×問1



□ 世帯構成別 問10×問4



□ 居住地区別 問 10×問3

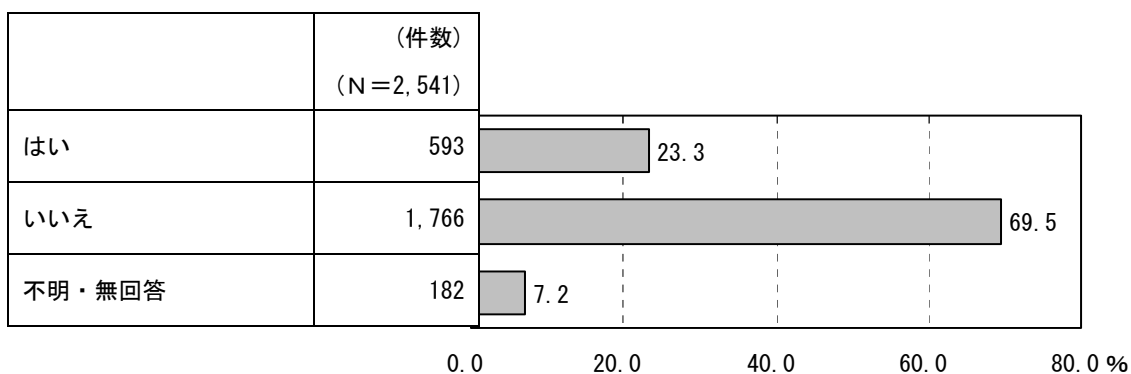


- 自宅
- ▨ 子や孫など親族の家
- 特別養護老人ホームなどの介護サービス施設
- 病院などの医療施設 (緩和ケア病棟・ホスピスを含む)
- その他
- 不明・無回答

3 就労に関することについて

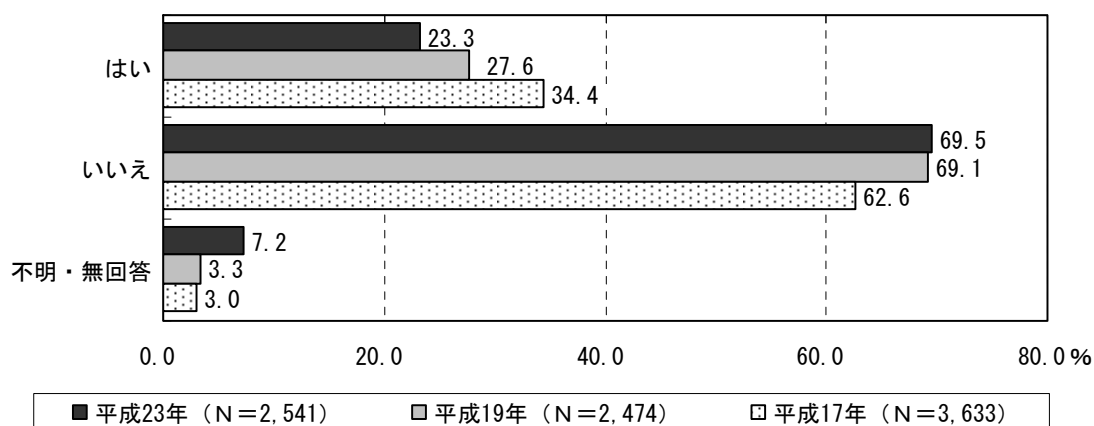
問11 あなたは現在, 収入になる仕事をしていますか。(どちらかに○)

就労しているかでは, 「はい」(収入になる仕事をしている) が 23.3%, 「いいえ」(収入になる仕事をしていない) が 69.5%となっています。



【前回調査との比較】(平成 17 年調査は参考)

前回調査との比較では, 前回より「はい」(収入になる仕事をしている) の割合が低くなっています。

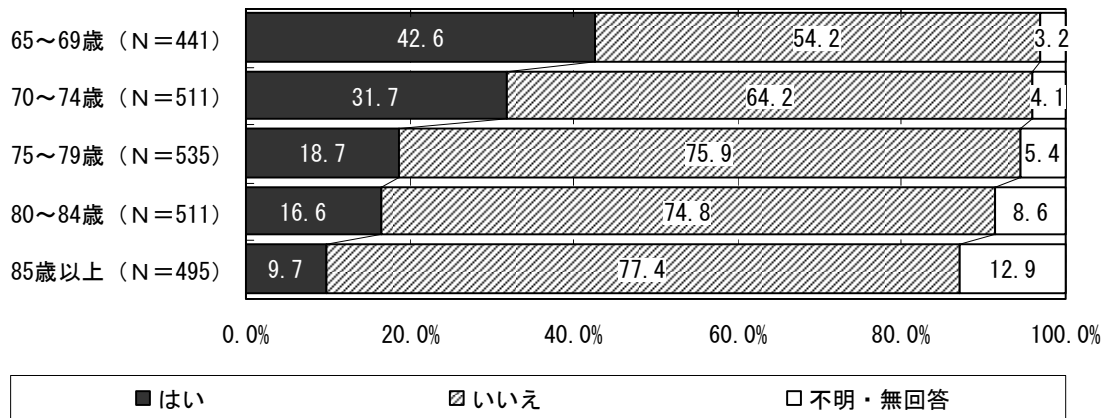


※調査対象及び選択肢等が異なるため, 比較時には注意

【クロス集計結果】

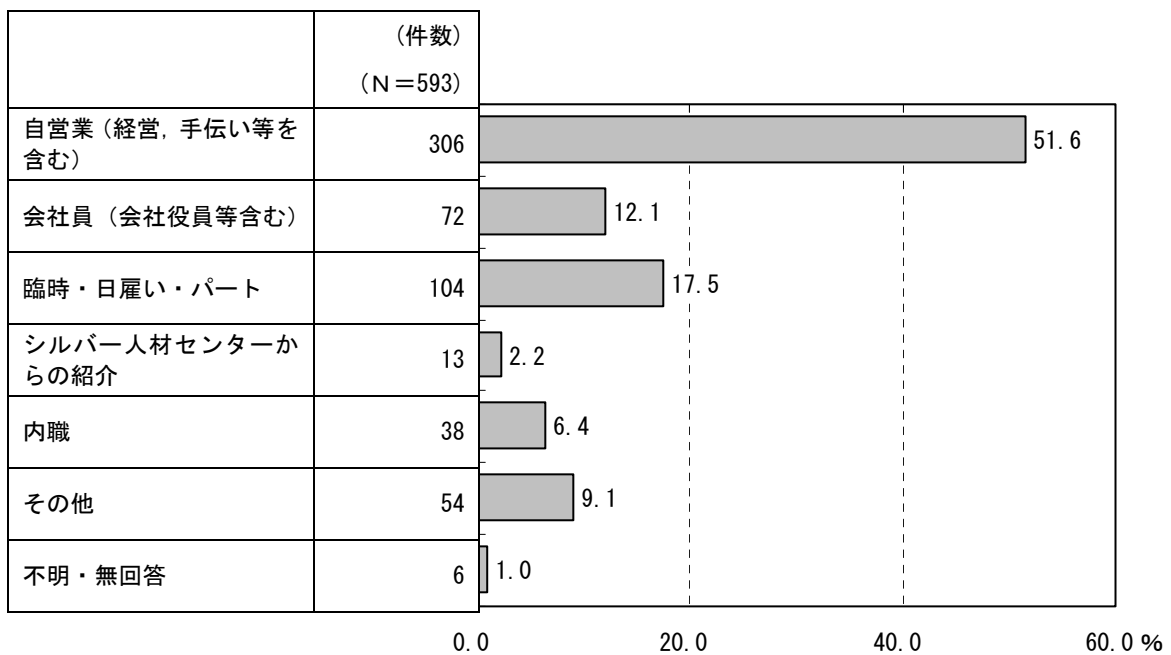
年齢別では、年代が上がるにつれて「はい」の割合が低くなっています。

□ 年齢別 問11×問1



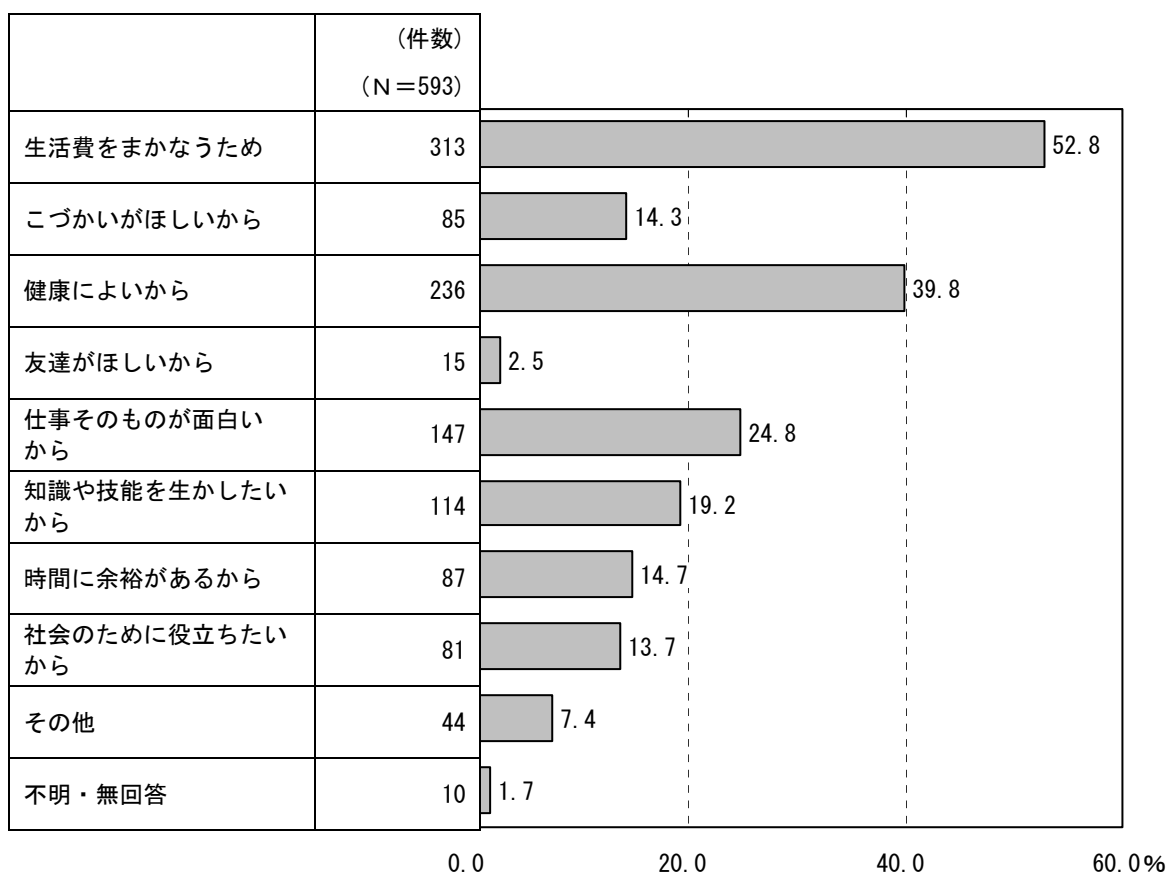
問11-2 収入になる仕事をしている方のみ あなたの主な就労形態は何ですか。(○は1つ)

主な就労形態は、「自営業（経営, 手伝い等を含む）」が 51.6%と最も高く, 次いで「臨時・日雇い・パート」が 17.5%となっています。



問11-3 収入になる仕事をしている方のみ 働いている主な理由は何ですか。(〇は3つまで)

働いている主な理由では、「生活費をまかなうため」が 52.8%と最も高く、次いで「健康によいから」が 39.8%となっています。



【前回調査との比較】(平成17年調査は参考)

前回調査との比較では、前回より「生活費をまかなうため」の割合が高くなっています。

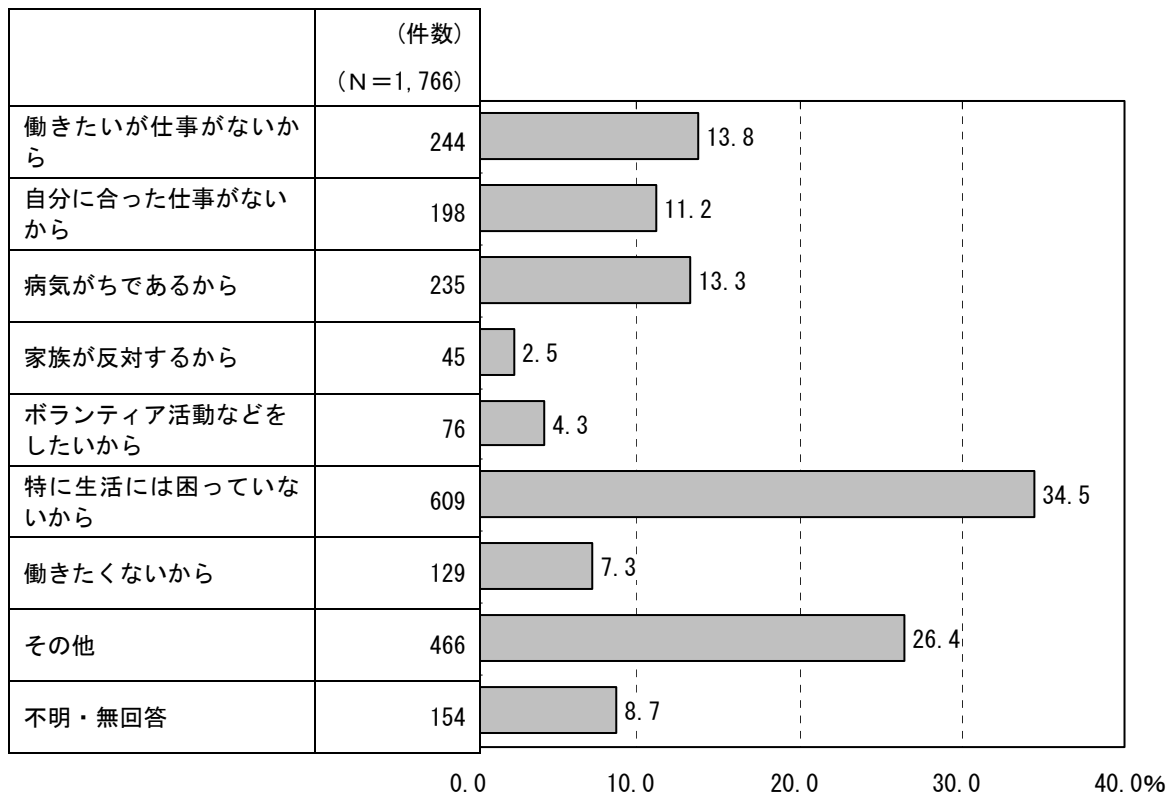
単位：%

	回答者数(N)	生活費をまかなうため	生活費の不足を補うため	こづかいがほしいから	健康によいから	友達がほしいから	仕事そのものが面白いから	何もしないでいると退屈だから	社会のために役立ちたいから	その他	不明・無回答
平成17年調査	N=1,249	46.0	30.4	12.1	38.0	3.0	25.5	19.7	14.9	5.7	1.7

※調査対象及び選択肢等が異なるため、比較時には注意

問11-4 収入になる仕事をしていない方のみ その主な理由は何ですか。(〇は3つまで)

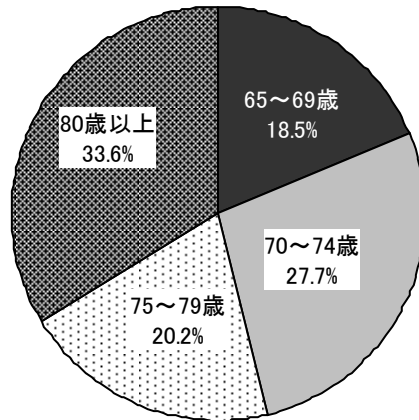
収入になる仕事をしていない主な理由では、「特に生活には困っていないから」が 34.5%と最も高く、次いで「その他」が 26.4%となっています。



問11-5 何歳まで働きたいですか。(〇は1つ)

何歳まで働きたいかでは、「80歳以上」が33.6%と最も高く、次いで「70～74歳」が27.7%となっています。

(N=1,210)



【前回調査との比較】(平成17年調査は参考)

前回調査との比較では、前回調査で「70～74歳」の割合が最も高いのに対して、今回調査では75歳以上の割合が特に高くなっています。

単位: %

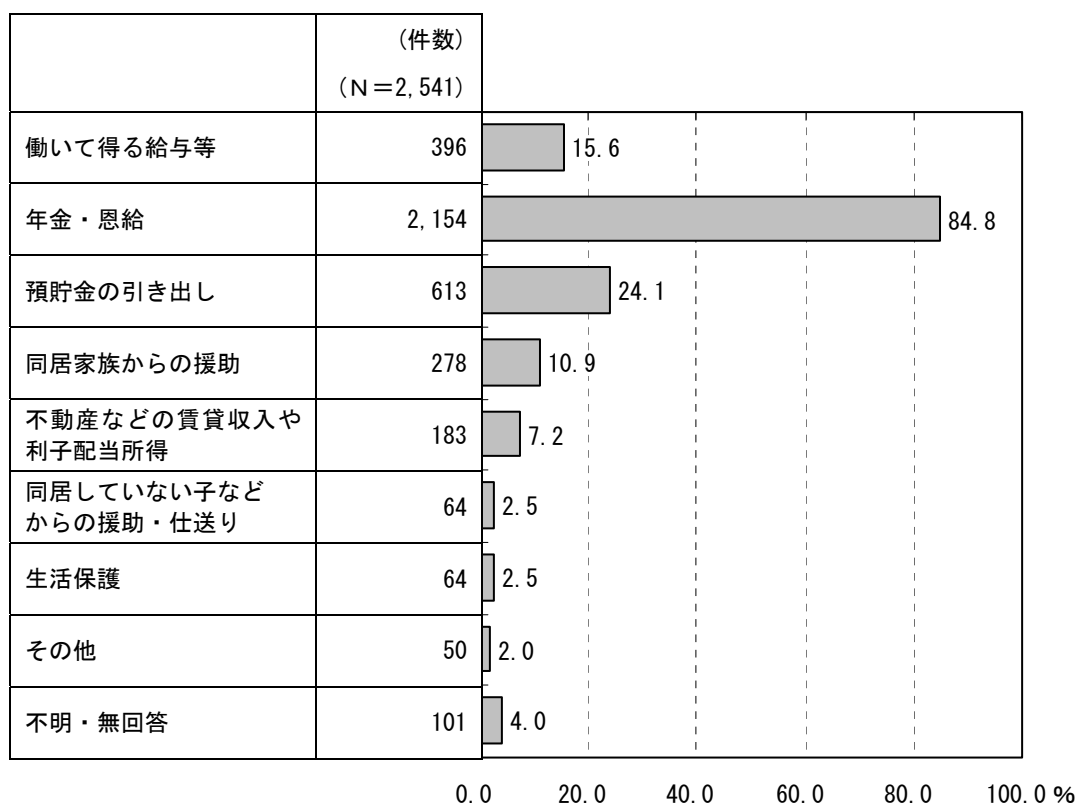
	回答者数(N)	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	不明・無回答
平成17年調査	N=1,249	9.4	26.3	28.3	28.0	8.0

※調査対象及び選択肢等が異なるため、比較時には注意

4 収入に関することについて

問12 あなたは生活費をどのようにして得ていますか。(〇は3つまで)

生活費をどのようにして得ているかでは、「年金・恩給」が84.8%と最も高く、次いで「預貯金の引き出し」が24.1%となっています。



【前回調査との比較】(平成17年調査は参考)

前回調査との比較では、前回より「働いて得る給与等」と「年金・恩給」の割合が低くなっているのに対して、「預貯金の引き出し」の割合が高くなっています。

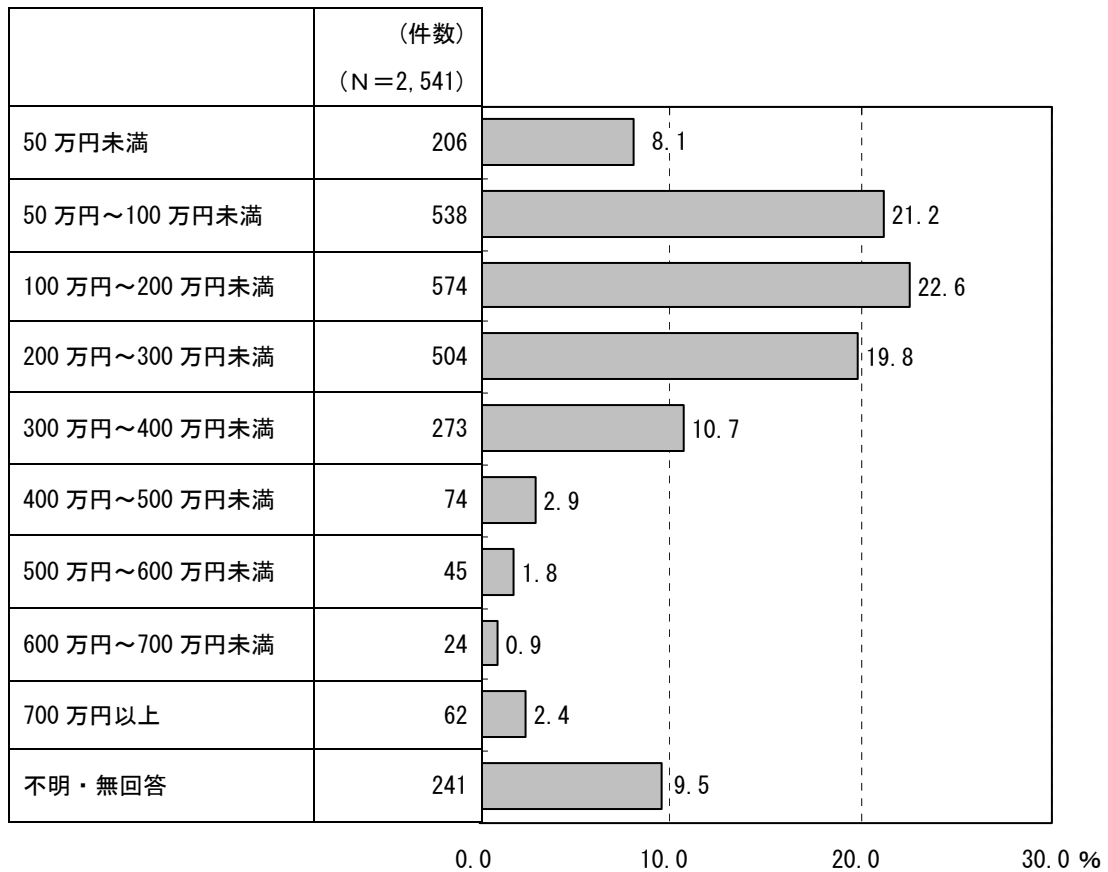
単位：%

	回答者 数(N)	働いて 得る給 与等	国民 年金など 公的 年金	恩給	企業 年金私 的年金	預貯 金の 引き出 し	持家な どの賃 貸収 入や利 子配 当所得	同居 家族 の収 入	子ど もか らの 援助	生活 保護	その他	不明・ 無回 答
平成19年調査	N=2,474	17.5	86.6	1.1	9.0	13.7	5.1	11.3	2.5	2.2	1.3	1.9
平成17年調査	N=3,633	25.5	75.9	3.1	9.5	18.0	6.8	14.1	3.4	2.6	2.0	2.3

※調査対象及び選択肢等が異なるため、比較時には注意

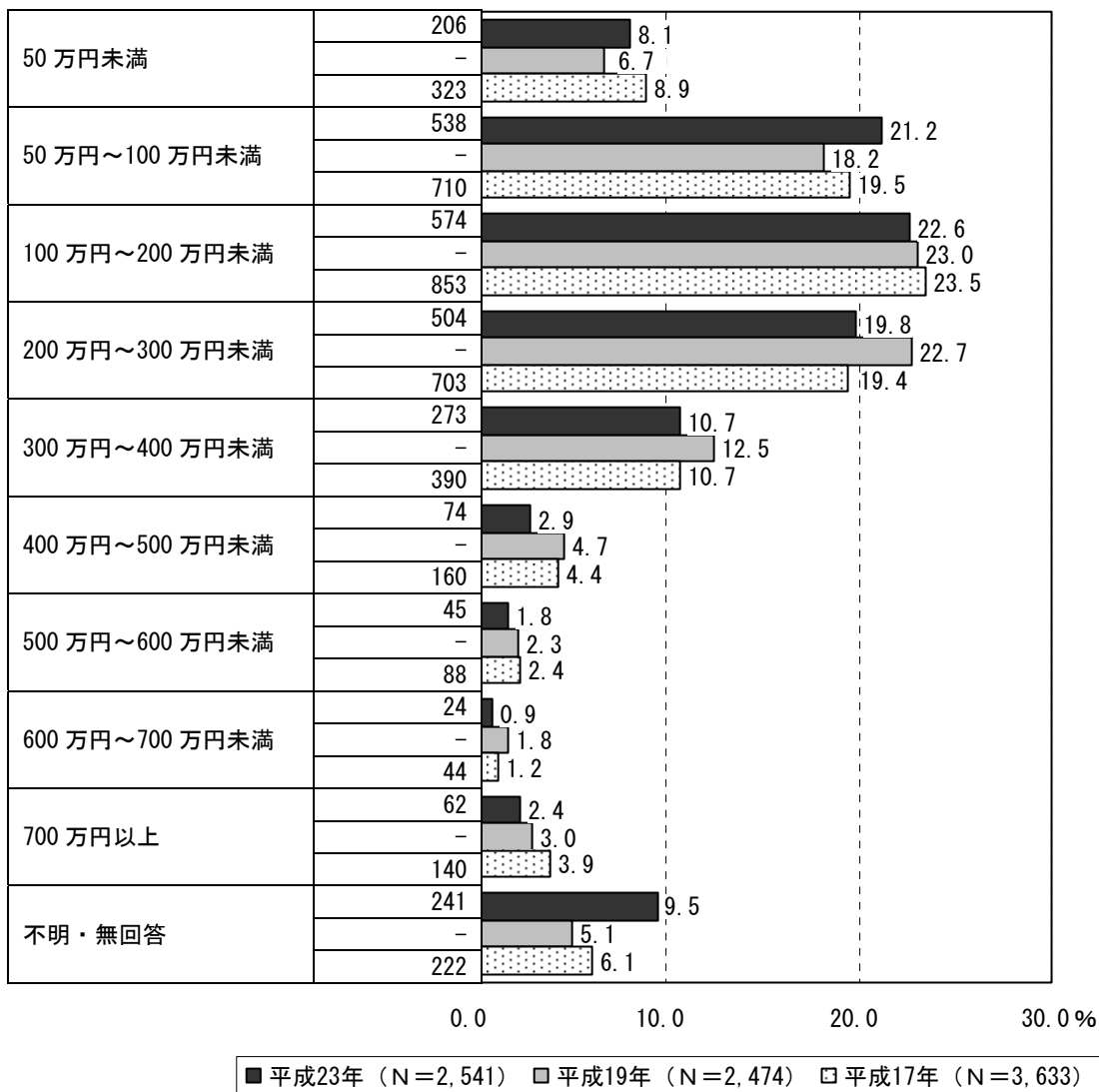
問13 あなた個人の年間の総収入(年金などを含め、税込みで)はどのくらいですか。(〇は1つ)

個人の総年収では、「100万円～200万円未満」が22.6%と最も高く、次いで「50万円～100万円未満」が21.2%となっています。



【前回調査との比較】（平成 17 年調査は参考）

前回調査との比較では、平成 19 年調査より「200 万円～300 万円未満」の割合が低くなっているのに対して、「50 万円～100 万円未満」の割合が高くなっています。また、「700 万円以上」の割合は年々低くなっています。



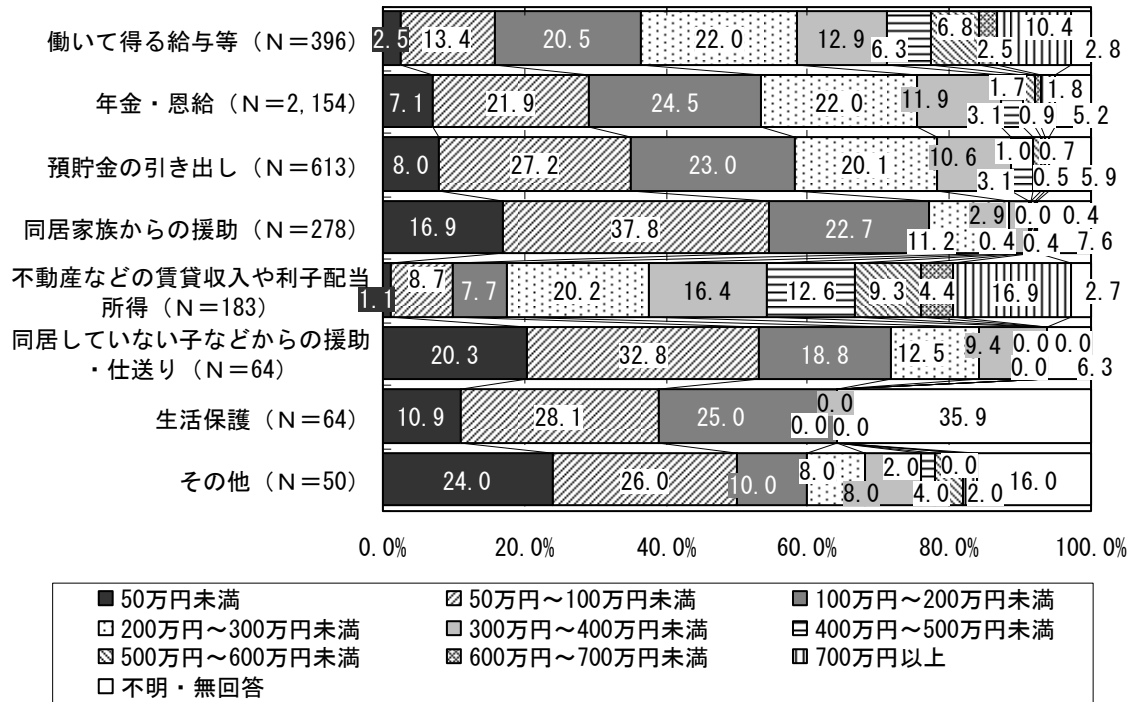
※調査対象等が異なるため、比較時には注意

※平成 19 年調査の回答数についてはデータがないため、未表記となっています

【クロス集計結果】

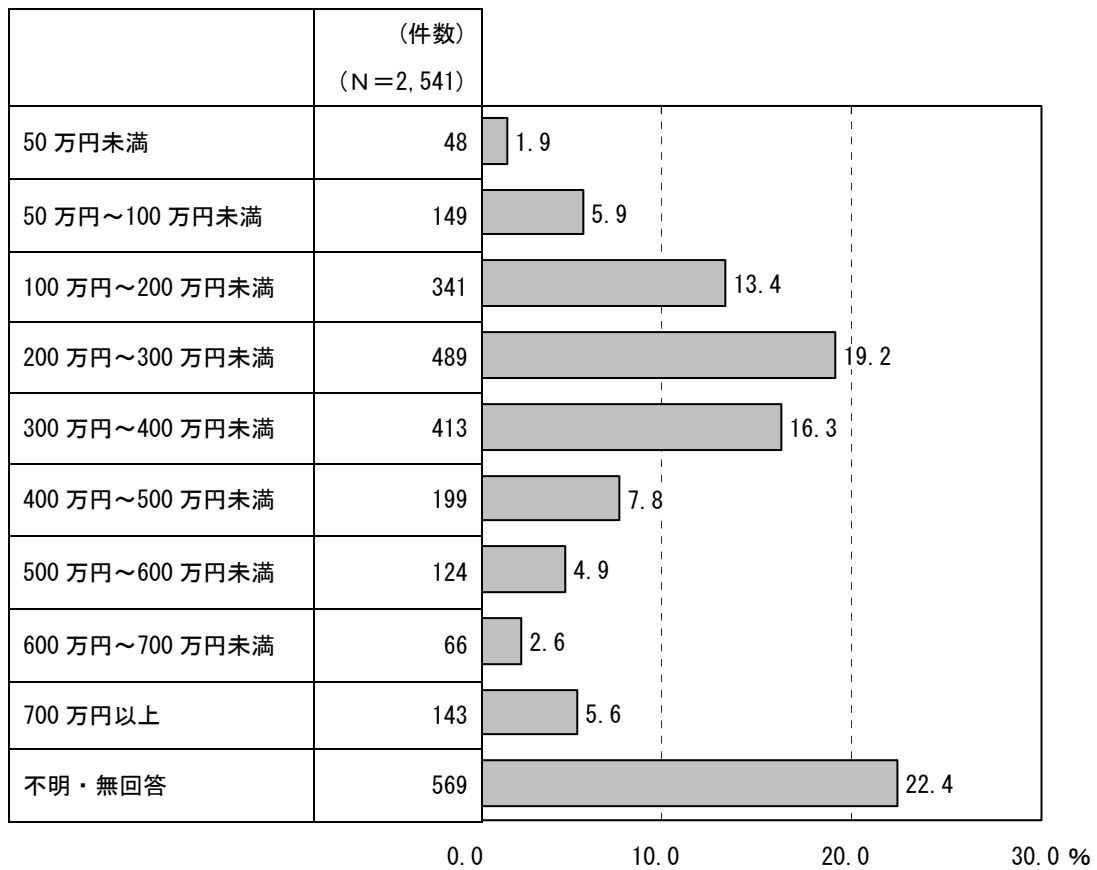
収入源別では、『働いて得る給与等』で「200～300万円未満」の割合が高くなっています。『年金・恩給』では「100万円～200万円未満」の割合が高くなっています。また、『預貯金の引き出し』と『同居家族からの援助』、『同居していない子などからの援助・仕送り』、『生活保護』では「50万円～100万円未満」の割合が高く、『不動産などの賃貸収入や利子配当所得』では他の世帯と比べて200万円以上の割合が高くなっています。

□ 収入源別 問 13×問 12



問14 あなたの世帯(同居して同一生計を営む世帯)の年間の総収入(年金などを含め、税込みで)はどのくらいですか。(〇は1つ)

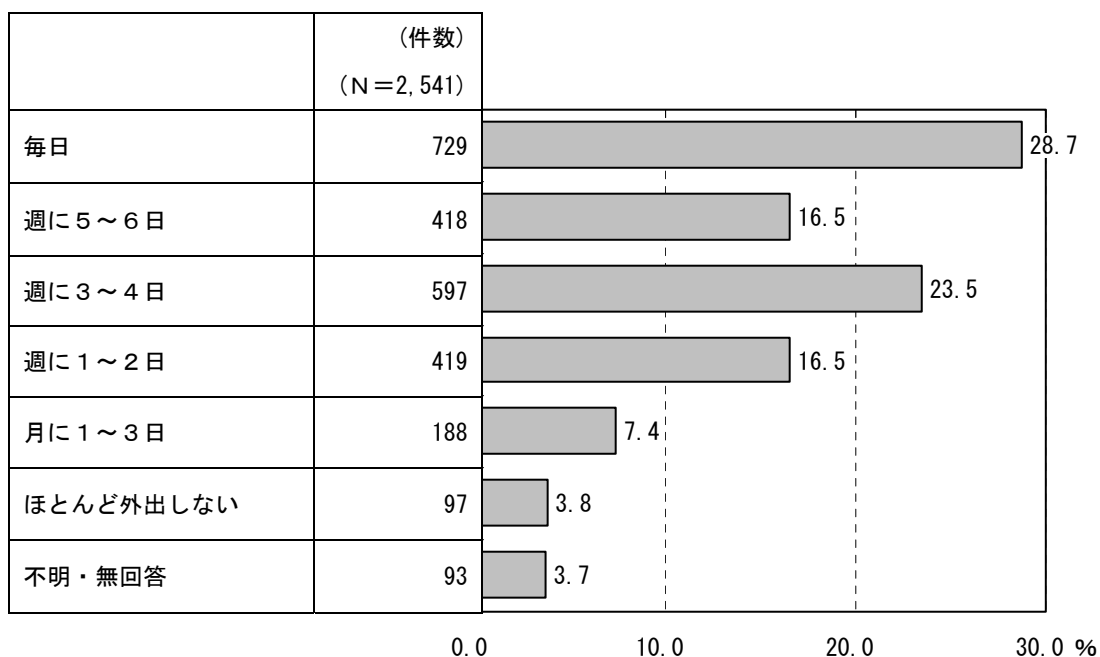
世帯の総収入では、「200万円～300万円未満」が19.2%と最も高く、次いで「300万円～400万円未満」が16.3%となっています。



5 近所づきあい・外出に関することについて

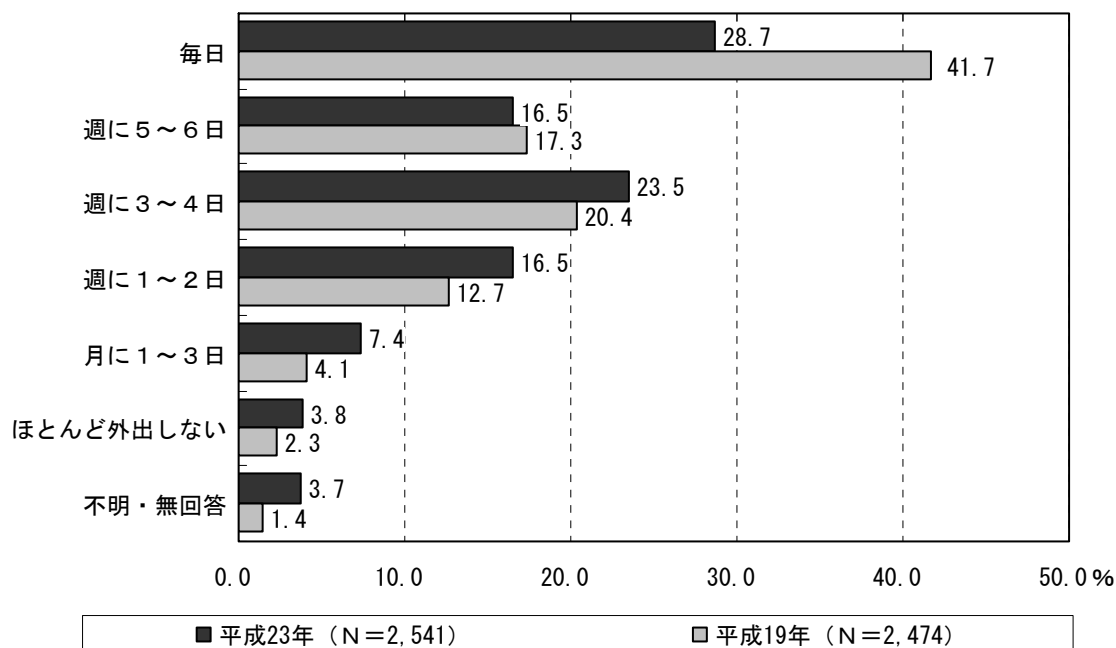
問15 あなたの外出頻度はどのくらいですか。(〇は1つ)

外出頻度では、「毎日」が28.7%と最も高く、次いで「週に3～4日」が23.5%となっています。



【前回調査との比較】

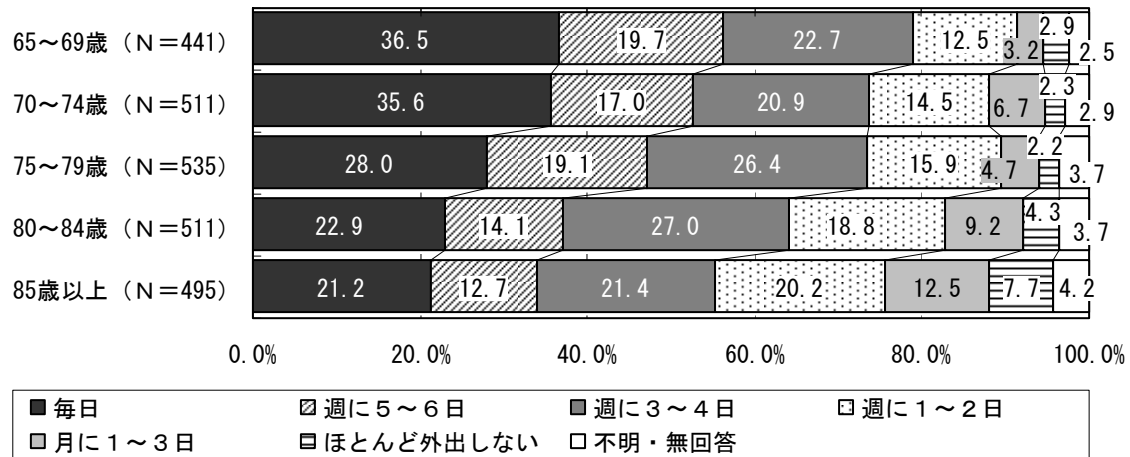
前回調査との比較では、前回より「毎日」の割合が、約4割から3割弱と低くなっています。



【クロス集計結果】

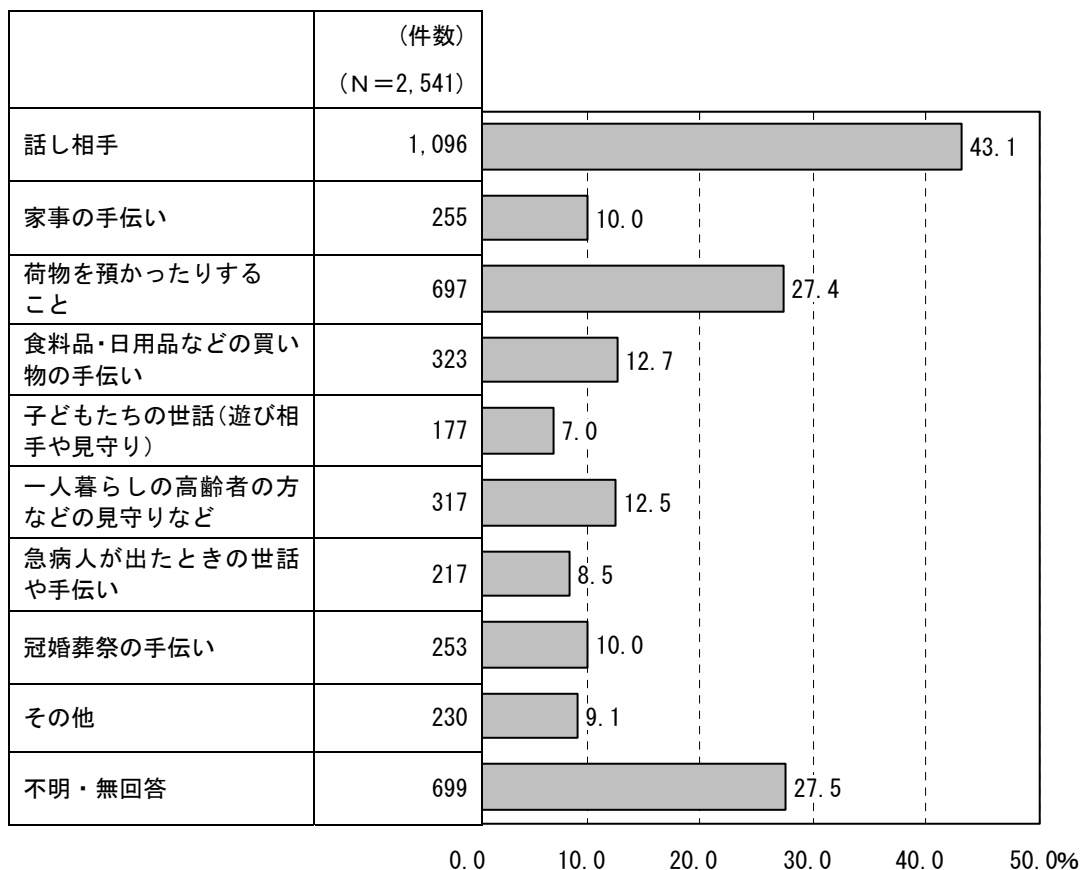
年齢別では、年代が上がるにつれて「毎日」の割合が低くなっているのに対して、「週に1～2日」と「月に1～3日」の割合が高くなっています。

□ 年齢別 問15×問1



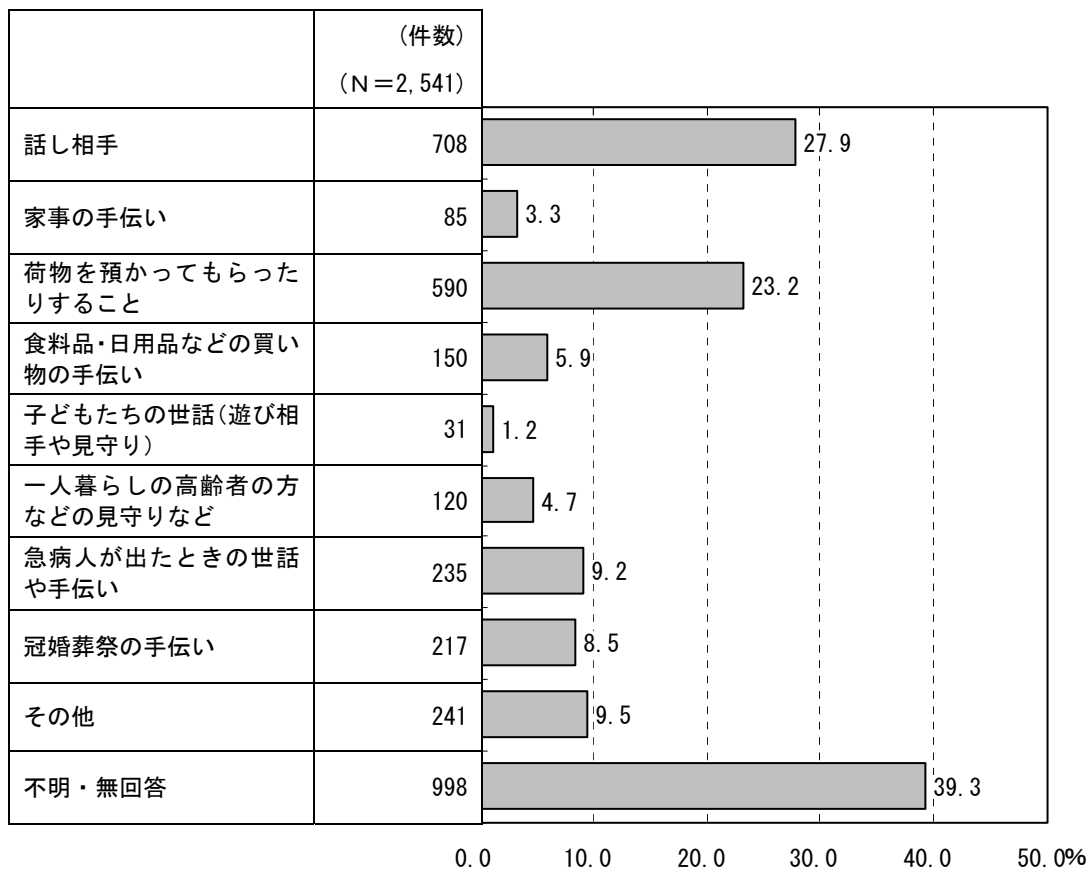
問16-1 あなた自身がお近所で手助けや協力ができることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

自身が協力できることでは、「話し相手」が43.1%と最も高く、次いで「荷物を預かったりすること」が27.4%となっています。



問16-2 あなた自身が近所に頼むことができそうなことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

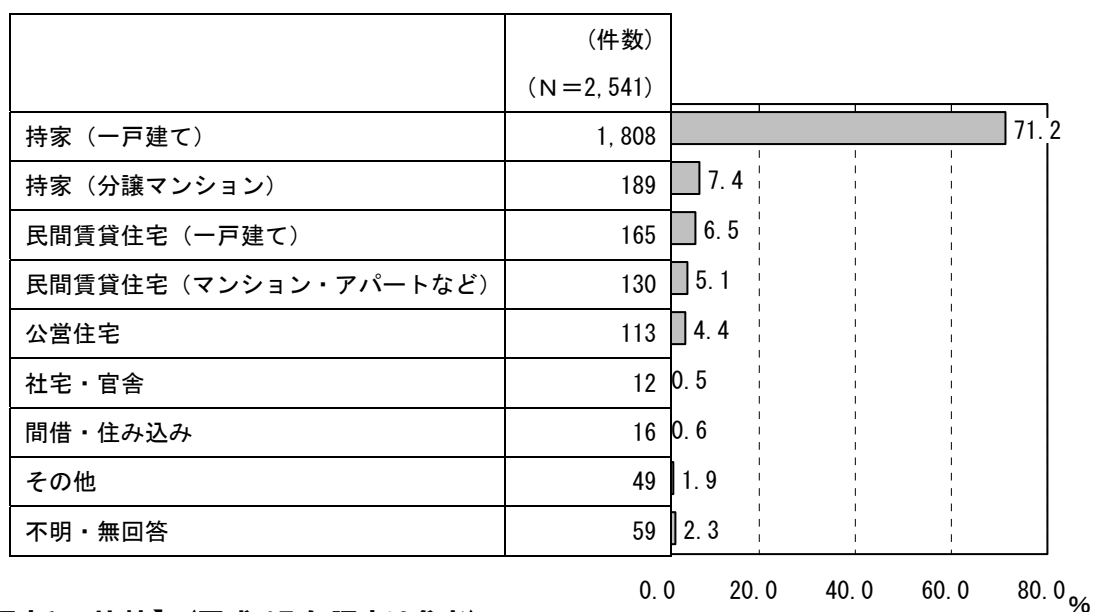
近所に頼むことができそうなことでは、「話し相手」が27.9%と最も高く、次いで「荷物を預かってもらったりすること」が23.2%となっています。



6 住まいに関することについて

問17 あなたの現在のお住まいは、次のどれにあてはまりますか。(〇は1つ)

現在の住まいでは、「持家（一戸建て）」が71.2%と最も高く、次いで「持家（分譲マンション）」が7.4%となっています。



【前回調査との比較】（平成17年調査は参考）

前回調査との比較では、「持家（分譲マンション）」の割合が調査ごとに高くなっています。

単位：%

	回答者数(N)	持家（一戸建て）	持家（分譲マンション）	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（マンション・アパートなど）	公営住宅	社宅・官舎	間借・住み込み	その他	不明・無回答
平成19年調査	N=2,474	71.9	6.7	6.2	7.2	3.7	0.4	0.2	2.2	1.5

	回答者数(N)	持家（一戸建て）	持家（長屋棟）	持家（マンション）	民間の貸家（一戸建て）	民間の貸家（長屋棟）	民間の貸家（木造アパート・文化住宅）	民間の貸家（マンション）	府営・市営住宅	公団・公社の賃貸住宅
平成17年調査	N=3,633	63.3	6.8	6.0	5.0	2.9	2.4	2.7	4.0	2.1

	回答者数(N)	社宅・公務員住宅など	間借り	その他	不明・無回答
平成17年調査	N=3,633	0.2	0.3	1.7	2.7

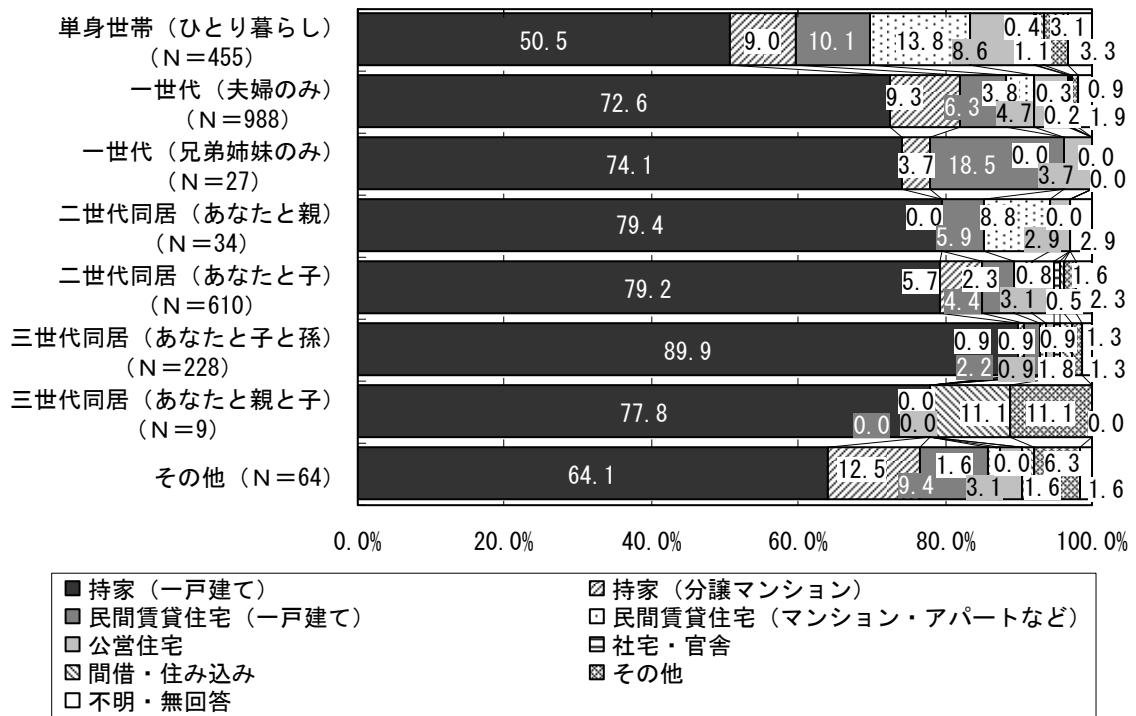
※調査対象及び選択肢等が異なるため、比較時には注意

【クロス集計結果】

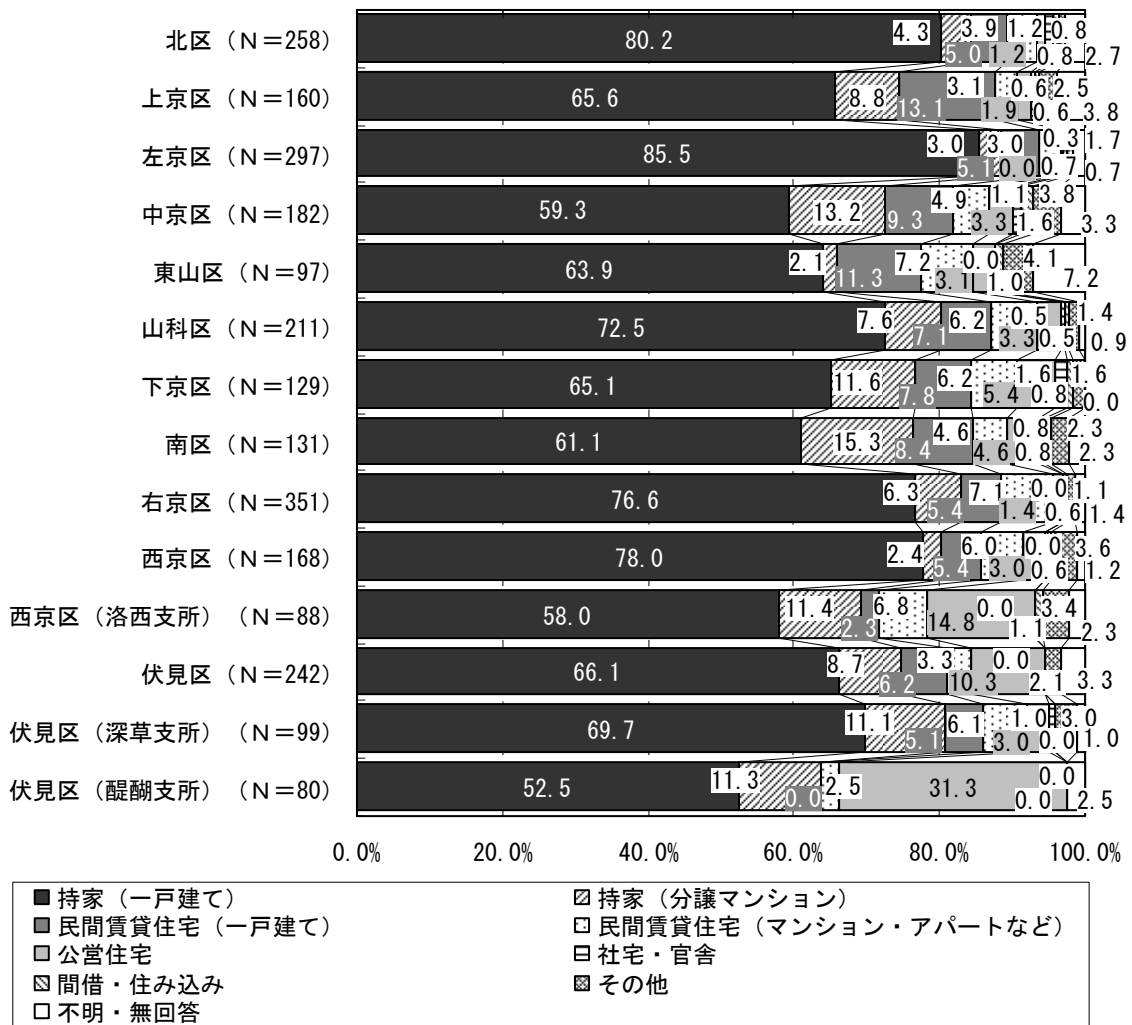
世帯構成別では、『単身世帯（ひとり暮らし）』で「持家（一戸建て）」が約5割に対して、『三世代同居（あなたと子と孫）』では9割近くとなっています。

居住地区別では、『北区』と『左京区』で「持家（一戸建て）」が8割以上と高くなっているのに対して、『伏見区(醍醐支所)』では約5割となっています。

□ 世帯構成別 問 17×問4

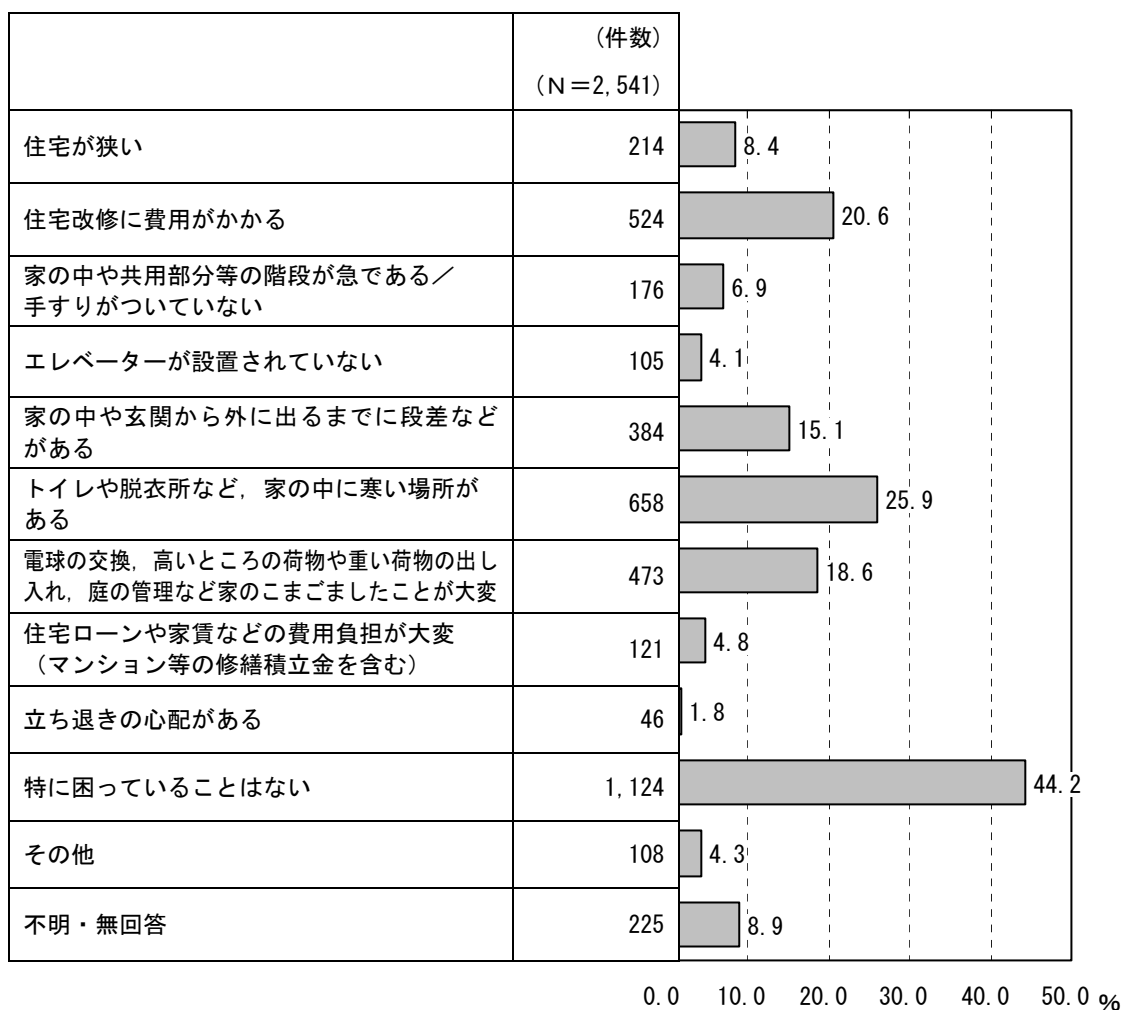


□ 居住地区別 問 17×問3



問18 現在のお住まいについて困りごとはありませんか。(あてはまるものすべてに○)

住まいについての困りごとでは、「特に困っていることはない」が44.2%と最も高く、次いで「トイレや脱衣所など、家の中に寒い場所がある」が25.9%となっています。



【クロス集計結果】

住まいの形態別では、『民間賃貸住宅（一戸建て）』で「トイレや脱衣所など、家の中に寒い場所がある」の割合が高く、その他の住まいでは「特に困っていることはない」の割合が高くなっています。

□ 住まいの形態別 問 18×問 17

単位：%

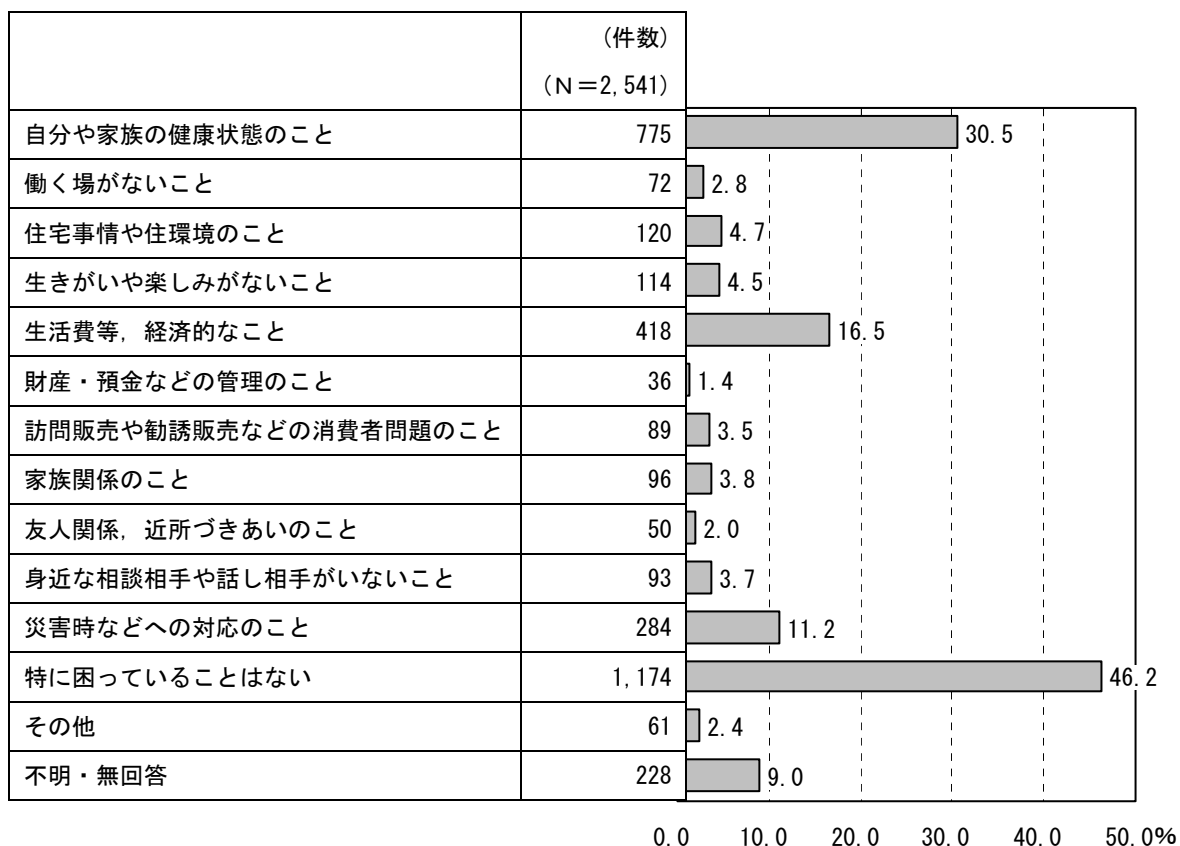
	回答者数(N)	住宅が狭い	住宅改修に費用がかかる	家の中や共用部分等の階段が急である／手すりがない	エレベーターが設置されていない	家の中や玄関から外に出るまでに段差などがある	トイレや脱衣所など、家の中に寒い場所がある
持家（一戸建て）	N=1,808	7.2	24.5	7.6	3.7	17.5	27.7
持家（分譲マンション）	N=189	4.8	9.5	3.2	2.6	7.4	12.2
民間賃貸住宅（一戸建て）	N=165	10.3	25.5	7.9	0.6	13.9	40.0
民間賃貸住宅（マンション・アパートなど）	N=130	20.0	3.8	6.2	5.4	12.3	20.8
公営住宅	N=113	14.2	4.4	5.3	19.5	8.0	25.7
社宅・官舎	N=12	8.3	16.7	0.0	8.3	0.0	16.7
間借・住み込み	N=16	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	6.3
その他	N=49	14.3	8.2	10.2	4.1	8.2	14.3

	回答者数(N)	電球の交換、荷物の出し入れ、庭の管理など家のこまごましたことが大変	住宅ローンや家賃などの費用負担が大変	立ち退きの心配がある	特に困っていることはない	その他	不明・無回答
持家（一戸建て）	N=1,808	19.9	1.4	0.3	46.3	3.7	7.0
持家（分譲マンション）	N=189	16.4	10.6	0.0	58.2	5.3	5.8
民間賃貸住宅（一戸建て）	N=165	18.8	20.6	15.2	26.1	4.2	7.9
民間賃貸住宅（マンション・アパートなど）	N=130	12.3	20.0	6.9	37.7	5.4	11.5
公営住宅	N=113	15.9	10.6	1.8	38.9	9.7	6.2
社宅・官舎	N=12	8.3	8.3	8.3	58.3	8.3	0.0
間借・住み込み	N=16	12.5	12.5	6.3	43.8	0.0	6.3
その他	N=49	22.4	0.0	4.1	46.9	12.2	10.2

7 生活の困りごと・相談相手について

問19 あなたは今の生活で何か困っていることがありますか。(〇は3つまで)

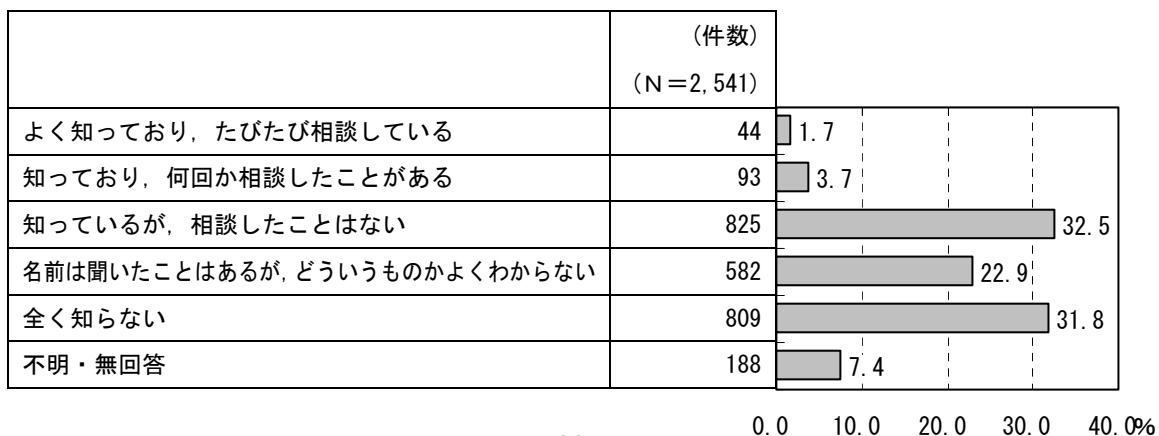
現在の生活で困っていることでは、「特に困っていることはない」が 46.2%と最も高く、次いで「自分や家族の健康状態のこと」が 30.5%となっています。



問20 地域包括支援センターは、高齢者の方の総合的な生活支援の窓口となるところであり、介護予防の拠点として、高齢者ご本人やご家族からの相談に応じる機関です。

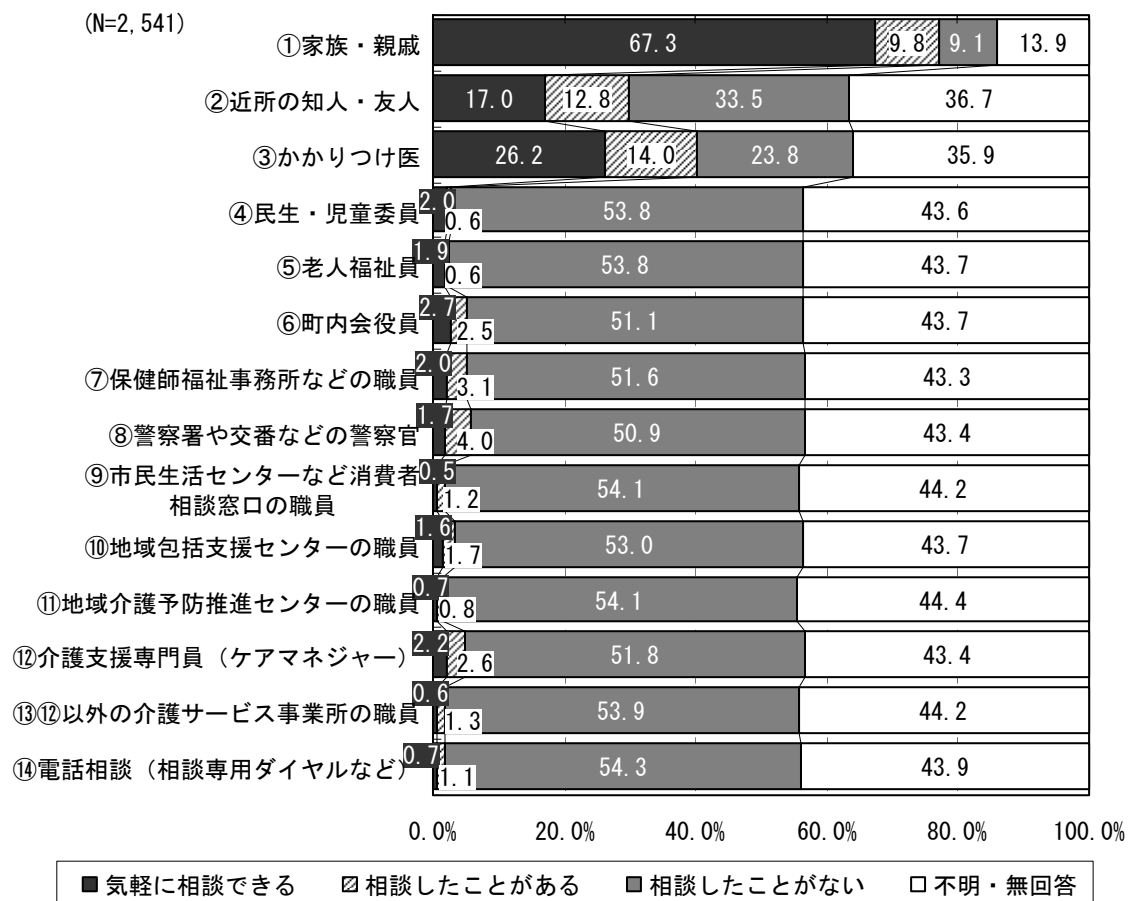
地域包括支援センターを知っていますか。また、相談したことはありますか。(〇は1つ)

地域包括支援センターの認知度では、「知っているが、相談したことはない」が 32.5%と最も高く、次いで「全く知らない」が 31.8%となっています。



問21 あなたに悩みや心配ごとがある場合、相談できる相手はどのような人ですか。(①～⑭のそれぞれについて、1.気軽に相談できる、2.相談したことがある、3.相談したことがない のどれか1つに○)

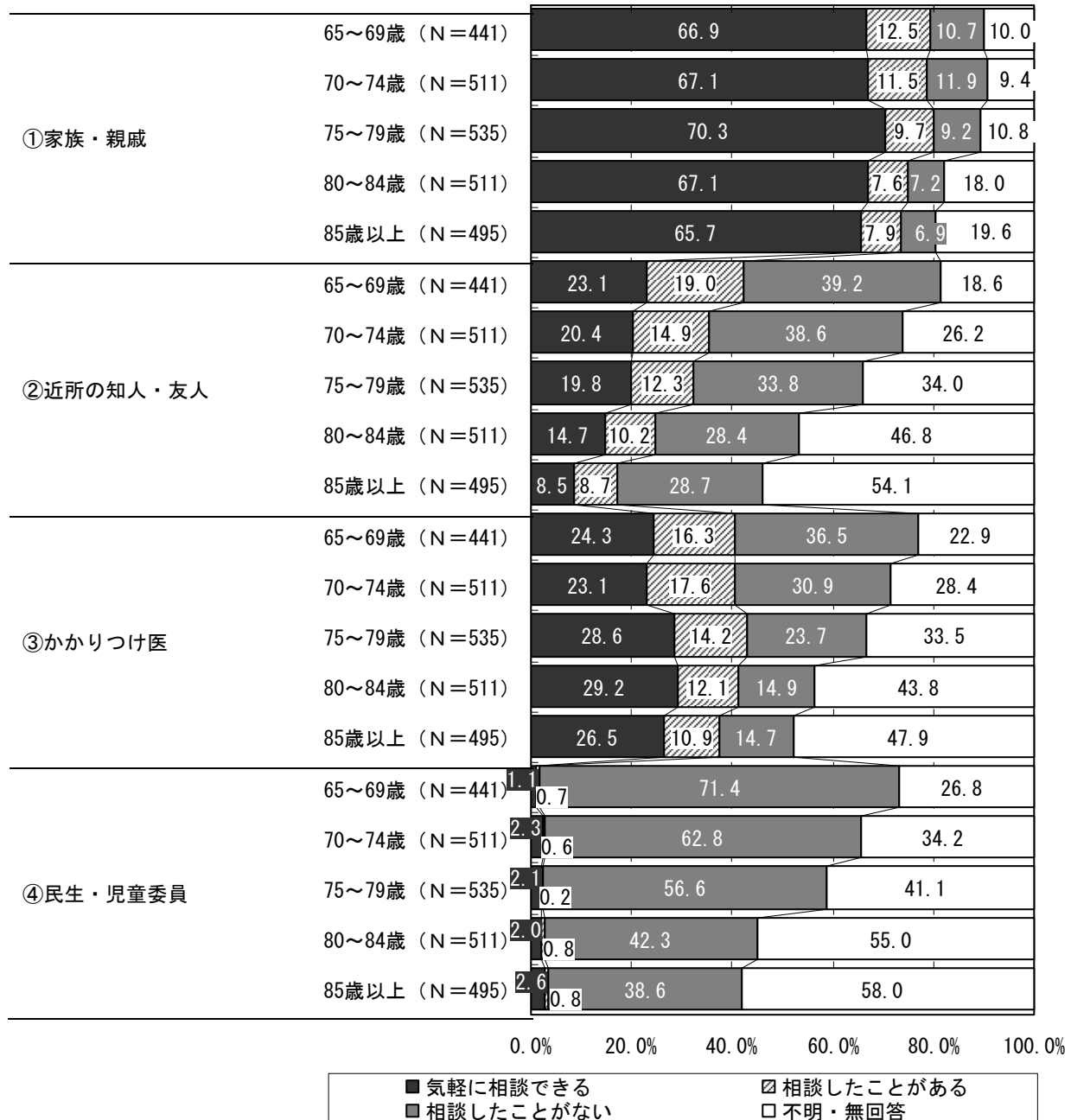
相談相手では、『①家族・親戚』の「気軽に相談できる」が67.3%と最も高く、次いで『③かかりつけ医』の「気軽に相談できる」が26.2%となっています。

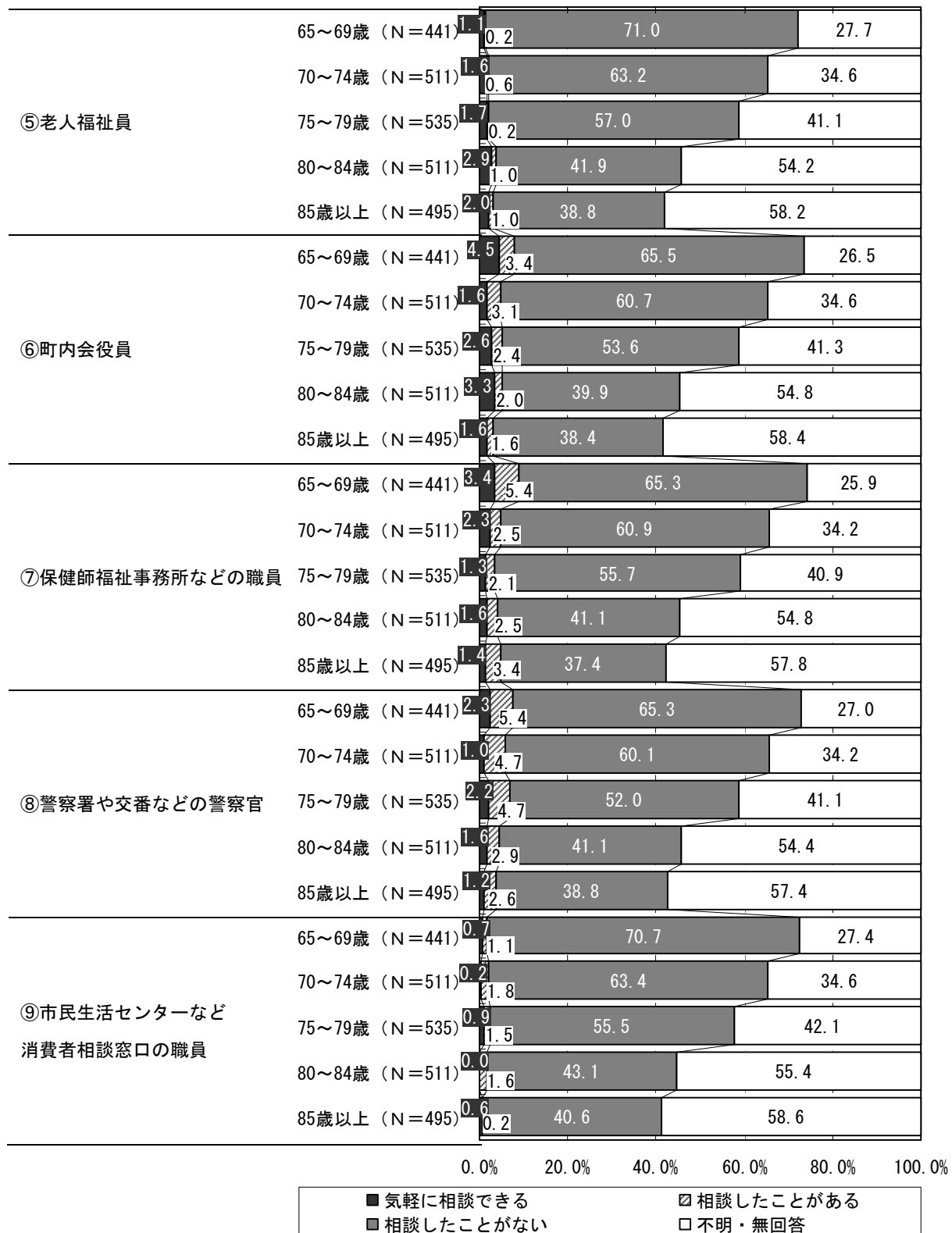


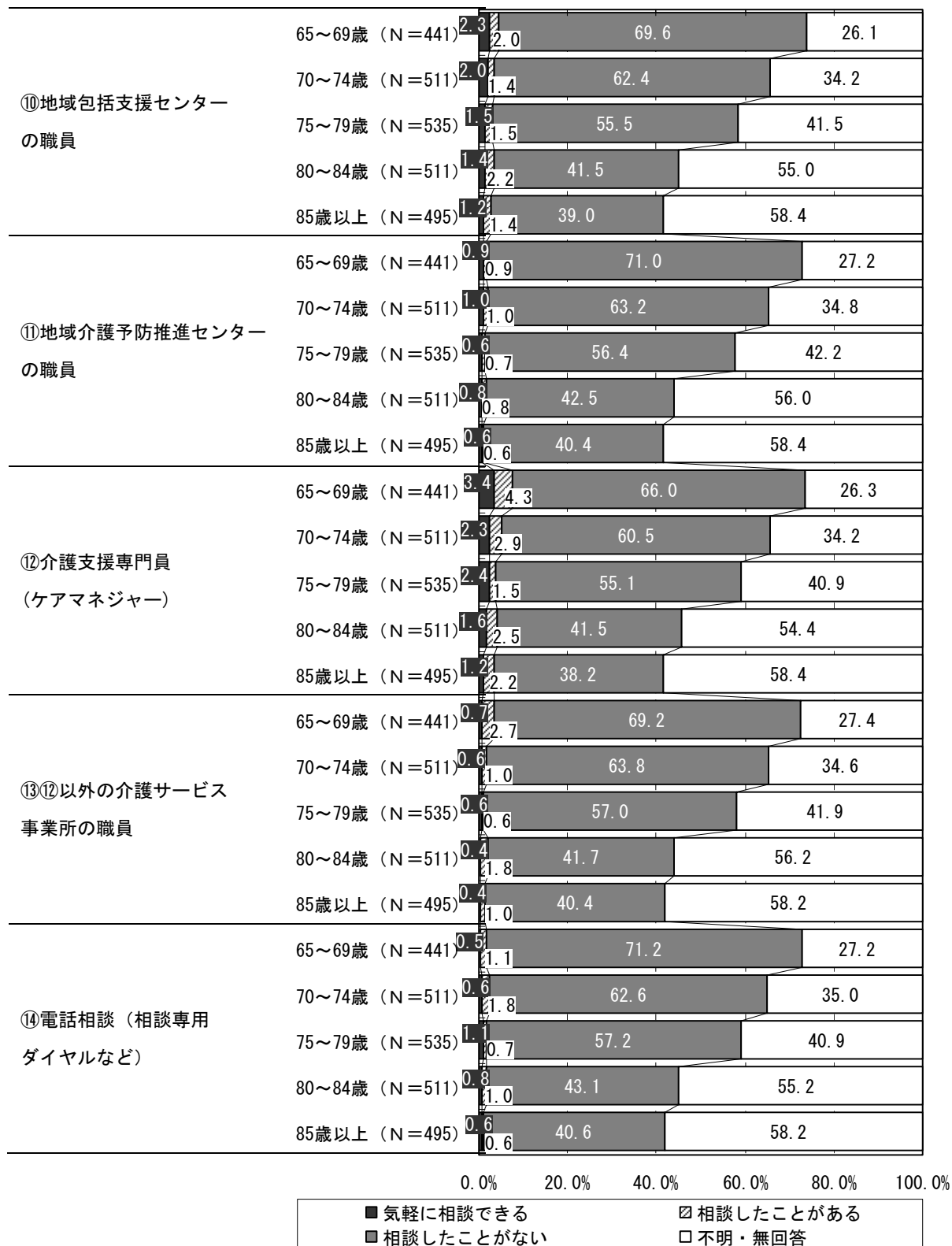
【クロス集計結果】

年齢別では、年代が上がるにつれて『②近所の知人・友人』の「気軽に相談できる」の割合が低くなっています。

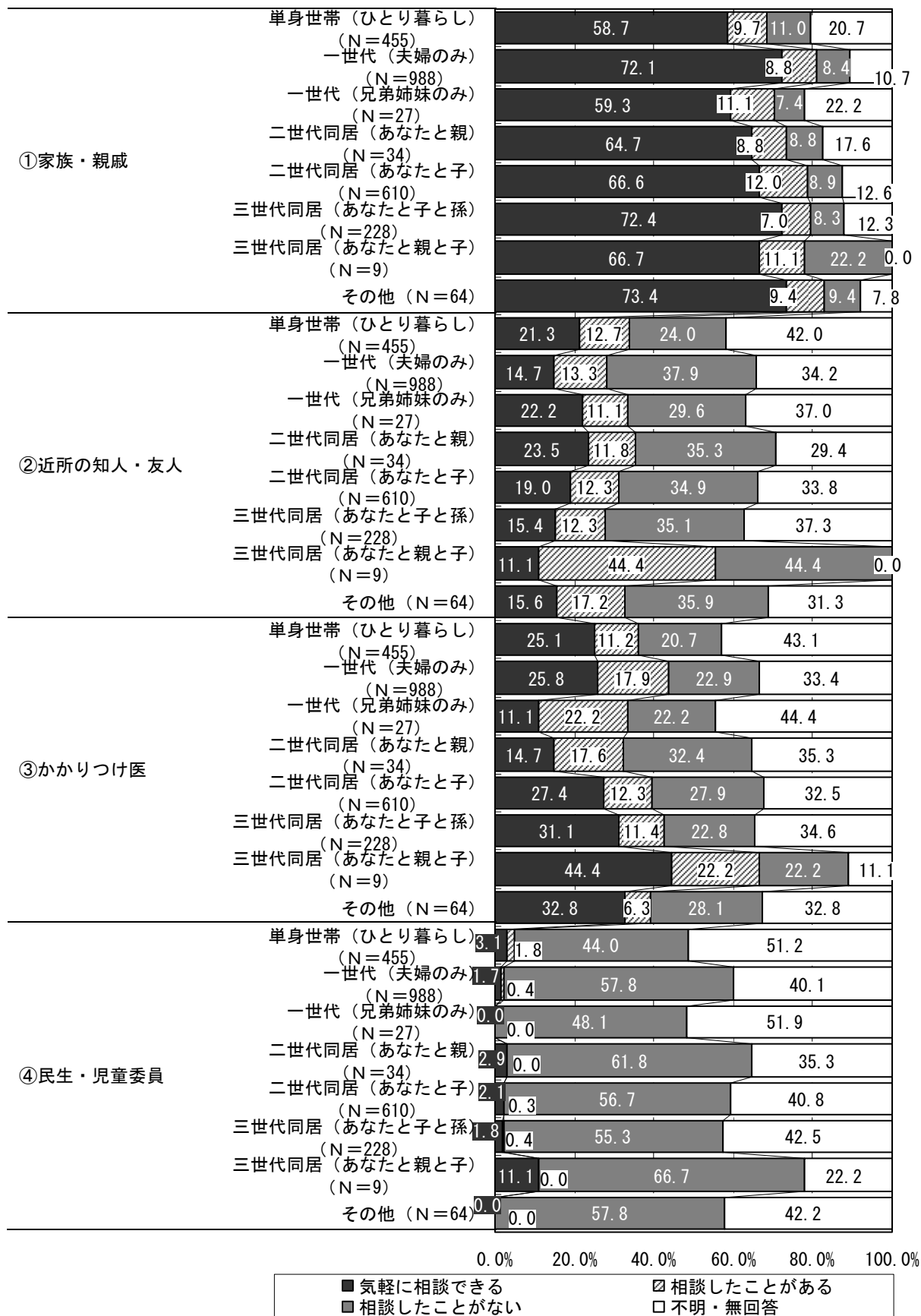
□ 年齢別 問 21×問1

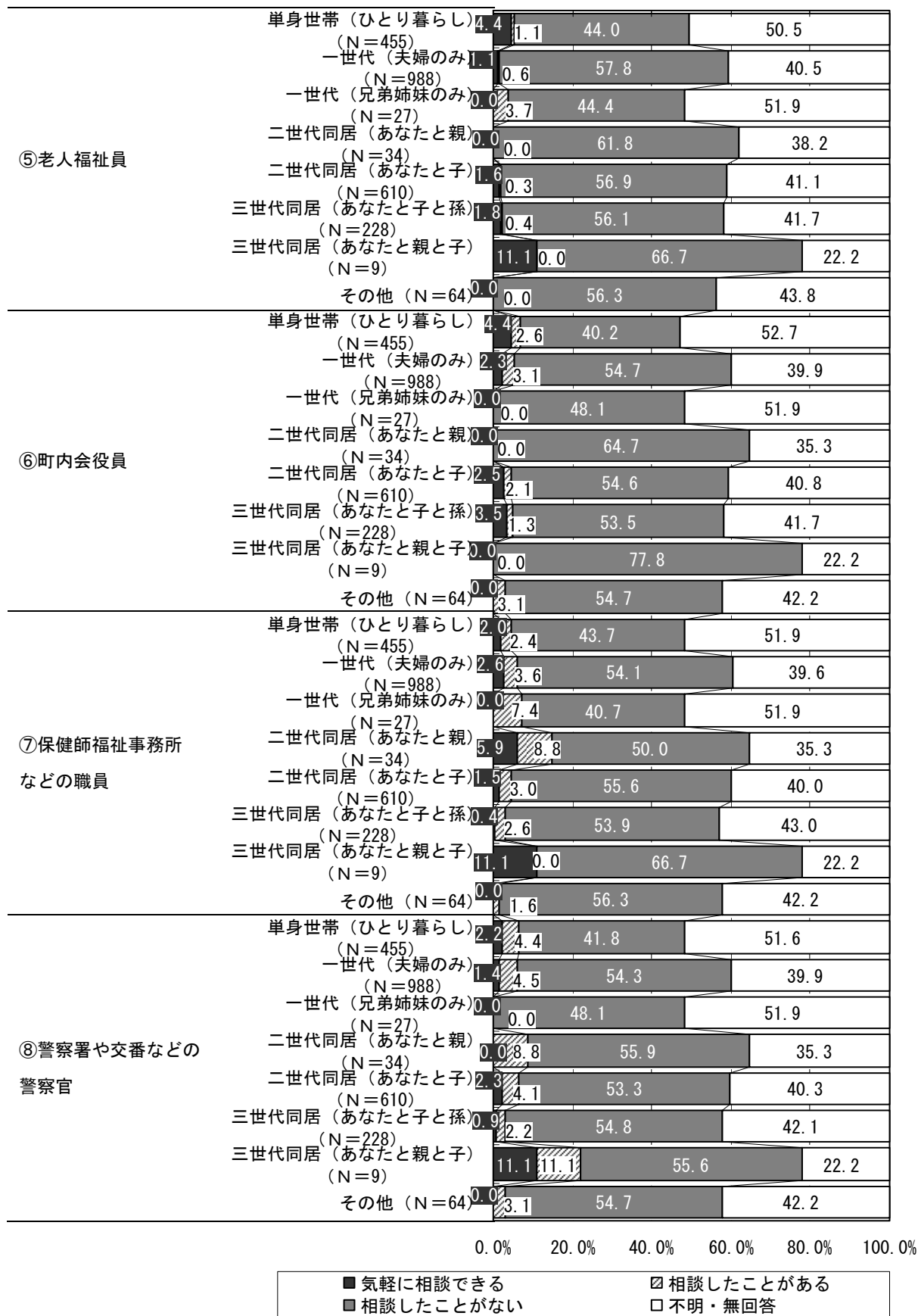


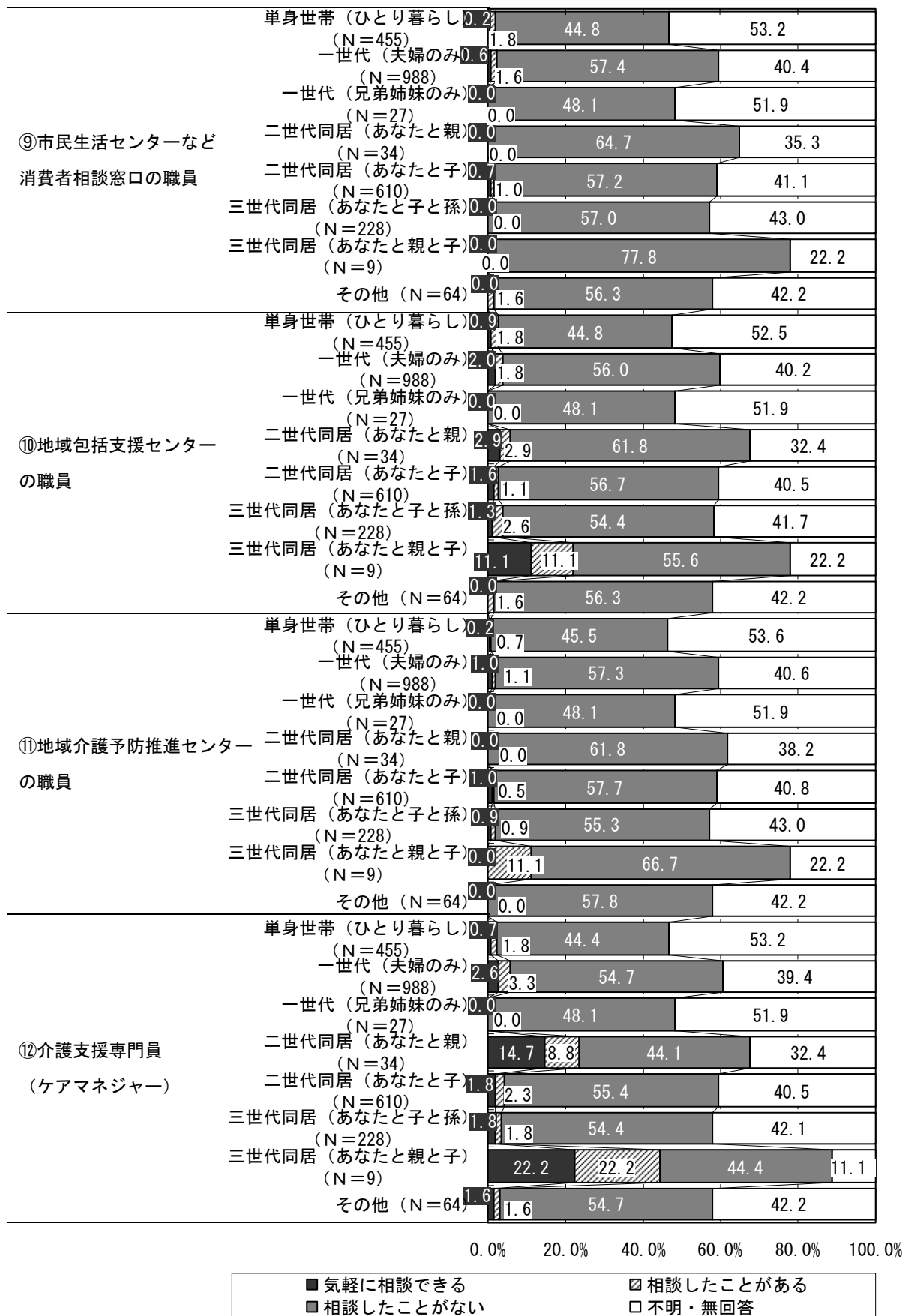


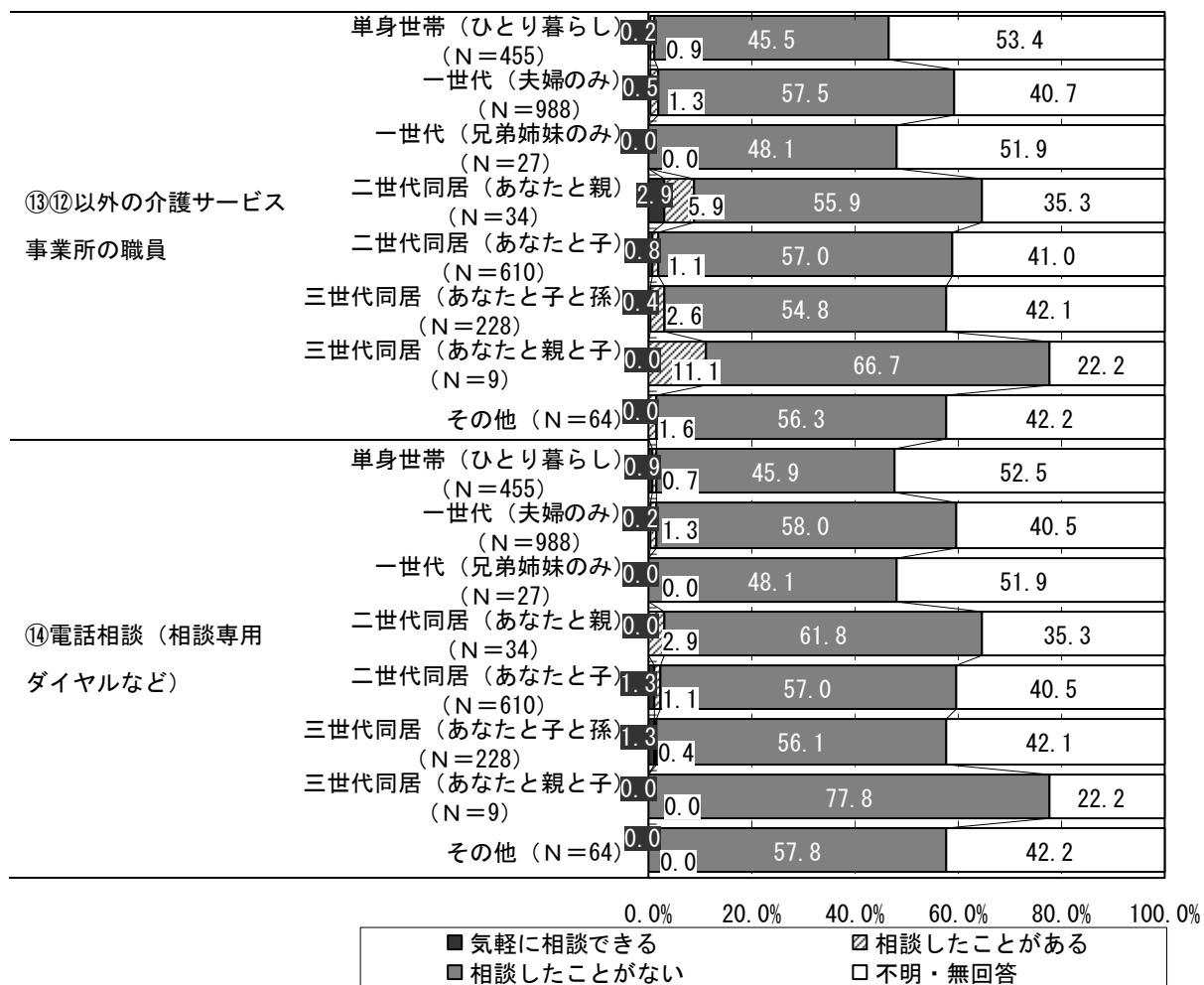


□ 世帯構成別 問 21×問4



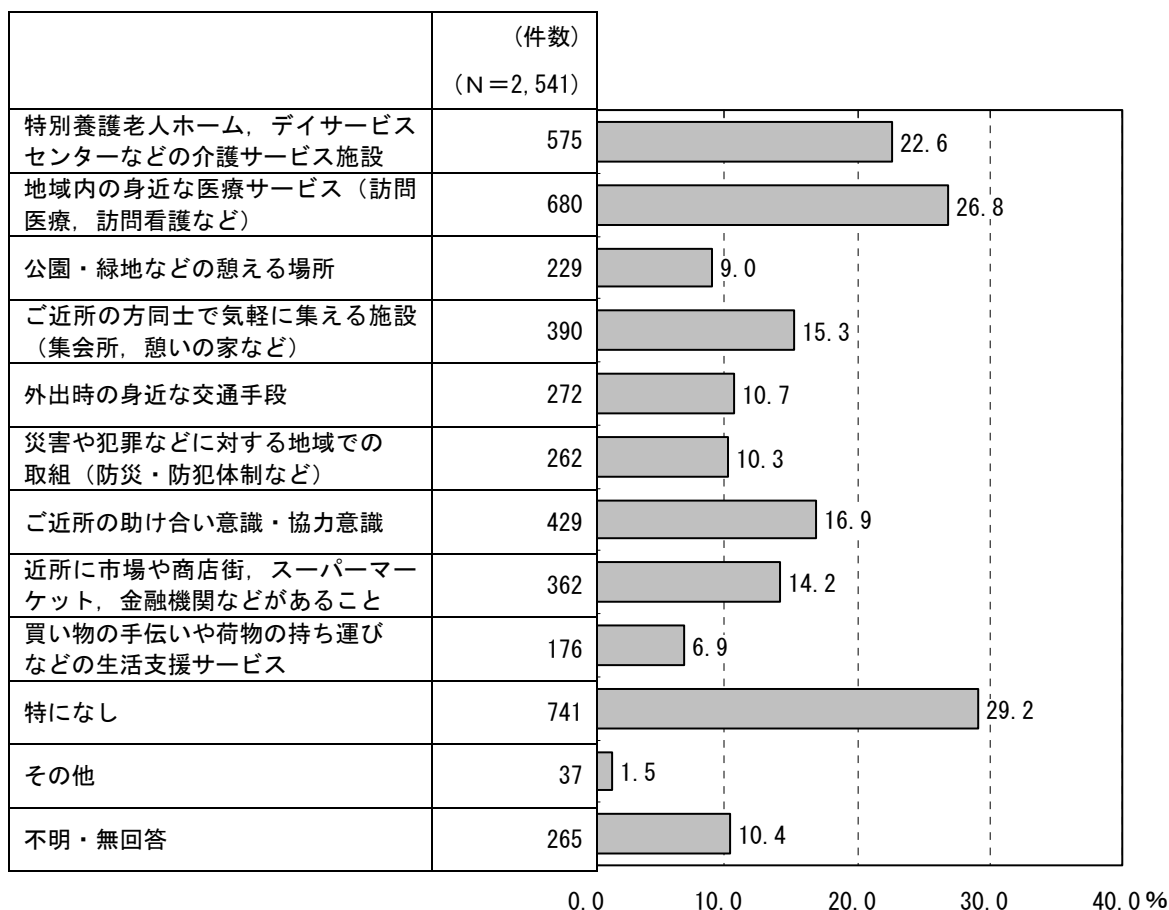






問 22 あなたは、今お住まいの地域(中学校区の範囲程度)で生活していく上で、今後、必要とお感じのことは何ですか。(〇は3つまで)

今後、必要と感ずることでは、「特になし」が 29.2%と最も高く、次いで「地域内の身近な医療サービス（訪問医療、訪問看護など）」が 26.8%となっています。



【クロス集計結果】

年齢別では、75歳未満では「地域内の身近な医療サービス（訪問医療、訪問看護など）」の割合が高くなっています。

□ 年齢別 問22×問1

単位：%

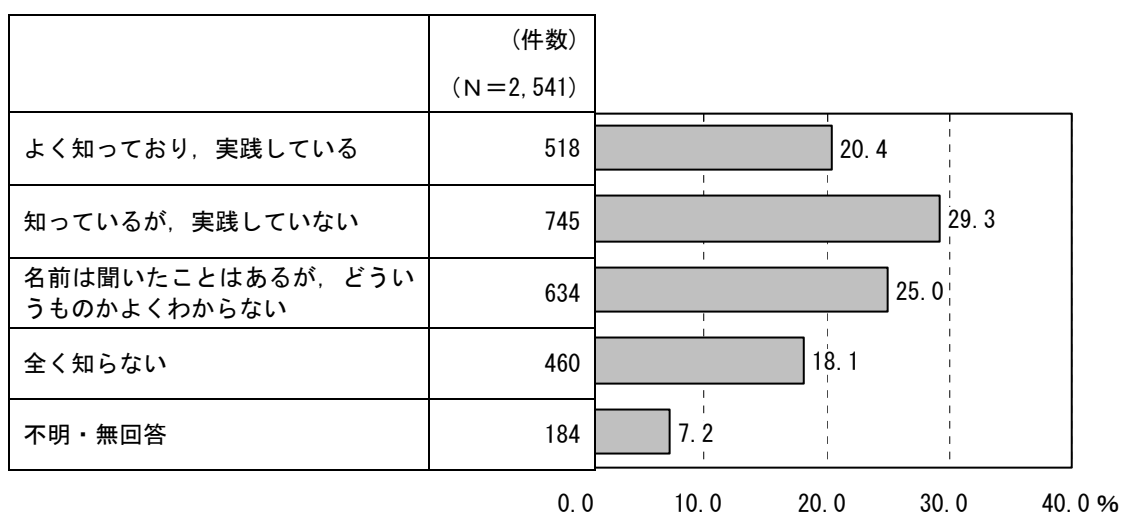
	回答者数(N)	介護サービス施設	地域内の身近な医療サービス	公園・緑地などの憩える場所	ご近所の方向士で気軽に集える施設	外出時の身近な交通手段	災害や犯罪などに対する地域での取組	ご近所の助け合い意識・協力意識	近所にスーパーマーケット、金融機関	買い物の手伝いなどの生活支援サービス	特になし	その他	不明・無回答
65～69歳	N=441	25.4	28.6	11.6	19.7	12.2	10.9	23.8	13.6	6.1	27.9	0.7	5.7
70～74歳	N=511	26.2	32.5	8.4	15.9	11.9	11.7	18.2	14.9	6.5	28.6	0.6	8.4
75～79歳	N=535	22.4	26.9	11.2	18.3	11.0	10.8	19.1	15.5	7.5	27.7	1.5	8.6
80～84歳	N=511	19.0	24.7	7.2	10.2	9.8	10.0	13.9	15.9	7.0	30.3	2.2	14.1
85歳以上	N=495	20.6	23.2	7.1	12.5	9.1	8.5	10.3	11.9	8.1	31.7	1.8	13.7

8 介護予防について

問23 介護予防とは、元気な高齢者になるべく要介護状態にならないように、また、介護が必要な人も、それ以上状態を悪化させないようにする取組のことです。

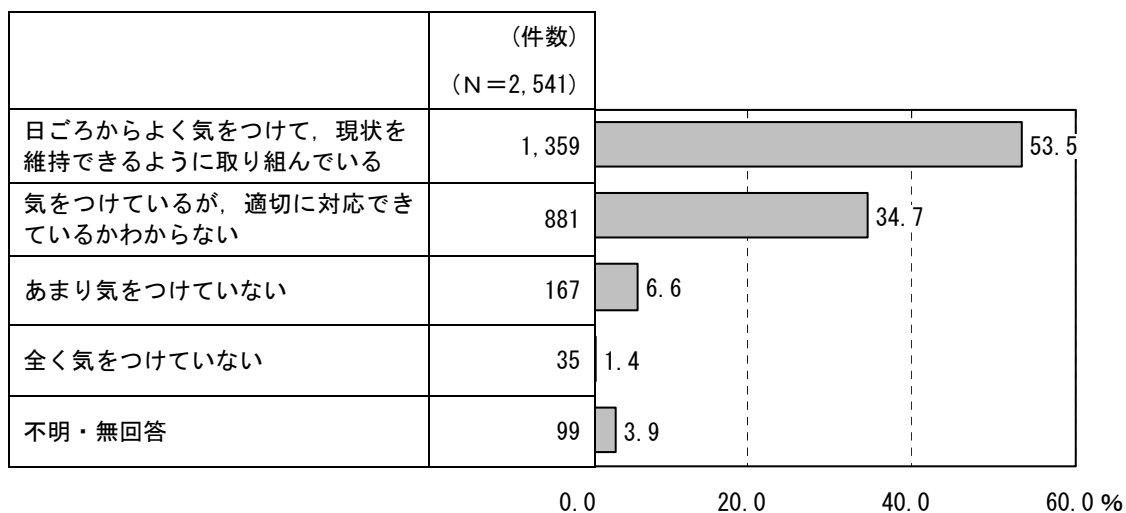
このことについて、あなたをご存知でしたか。また、介護予防を実践していますか。(○は1つ)

介護予防の取組では、「知っているが、実践していない」が29.3%と最も高く、次いで「名前は聞いたことはあるが、どういうものかよくわからない」が25.0%となっています。



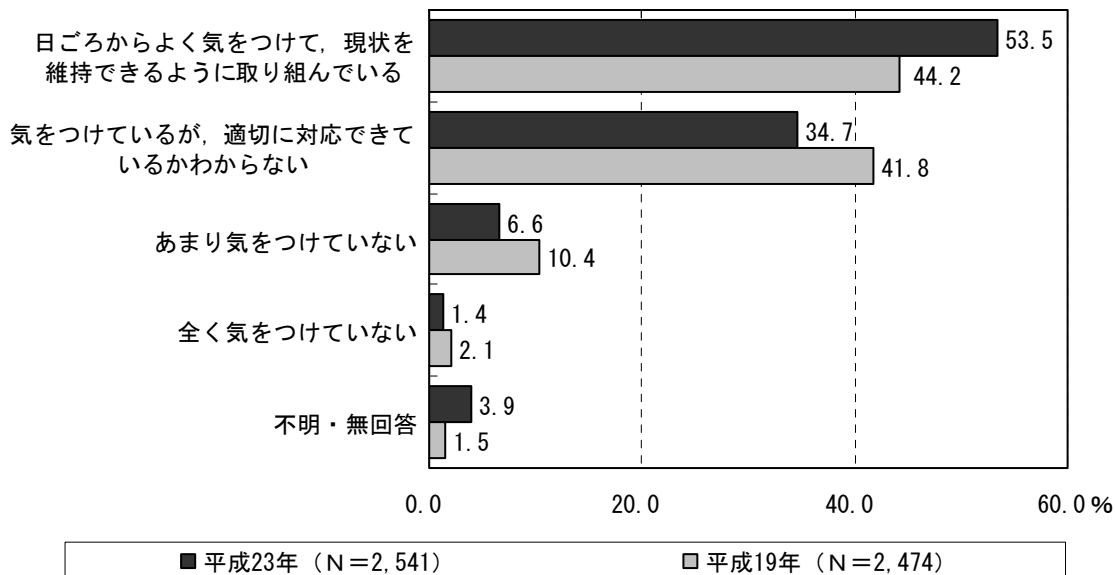
問24 あなたは日ごろ、ご自分の心身の変化(足腰のおとろえ、気力がわかず何もしたくなくなるなど)に気を配り、早めに改善していますか。(○は1つ)

改善状況では、「日ごろからよく気をつけて、現状を維持できるように取り組んでいる」が53.5%と最も高く、次いで「気をつけているが、適切に対応できているかわからない」が34.7%となっています。



【前回調査との比較】

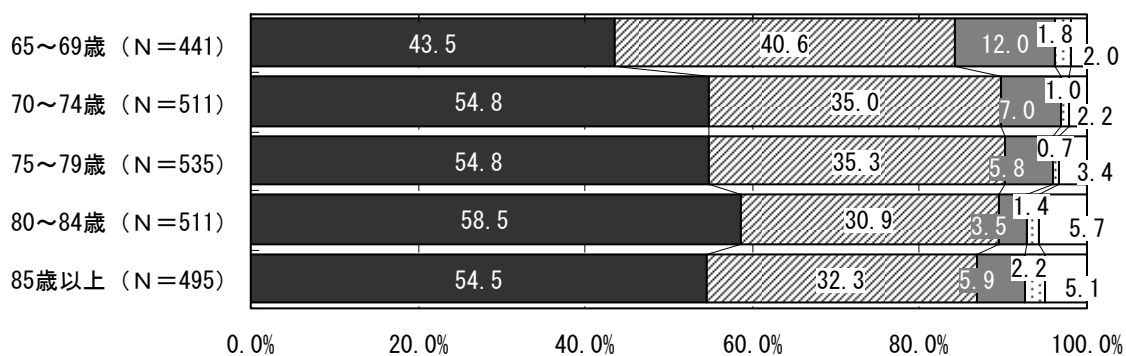
前回調査との比較では、前回より「日ごろからよく気をつけて、現状を維持できるように取り組んでいる」の割合が高くなっています。



【クロス集計結果】

年齢別では、『65～69歳』で「日ごろからよく気をつけて、現状を維持できるように取り組んでいる」が他の年代と比べて最も低い割合となっています。

□ 年齢別 問24×問1

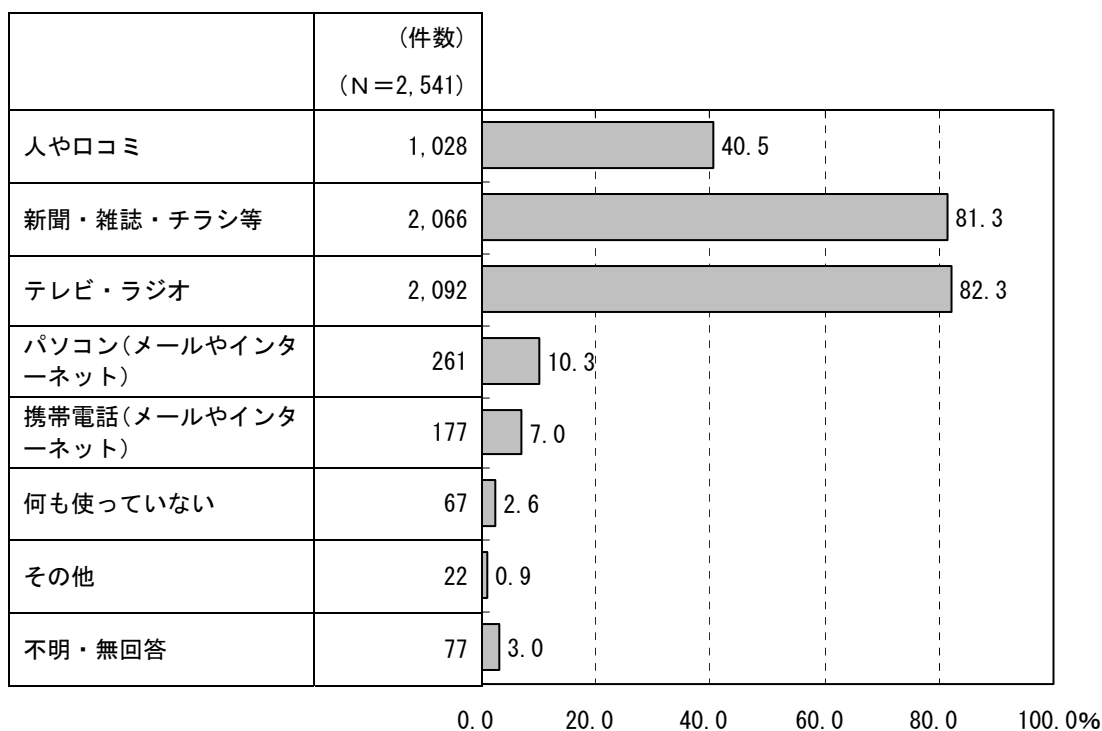


- 日ごろからよく気をつけて、現状を維持できるように取り組んでいる
- ▨ 気をつけているが、適切に対応できているかわからない
- あまり気をつけていない
- 全く気をつけていない
- 不明・無回答

9 情報入手について

問25 あなたは、ふだん生活に必要な情報をどのようなものから得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

情報の入手先では、「テレビ・ラジオ」が 82.3%と最も高く、次いで「新聞・雑誌・チラシ等」が 81.3%となっています。



【クロス集計結果】

年齢別では、年代が上がるにつれて「新聞・雑誌・チラシ等」や「パソコン」「携帯電話」の割合が低くなっています。

□ 年齢別 問25×問1

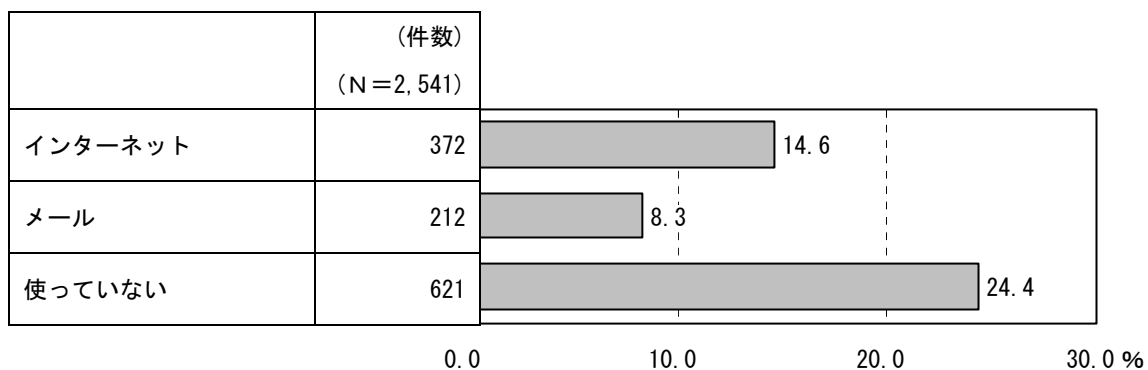
単位：%

	回答者数(N)	人や口コミ	新聞・雑誌・チラシ等	テレビ・ラジオ	パソコン(メールやインターネット)	携帯電話(メールやインターネット)	何も使っていない	その他	不明・無回答
65～69歳	N=441	52.8	84.8	83.4	19.5	11.1	1.6	0.0	1.6
70～74歳	N=511	46.4	83.2	83.2	13.1	7.2	2.2	1.6	1.8
75～79歳	N=535	39.6	82.8	83.2	10.3	7.5	3.0	0.6	2.1
80～84歳	N=511	33.7	81.0	82.6	7.8	6.3	2.3	1.0	5.3
85歳以上	N=495	32.3	76.0	79.4	2.4	3.4	4.0	1.2	3.6

問 25-2 自分が使えるパソコンや携帯電話を持っている方にお聞きします。パソコンや携帯電話はどのように使っていますか。(①, ②のそれぞれについて、あてはまるものすべてに○)

①パソコン

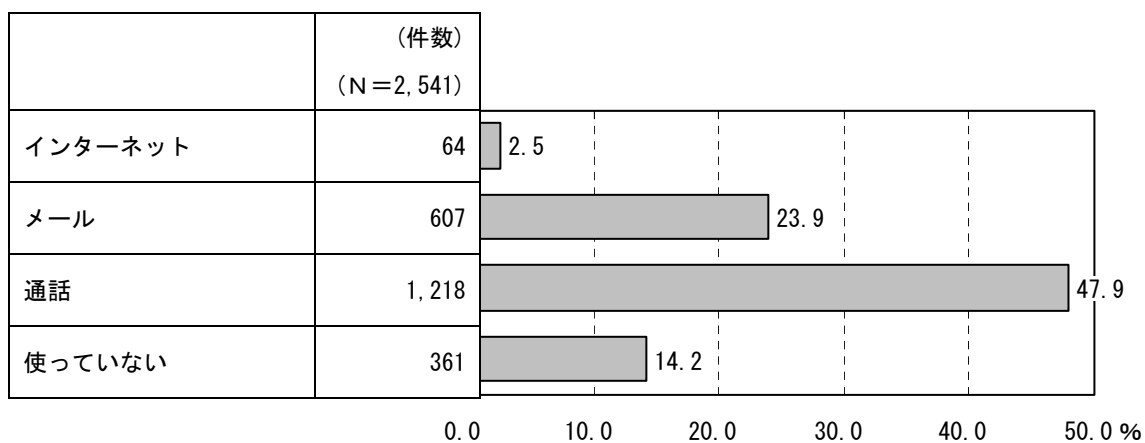
パソコンの利用度では、「使っていない」が24.4%と最も高く、次いで「インターネット」が14.6%となっています。



※不明・無回答があるため、合計数は一致しません

②携帯電話

携帯電話の利用度では、「通話」が47.9%と最も高く、次いで、「メール」が23.9%となっています。

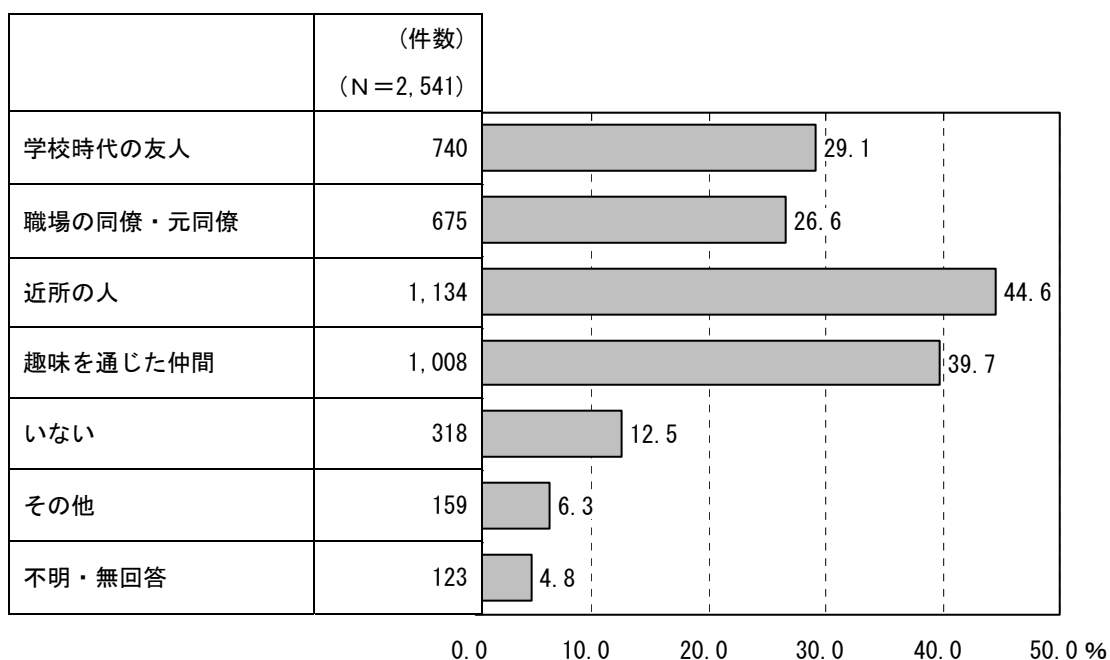


※不明・無回答があるため、合計数は一致しません

10 友人関係・社会参加活動・生きがい活動について

問26 あなたが、ふだん親しくしている友人・仲間はどうな方ですか。(あてはまるものすべてに○)

親しくしている友人・仲間では、「近所の人」が44.6%と最も高く、次いで「趣味を通じた仲間」が39.7%となっています。



【前回調査との比較】(平成17年調査は参考)

前回調査との比較では、「いない」をのぞく全ての項目の割合が、前回より低くなっています。

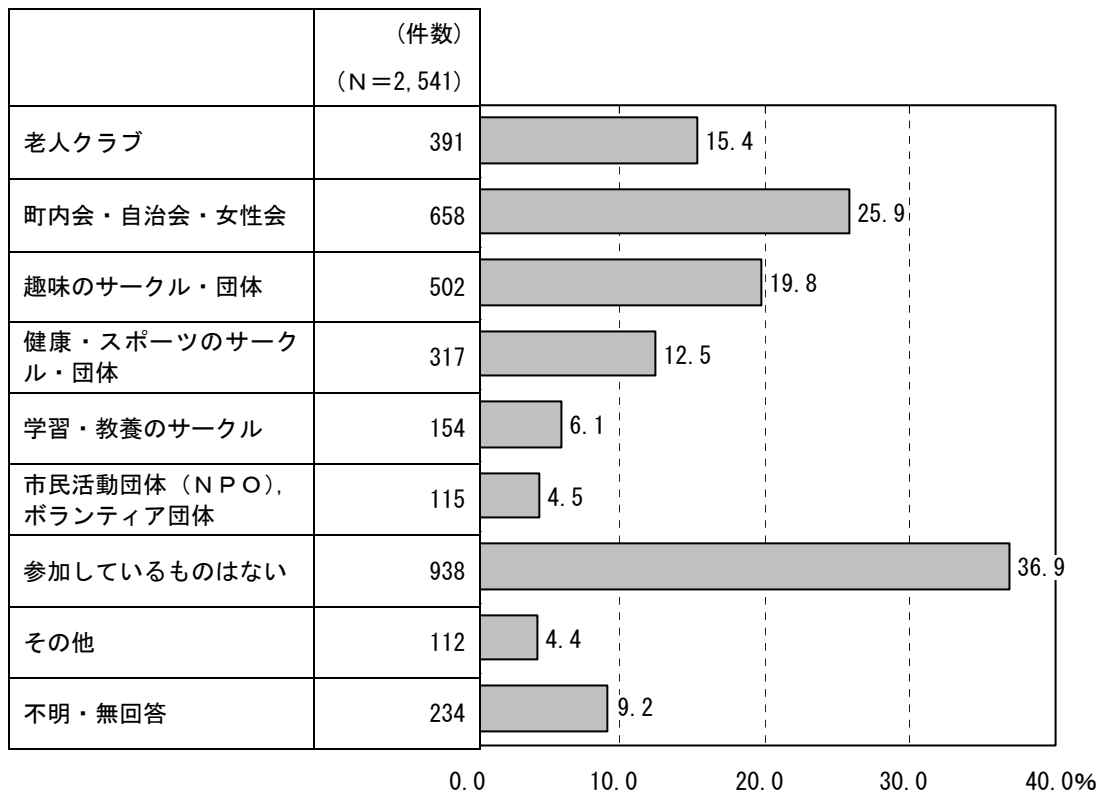
単位: %

	回答者数(N)	学校時代の友人	職場の同僚・元同僚	近所の人	趣味を通じた仲間	その他	不明・無回答
平成17年調査	N=3,068	36.2	35.8	53.1	44.4	8.9	1.6

※調査対象及び選択肢等が異なるため、比較時には注意

問27 あなたは、現在参加している団体や組織はありますか。(あてはまるものすべてに○)

団体や組織の参加状況では、「参加しているものはない」が36.9%と最も高く、次いで「町内会・自治会・女性会」が25.9%となっています。



【前回調査との比較】(平成17年調査は参考)

前回調査との比較では、平成19年調査より「参加しているものはない(平成19年調査では「特になし」)」の割合が高くなっています。平成17年調査とは「町内会・自治会・女性会」の割合が低くなっています。

単位: %

	回答者数(N)	旅行	趣味や娯楽のサークル活動	健康づくりやスポーツ活動	学習や教養などを身につける活動	地域の団体や行事への参加	社会奉仕活動	若い世代との交流	その他	特になし	不明・無回答
平成19年調査	N=2,474	34.8	31.2	21.1	14.7	12.8	10.0	7.6	7.6	25.8	3.4

	回答者数(N)	老人クラブ	町内会・自治会・女性会	趣味のサークル・団体	健康・スポーツのサークル・団体	学習・教養のサークル	市民活動団体(NPO), ボランティア団体	その他	不明・無回答
平成17年調査	N=3,633	11.6	31.5	18.6	10.9	5.2	4.3	7.8	39.8

※調査対象及び選択肢等が異なるため、比較時には注意

【クロス集計結果】

年齢別では、『80～84歳』で「参加しているものはない」の割合が低くなっています。

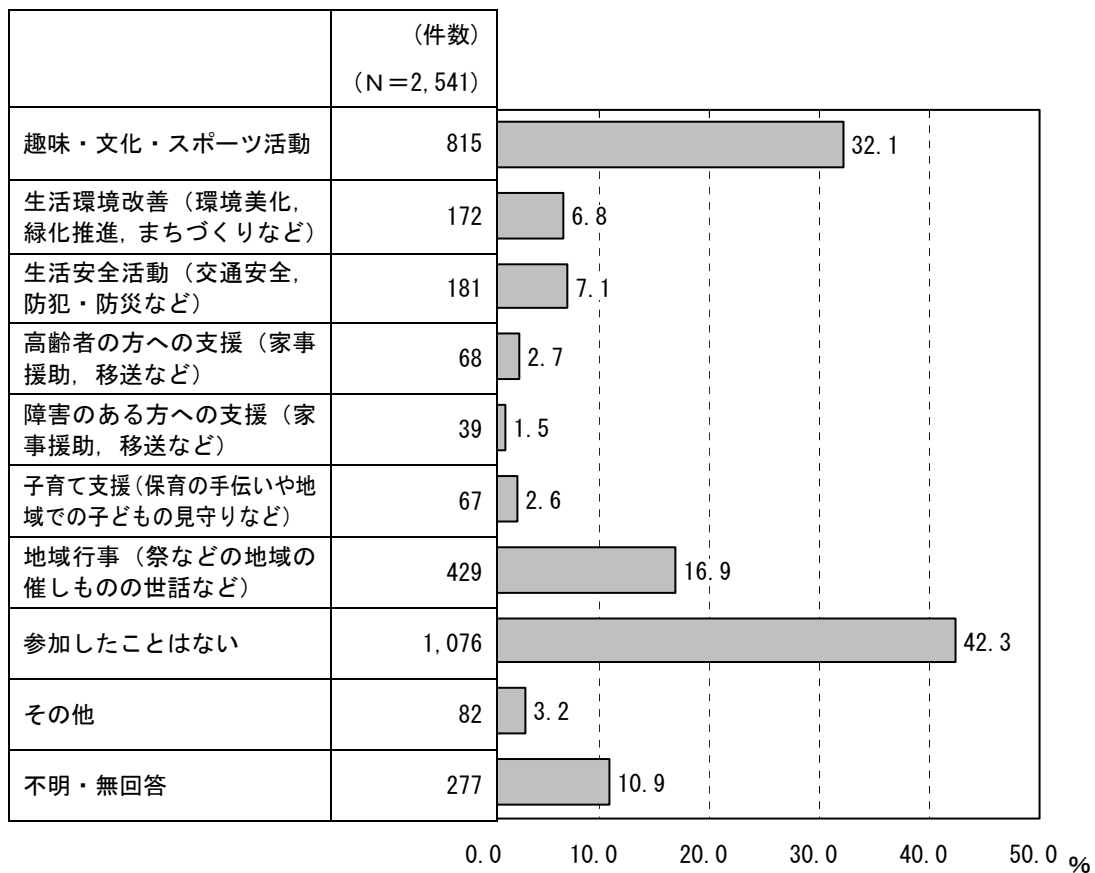
□ 年齢別 問27×問1

単位：%

	回答者数(N)	老人クラブ	町内会・自治会・女性会	趣味のサークル・団体	健康・スポーツのサークル・団体	学習・教養のサークル	市民活動団体(NPO), ボランティア団体	参加しているものはない	その他	不明・無回答
65～69歳	N=441	4.8	29.7	20.0	14.7	5.4	6.1	41.3	3.6	5.7
70～74歳	N=511	10.0	26.4	19.2	16.2	6.1	4.1	37.8	4.7	8.4
75～79歳	N=535	15.1	27.5	23.0	13.6	5.6	5.6	35.1	4.3	8.4
80～84歳	N=511	22.7	26.6	21.1	11.4	7.4	4.3	29.9	5.3	12.3
85歳以上	N=495	22.8	19.8	15.8	6.5	5.9	2.6	41.6	4.4	9.9

問28-1 あなたは、この1年間に、個人又は友人、あるいはグループで自主的に行われている次のような活動に参加したことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

下記の活動の参加状況では、「参加したことはない」が42.3%と最も高く、次いで「趣味・文化・スポーツ活動」が32.1%となっています。



【クロス集計結果】

年齢別では、年代が上がるにつれて「地域行事」の割合が低くなっています。また、『85歳以上』で「参加したことはない」の割合が約5割と最も高くなっています。

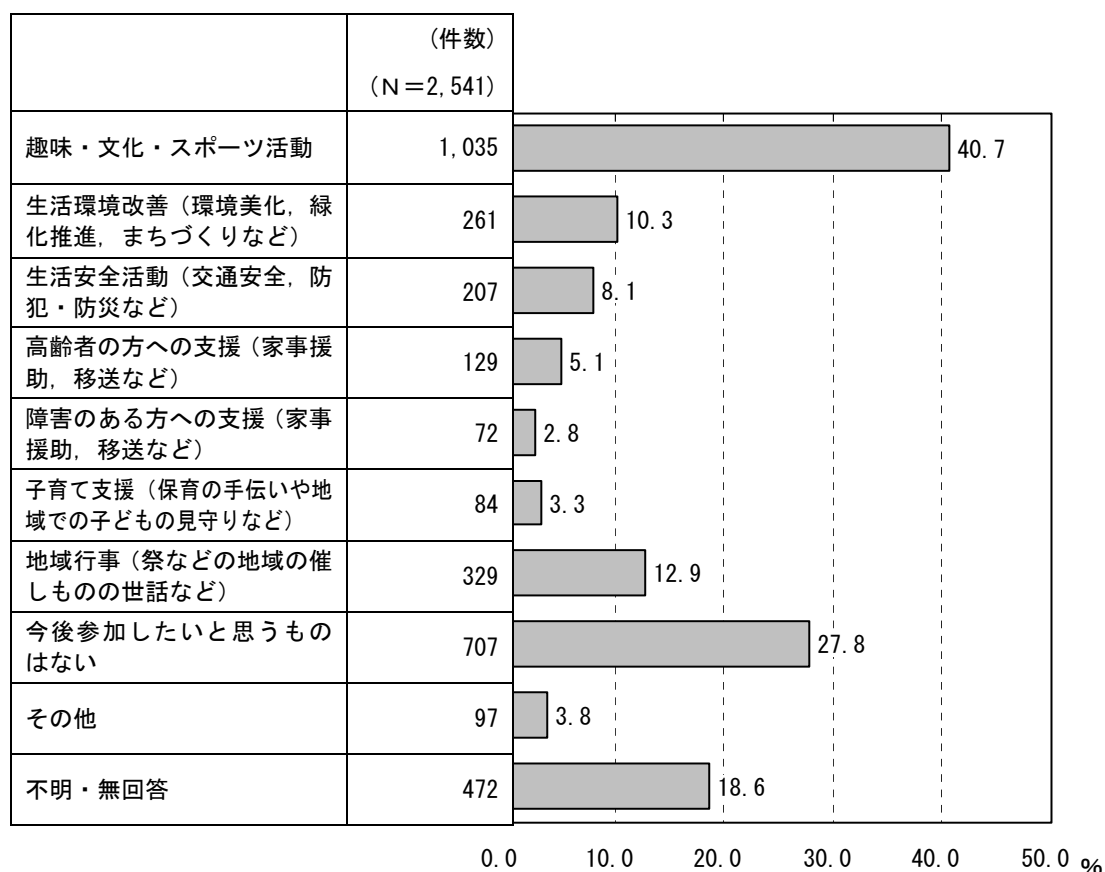
□ 年齢別 問 28-1×問1

単位：%

	回答者数(N)	趣味・文化・スポーツ活動	生活環境改善	生活安全活動	高齢者の方への支援	障害のある方への支援	子育て支援	地域行事	参加したことはない	その他	不明・無回答
65～69歳	N=441	33.6	9.8	10.9	5.2	2.5	4.5	25.2	43.1	2.5	5.4
70～74歳	N=511	31.5	6.7	8.2	3.5	1.6	3.9	22.3	40.3	2.2	9.2
75～79歳	N=535	36.4	7.1	7.7	1.7	0.9	2.6	16.6	40.4	2.4	8.8
80～84歳	N=511	33.7	6.5	5.7	2.3	1.6	1.6	14.7	38.9	4.9	13.5
85歳以上	N=495	25.7	4.4	2.8	1.0	1.4	0.8	7.3	50.5	4.2	15.4

問 28-2 あなたは、個人又は友人、あるいはグループで自主的に行われている次のような活動に、今後参加したいと思うものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

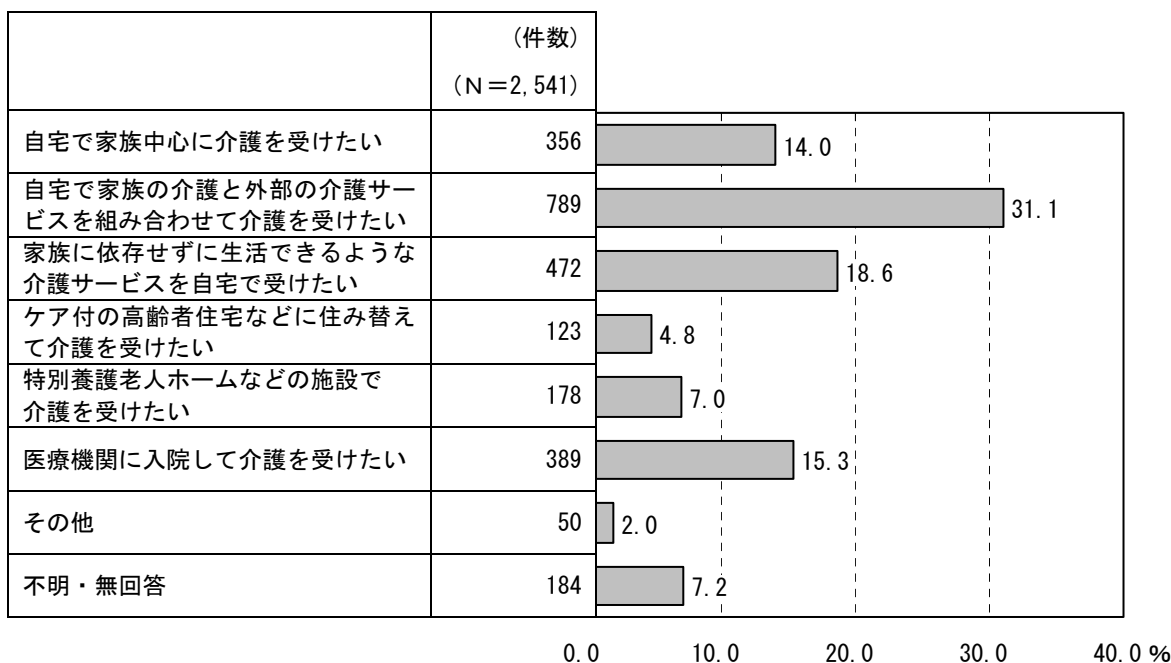
今後の参加希望では、「趣味・文化・スポーツ活動」が 40.7%と最も高く、次いで「今後参加したいと思うものはない」が 27.8%となっています。



11 介護が必要な場合への支援について

問29 もし、あなた自身に介護が必要になった場合、あなたはどのような介護を希望しますか。(〇は1つ)

今後の介護に対する希望では、「自宅で家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい」が31.1%と最も高く、次いで「家族に依存せずに生活できるような介護サービスを自宅で受けたい」が18.6%となっています。

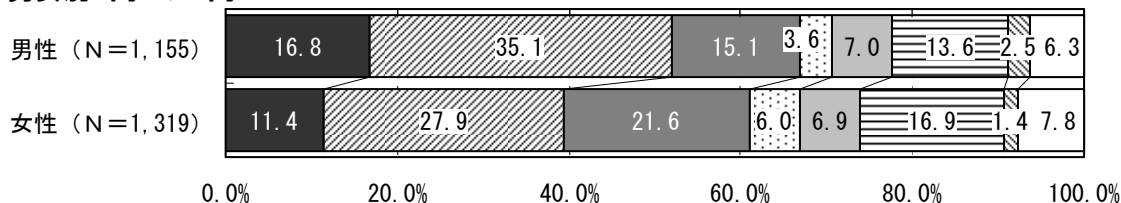


【クロス集計結果】

男女別では、『男性』で「自宅で家族中心に介護を受けたい」と「自宅で家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい」の割合が『女性』と比べて高くなっています。

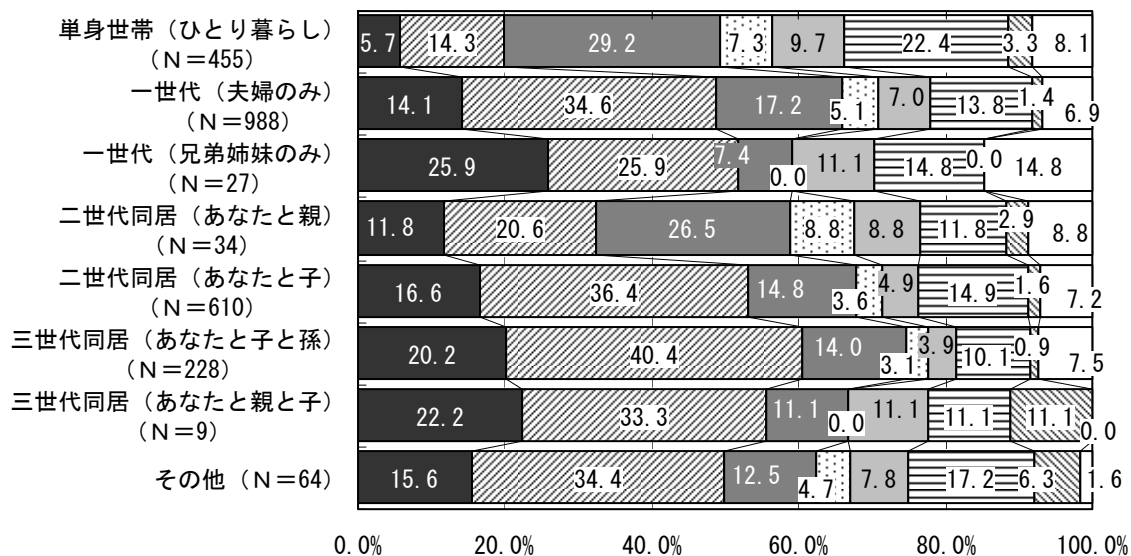
世帯構成別では、『単身世帯（ひとり暮らし）』と『二世帯同居（あなたと親）』で「家族に依存せずに生活できるような介護サービスを自宅で受けたい」の割合が高く、その他の世帯では、「自宅で家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい」の割合が高くなっています。

□ 男女別 問29×問2



- 自宅で家族中心に介護を受けたい
- ▨ 自宅で家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい
- 家族に依存せずに生活できるような介護サービスを自宅で受けたい
- ケア付の高齢者住宅などに住み替えて介護を受けたい
- ▨ 特別養護老人ホームなどの施設で介護を受けたい
- ▨ 医療機関に入院して介護を受けたい
- ▨ その他
- 不明・無回答

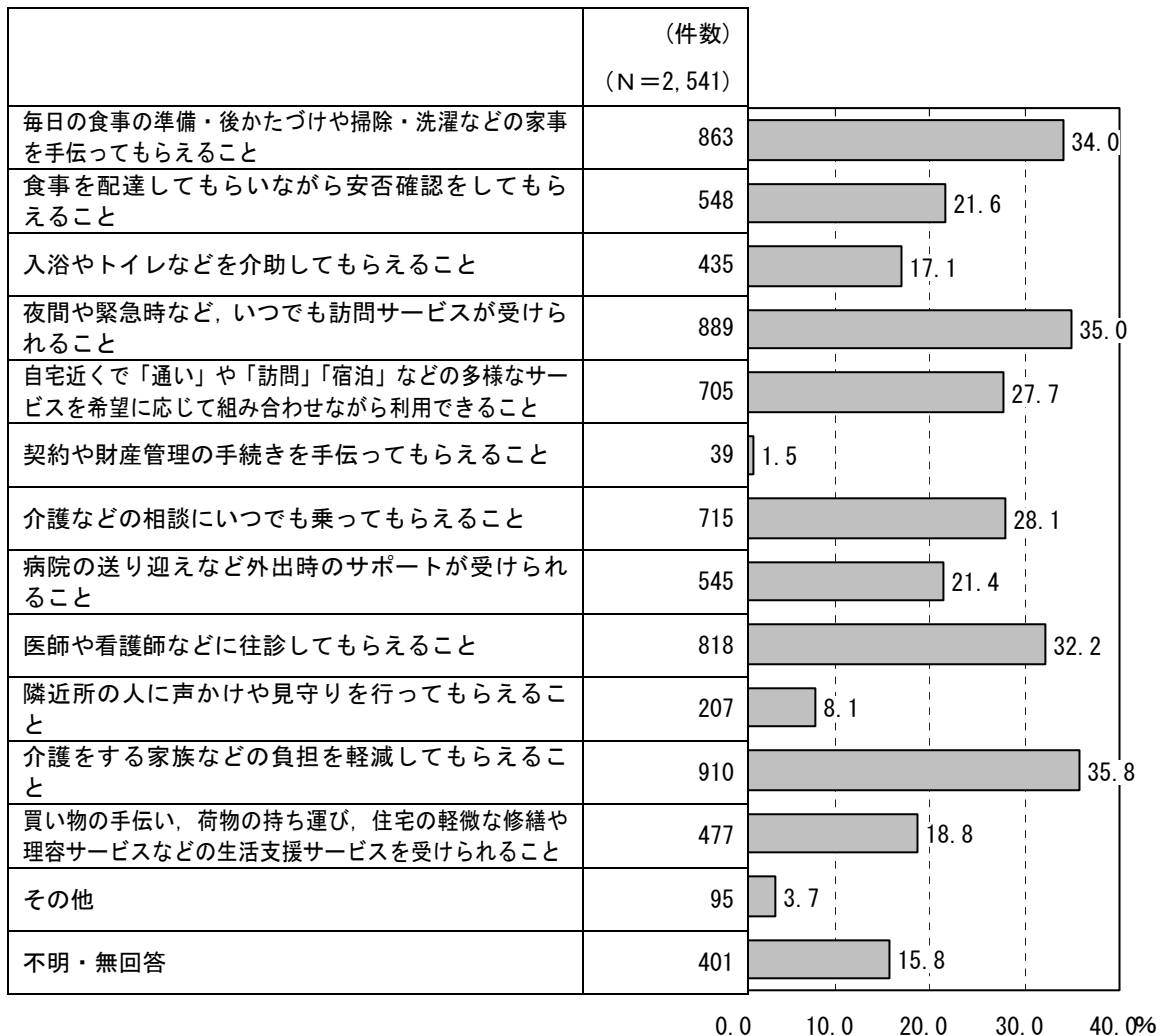
□ 世帯構成別 問 29×問4



- 自宅で家族中心に介護を受けたい
- ▣ 自宅で家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい
- 家族に依存せずに生活できるような介護サービスを自宅で受けたい
- ケア付の高齢者住宅などに住み替えて介護を受けたい
- 特別養護老人ホームなどの施設で介護を受けたい
- 医療機関に入院して介護を受けたい
- ▣ その他
- 不明・無回答

問30 自宅での生活を続けるには、どのような支援を充実すべきだと思いますか。(〇は5つまで)

充実すべき支援内容では、「介護をする家族などの負担を軽減してもらえること」が35.8%と最も高く、次いで「夜間や緊急時など、いつでも訪問サービスが受けられること」が35.0%となっています。



【クロス集計結果】

世帯構成別では、『単身世帯（ひとり暮らし）』と『一世代（夫婦のみ）』で「夜間や緊急時など、いつでも訪問できるサービスが受けられること」の割合が高くなっています。

□ 世帯構成別 問 30×問4

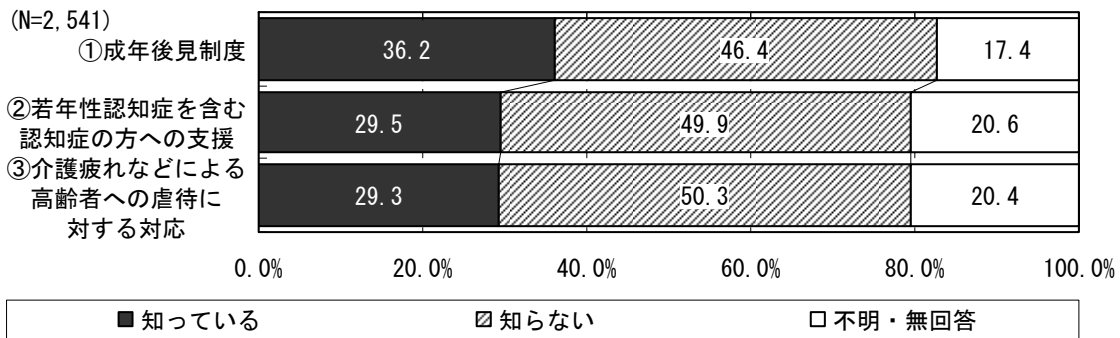
単位：%

	回答者数(N)	毎日の食事の準備・後かたづけや掃除・洗濯などの家事を手伝ってもらえること	食事を配達してもらいながら安否確認をしてもらえること	入浴やトイレなどを介助してもらえること	夜間や緊急時など、いつでも訪問サービスが受けられること	自宅近くで多様なサービスを希望に応じて組み合わせて利用できること	契約や財産管理の手続きを手伝ってもらえること	介護などの相談にいつでも乗ってもらえること
単身世帯（ひとり暮らし）	N=455	28.8	24.8	11.4	35.4	23.7	1.8	25.5
一世代（夫婦のみ）	N=988	39.4	25.9	18.1	40.3	30.2	1.5	29.3
一世代（兄弟姉妹のみ）	N=27	37.0	22.2	22.2	25.9	22.2	0.0	18.5
二世帯同居（あなたと親）	N=34	32.4	17.6	23.5	26.5	29.4	5.9	32.4
二世帯同居（あなたと子）	N=610	32.1	16.1	17.7	31.3	28.2	1.0	29.7
三世帯同居（あなたと子と孫）	N=228	28.1	11.8	18.9	25.4	27.2	1.8	23.2
三世帯同居（あなたと親と子）	N=9	22.2	44.4	55.6	44.4	33.3	11.1	44.4
その他	N=64	35.9	29.7	23.4	35.9	26.6	3.1	34.4

	回答者数(N)	病院の送り迎えなど外出時のサポートが受けられること	医師や看護師などに往診してもらえること	隣近所の人に声かけや見守りを行ってもらえること	介護をする家族などの負担を軽減してもらえること	生活支援サービスを受けられること	その他	不明・無回答
単身世帯（ひとり暮らし）	N=455	18.2	28.8	14.5	19.1	25.3	3.3	18.7
一世代（夫婦のみ）	N=988	21.8	33.2	7.0	37.1	20.6	3.9	13.1
一世代（兄弟姉妹のみ）	N=27	25.9	29.6	11.1	25.9	18.5	0.0	25.9
二世帯同居（あなたと親）	N=34	26.5	35.3	20.6	23.5	11.8	2.9	14.7
二世帯同居（あなたと子）	N=610	21.6	31.6	6.4	44.4	14.8	3.9	16.4
三世帯同居（あなたと子と孫）	N=228	26.3	39.9	7.0	44.3	11.4	1.8	18.4
三世帯同居（あなたと親と子）	N=9	22.2	55.6	0.0	77.8	33.3	0.0	0.0
その他	N=64	15.6	25.0	3.1	40.6	14.1	4.7	9.4

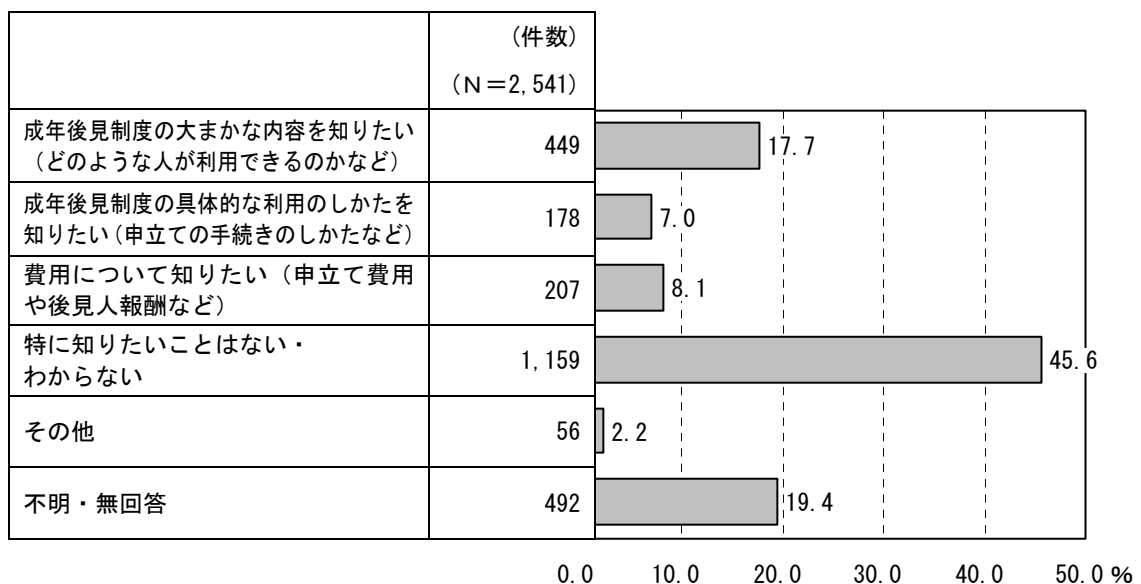
問31 あなたは、次のようなことについて知っていますか。(①～③のそれぞれについて 1.知っている, 2.知らない のどちらかに○)

施策に対する認知度では、『①成年後見制度』の「知っている」が36.2%、『②若年性認知症を含む認知症の方への支援』の「知っている」が29.5%、『③介護疲れなどによる高齢者への虐待に対する対応』の「知っている」が29.3%となっています。



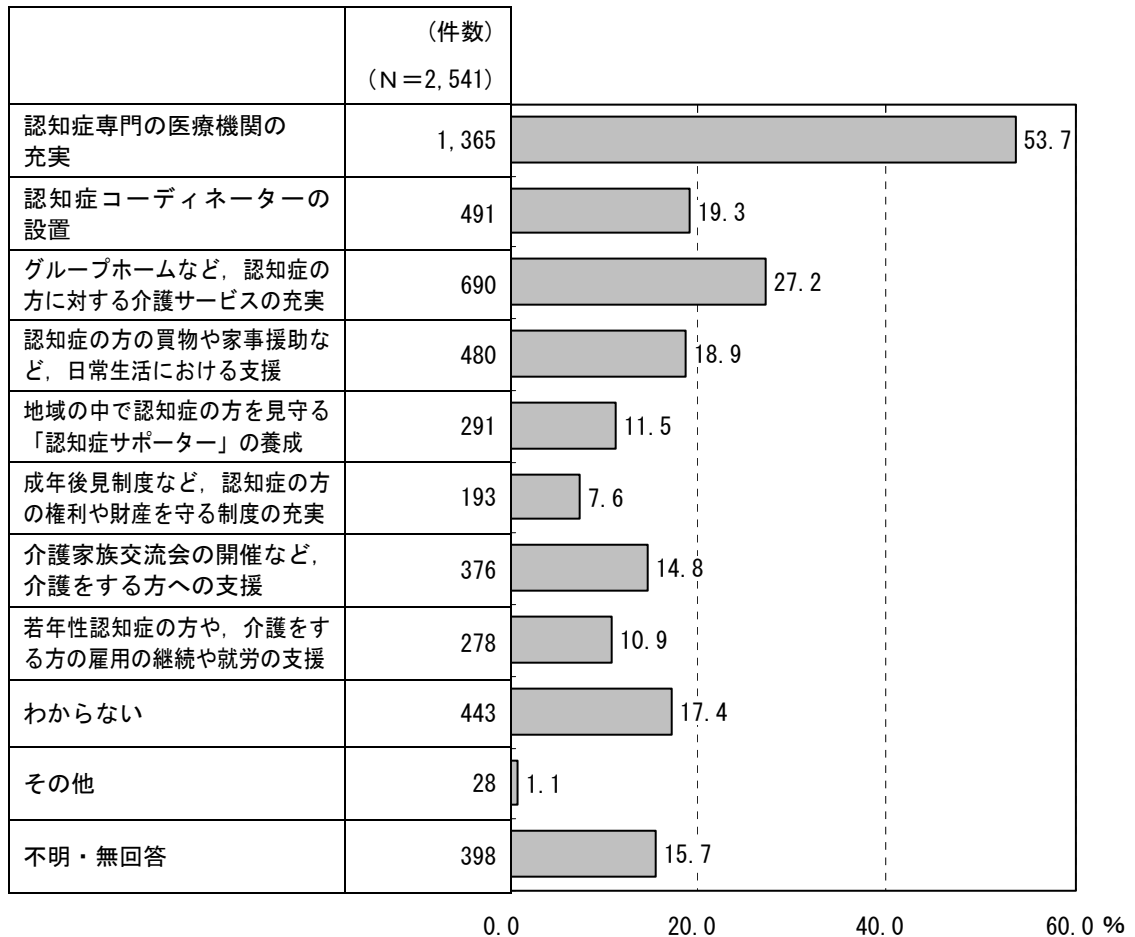
問32 あなたは、成年後見制度について知りたいことが何かありますか。(○は1つ)

成年後見制度について知りたいことでは、「特に知りたいことはない・わからない」が45.6%と最も高く、次いで「成年後見制度の大まかな内容を知りたい(どのような人が利用できるのかなど)」が17.7%となっています。



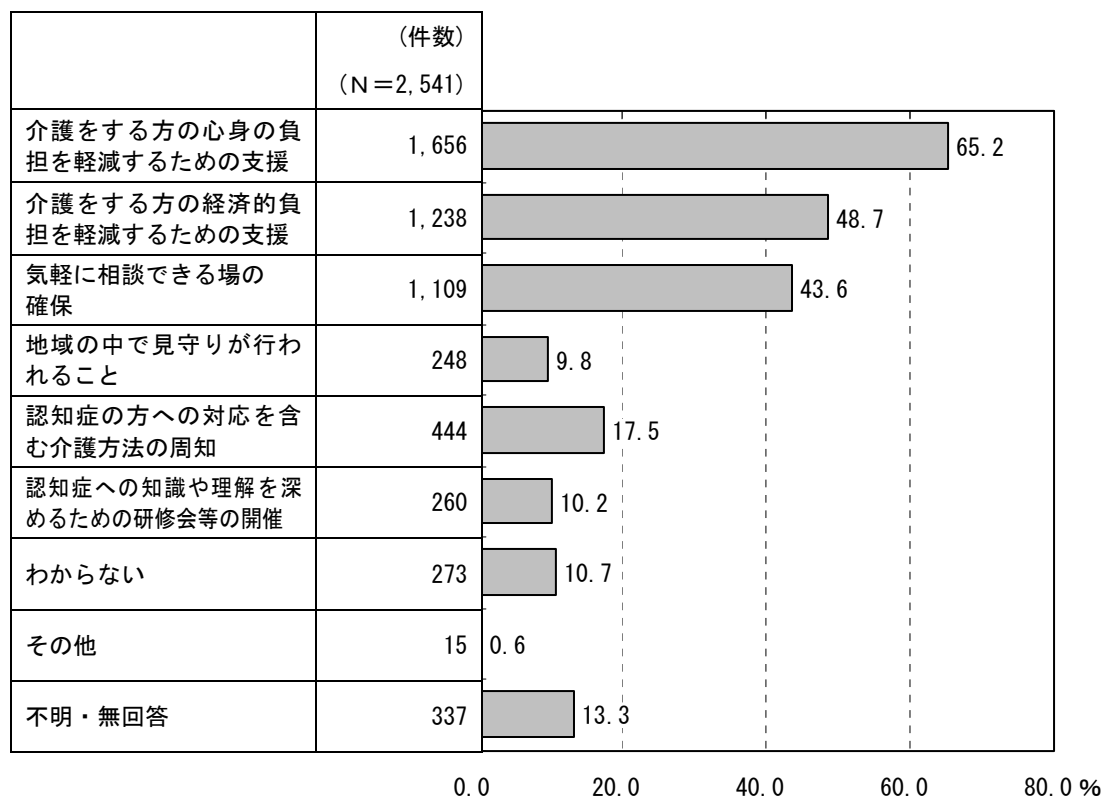
問33 若年性認知症を含む認知症の方への対策が課題となっていますが、あなたや、あなたの家族が認知症になった場合、どのような支援があればよいと思いますか。(〇は3つまで)

認知症になった場合の支援体制では、「認知症専門の医療機関の充実」が 53.7%と最も高く、次いで「グループホームなど、認知症の方に対する介護サービスの充実」が 27.2%となっています。



問34 介護疲れなどによる高齢者虐待を未然に防ぐために、どのような支援があればよいと思いますか。(〇は3つまで)

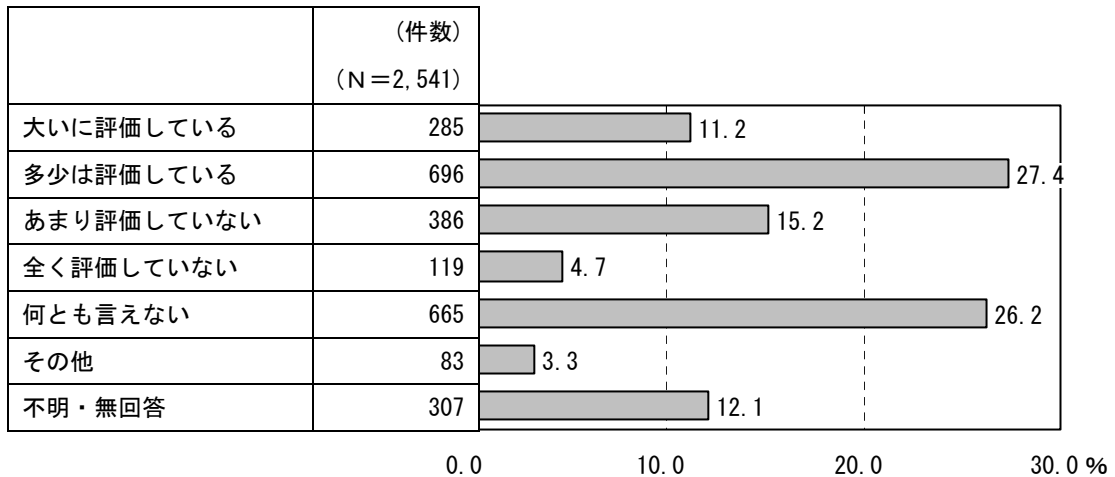
高齢者虐待の予防支援については、「介護をする方の心身の負担を軽減するための支援」が65.2%と最も高く、次いで「介護をする方の経済的負担を軽減するための支援」が48.7%となっています。



12 介護保険制度について

問35 介護保険制度が創設されて、今年で11年目を迎えました。介護保険制度への評価として、あなたの考えに近いものはどれですか。(○は1つ)

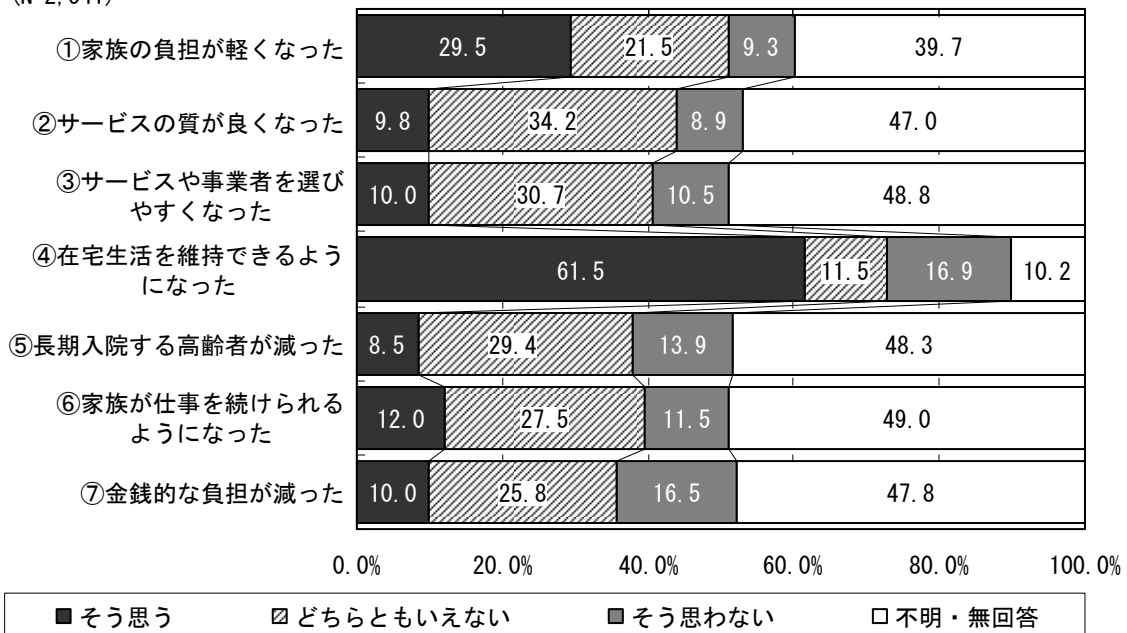
介護保険制度への評価では、『評価している(「大いに評価している」と「多少は評価している」の合計)』が38.6%と最も高く、次いで「何とも言えない」が26.2%となっています。



問36 介護保険制度によってどのような効果があったと考えますか。(①～⑦それぞれについて、あなたの考えに最も近い、1.そう思う、2.どちらともいえない、3.そう思わない のどれか1つに○)

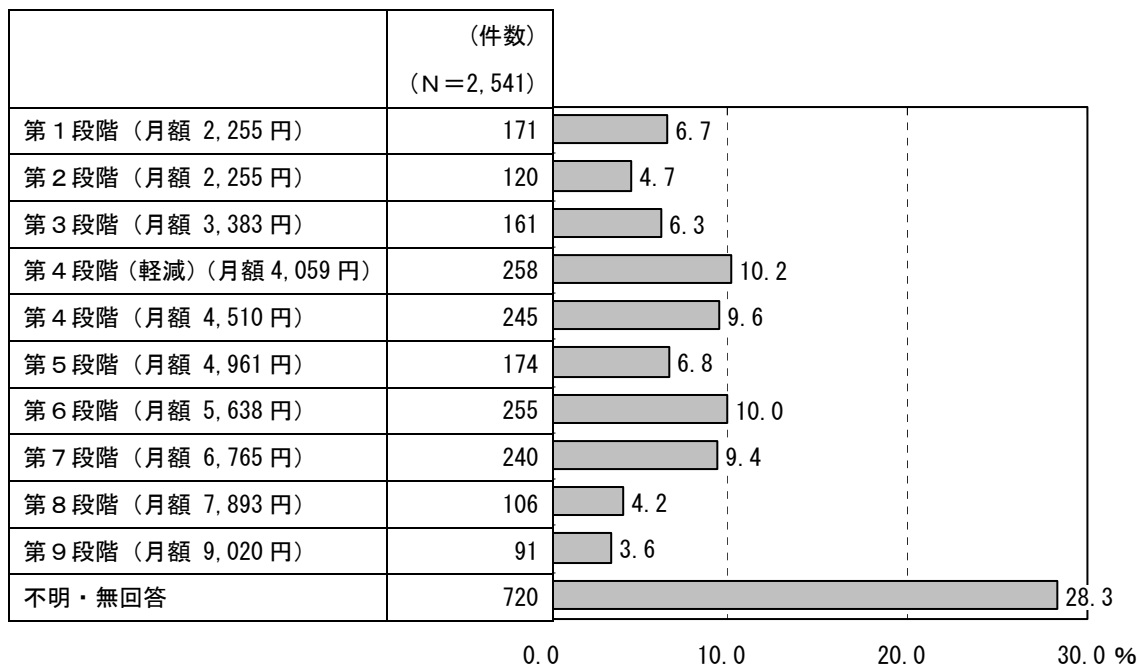
介護保険制度の効果では、『④在宅生活を維持できるようになった』の「そう思う」が61.5%と最も高く、次いで『①家族の負担が軽くなった』の「そう思う」が29.5%となっています。

(N=2,541)



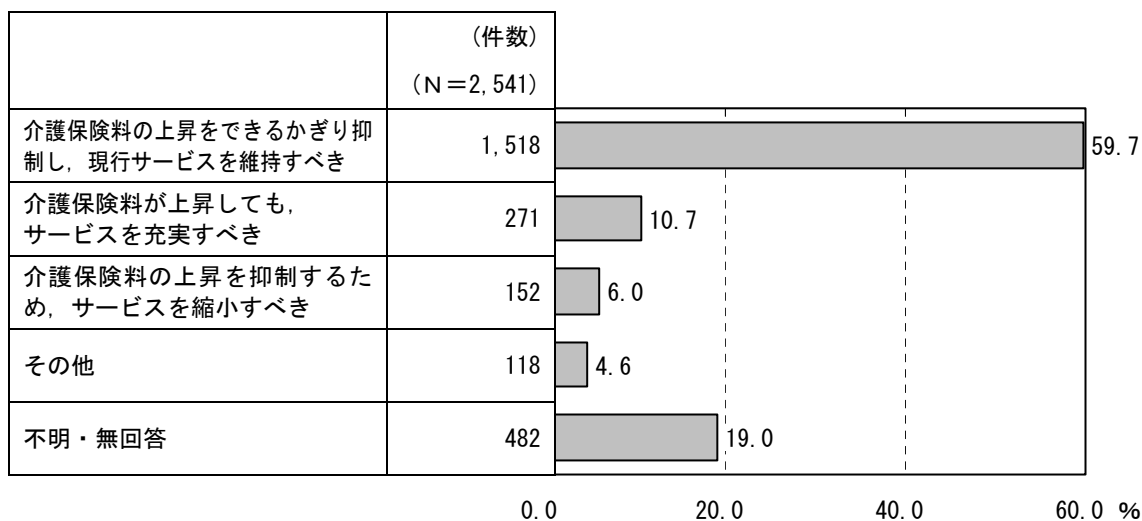
問37 あなたの、介護保険料の段階はどれですか。(〇は1つ)

介護保険料の段階では、「不明・無回答」をのぞくと「第4段階（軽減）（月額 4,059 円）」が 10.2%と最も高く、次いで「第6段階（月額 5,638 円）」が 10.0%となっています。



問38 高齢化の進展等に伴う介護サービスの利用者増等によって、介護保険を運用していくための費用は年々増加しており、保険料上昇の主な原因となっています。今後の介護保険料と介護サービスのあり方について、あなたはどのようにお考えですか。(〇は1つ)

今後の保険料とサービスのあり方では、「介護保険料の上昇をできるかぎり抑制し、現行サービスを維持すべき」が 59.7%と特に高くなっています。次いで「介護保険料が上昇しても、サービスを充実すべき」が 10.7%となっています。



【前回調査との比較】

前回調査との比較では、前回より「介護保険料の上昇をできるかぎり抑制し、現行サービスを維持すべき」（平成19年調査では「サービスの量を抑えて保険料を上げない方がよい」）の割合が特に高くなっています。

単位：%

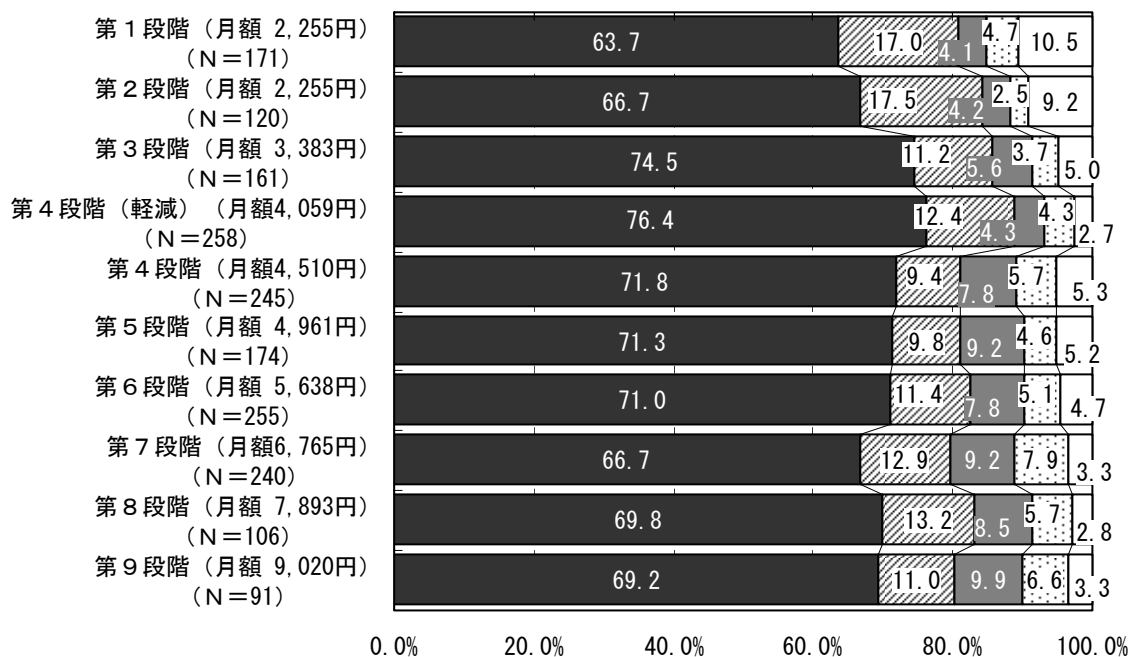
	回答者数(N)	保険料がある程度高くなっても、サービスの量を充実させるべき	サービスの量を抑えて保険料を上げない方がよい	その他	わからない	不明・無回答
平成19年調査	N=2,474	14.3	36.7	4.5	27.8	16.7

※選択肢等が異なるため、比較時には注意

【クロス集計結果】

介護保険料別では、『第4段階（軽減）（月額4,059円）』で「介護保険料の上昇をできるかぎり抑制し、現行サービスを維持すべき」の割合が最も高くなっています。

□ 介護保険料別 問38×問37



- 介護保険料の上昇をできるかぎり抑制し、現行サービスを維持すべき
- ▨ 介護保険料が上昇しても、サービスを充実すべき
- ▩ 介護保険料の上昇を抑制するため、サービスを縮小すべき
- その他
- 不明・無回答

問39 本市の高齢者保健福祉施策や介護保険制度などについてご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

自由意見欄には、159人から（記入率6.3%）から延べ188件の回答がありました。回答内容では、「高齢者保健福祉施策について」や「介護保険制度全般」「介護保険料の負担」「施設サービスの充実」に関する意見が多くあがっています。

介護保険料の負担	39
介護保険料が高い・安くしてほしい	28
現在のサービスを保ちながら介護保険料を増やさないようにしてほしい	11

介護保険制度全般	40
平等に介護が受けられる社会になるよう希望する	10
手続きをもっとスムーズにわかりやすくしてほしい	7
充実したサービス・介護を気軽に受けられるよう考えてほしい	6
良いサービスを受けられるよう、介護保険制度のさらなる充実を希望する	6
年金から介護保険料を天引きするのはやめてほしい	4
介護保険を任意に加入できるようにしてほしい	3
介護保険料の使用された明細を国民に報告してほしい	1
介護に関する情報がほしい	1
介護者に対するケアが必要	1
高福祉＝高負担であることを認識すべき	1

要介護認定	1
介護認定に不満・基準が不明	1

在宅サービスの充実	1
利用方法・範囲を拡大するなど在宅サービスを充実してほしい	1

施設サービスの充実	35
介護施設（特別養護老人ホーム・高齢者施設等）を増設してほしい	21
低料金で入所できる施設を増設してほしい	10
入所希望者を待機させず入所できる制度・施設が必要	4

高齢者保健福祉施策について	43
安心して老後生活が送れるよう高齢者保健福祉制度，介護保険事業を充実してほしい	27
高齢者の住みやすいまちにしてほしい	7
低料金で，年齢問わず集える場所を設けてほしい	6
入院時に3ヶ月で退院させられる制度を改正してほしい	3

市行政について	26
知らないことが多いので情報の公開・広報を充実してほしい	17
元気な高齢者に働く場を広げるなど，環境を改善してほしい	3
民生委員や老人福祉員の資質を高めてほしい	3
一人暮らし高齢者の安否確認をする必要がある	2
生活保護制度の見直しが必要	1

その他の意見	3
現状で満足している	2
その他	1